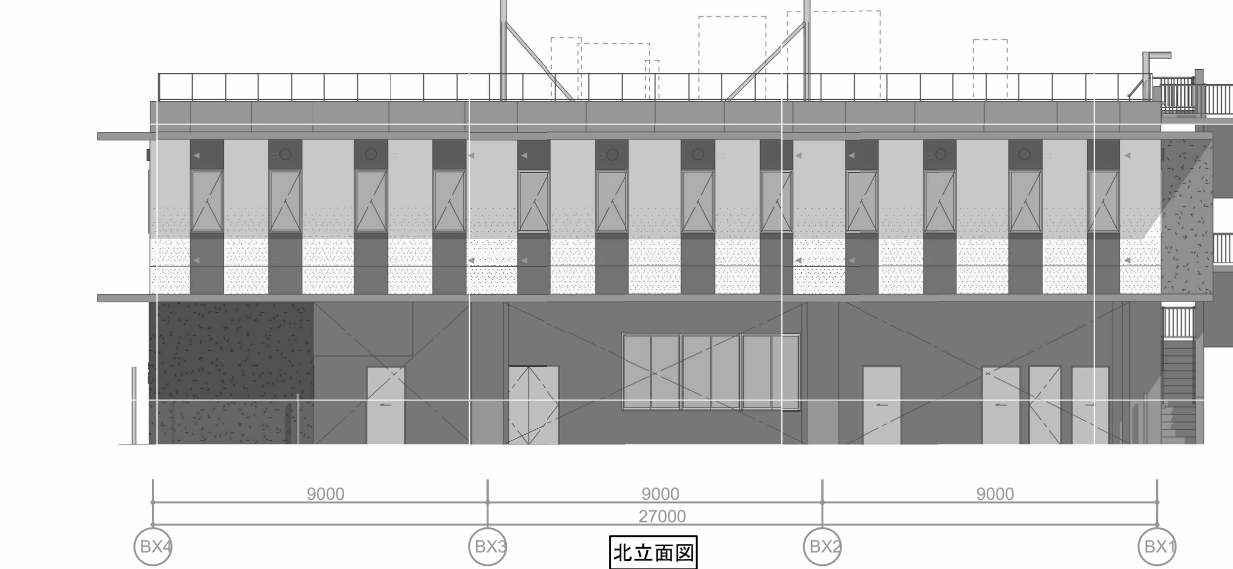
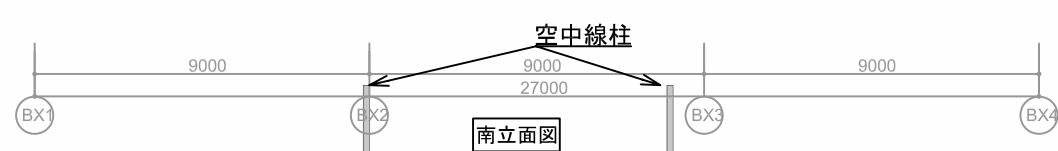
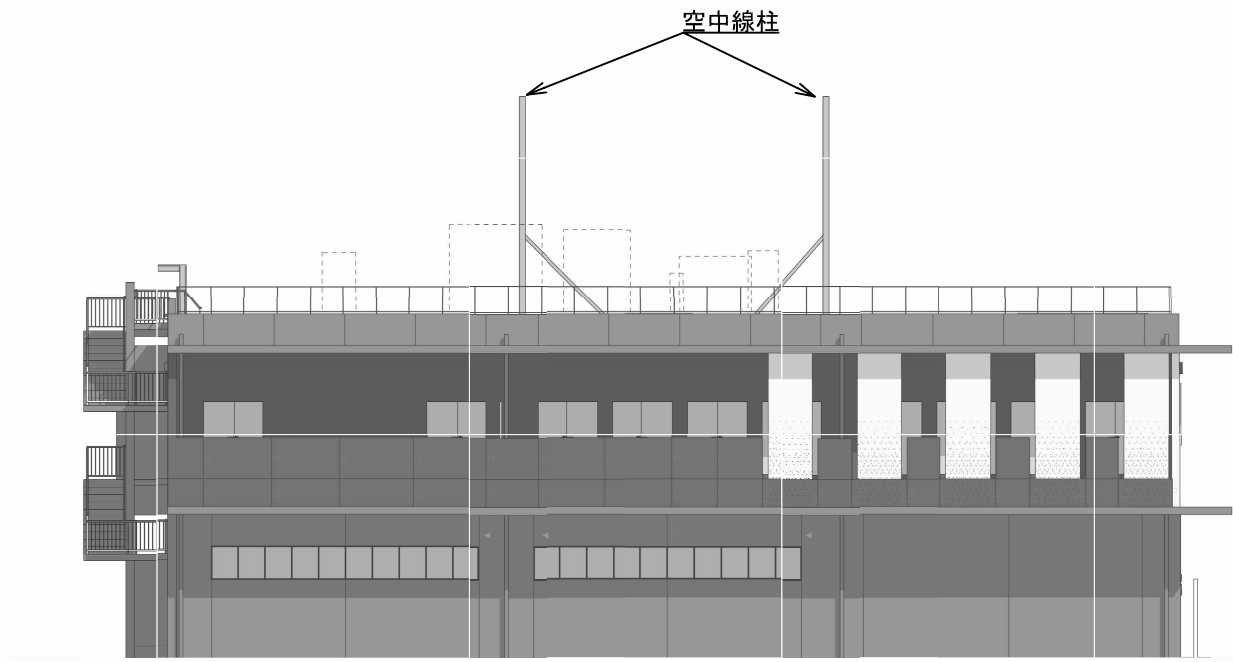
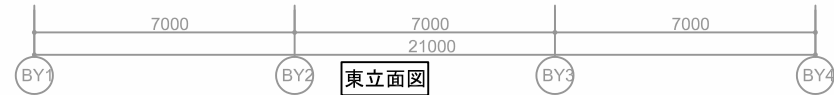
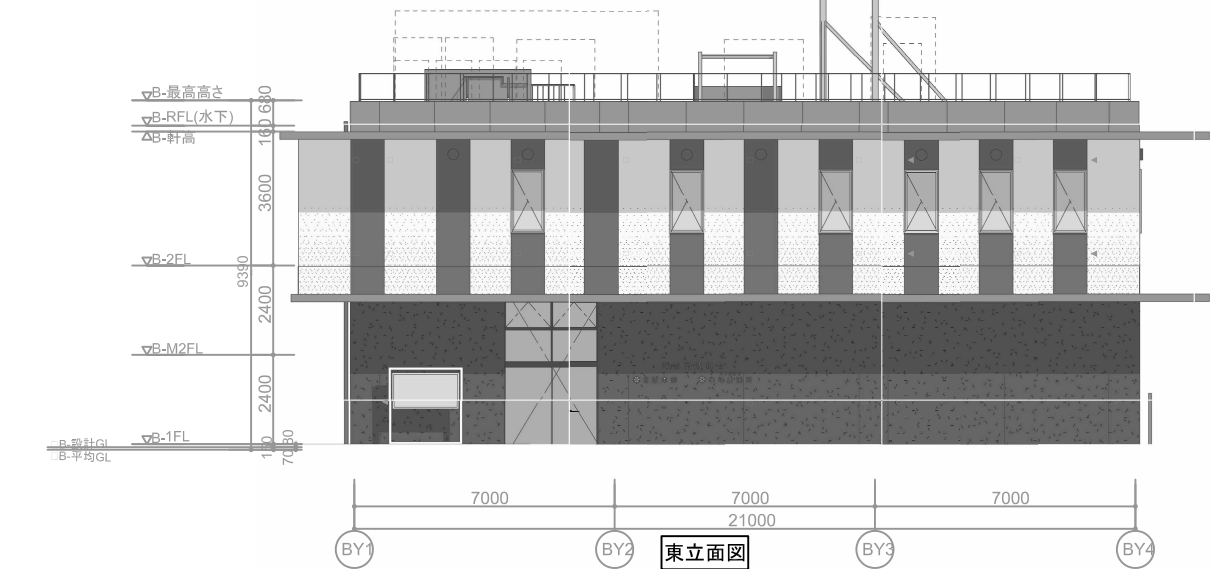
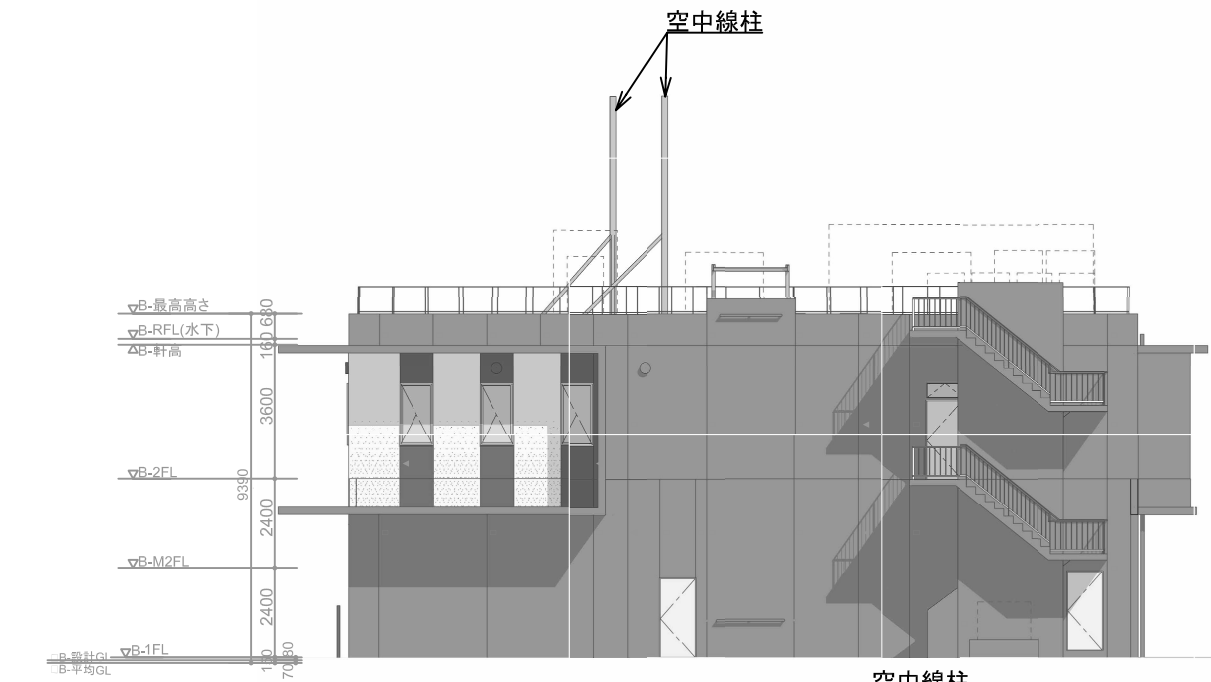


版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/200	図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 屋上設備工事 立面図						

1. 一般事項

1.1 建物概要

工事名称

建設予定地

建物用途

面積

延面積

法定

工事

階数

地上

2階

地下

0階

塔屋

0階

高さ

軒高

m

最高高さ

m

構造種別

鉄骨造

1.2 適要図書

当工事の建築工事に関する見積および施工については下記の図書を適用する

1 当工事設計図

2 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(H22年版)

3 日本建築学会標準仕様書・同解説(最新版)

JASS1: 一般共通事項

JASS6: 鉄骨工事

JASS3: 土工事及び山留工事

JASS7: コンクリートブロック工事

JASS4: 地盤及び基礎スラブ工事

JASS18: 塗装工事

JASS5: 鉄筋コンクリート工事

4 日本建築学会規準および指針

5

6

7

2. 地業工事

2.1 割栗地業

敷砂利使用範囲

敷砂利厚さ

均しコンクリート設計基準強度

均しコンクリート厚さ

土間コンクリート設計基準強度

土間コンクリート厚さ

基礎梁・土間コン

150

7

50

7

150

2.2 設計地盤支持力

地盤設計許容支持力

支持地盤の深さ・種類

2.3 既製杭

杭長及び先端位置は地盤状況、杭打試験、載荷試験により変更することがある

杭の種類・工法

継手

先端形状

杭支持力(長期)

杭の支持力試験

杭打試験は原則として行い、図示又は係員の指示に従う。

杭径

杭長

杭の先端位置

2.4 場所打コンクリート杭

工法

コンクリートの設計基準強度

鉄筋の材質

杭径

杭支持力

杭長

杭の先端位置

2.5 試験・検査

項目

適用

備考

平板載荷試験

(杭載荷試験、試験杭)

試験杭

標準貫入試験

3. 鉄筋コンクリート工事

3.1 コンクリート

躯体(設計基準強度+3N,単位水量:175Kg/m3以下)

土間コンクリート(単位水量:165Kg/m3以下)

使用区分

種別

設計基準強度

品質基準強度

スランプ

水セメント比

単位セメント量

土間コンクリート

普通

18

21

15

50

270

ポール基礎

普通

18

21

15

50

270

躯体

普通

21

24

15

50

270

■コンクリートの骨材、水及び混和材料の種類

(1) 骨材 砂利及びひ砂は JIS A5308による。細骨材: 砕砂、山砂 粗骨材: 砕石

(2) 水 水は JIS A5308による。 使用水: 工業用水

(3) 混和材料 JIS A6204によるAE減水剤

■コンクリートの施工

コンクリートは JIS認定工場の製品とし、施工に関しては JASS5(2003) による。

■コンクリートの強度試験方法

構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体(JISS5T-603)は、現場水中養生又は現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。

又、打ち込み量が150㎡ごと又は、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をいった3台の運搬車からその必要本数を採取する。尚、供試体の数量は特別指示がなき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。

■コンクリートの調合

調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ることとする。

工事によるコンクリートの単位水量は、特記仕様書による。但し、困難な場合は、高性能AE減水剤等を使用し、極力目標値に近づける。

高性能AE減水剤を使用する場合は、以下の事項を実施することとする。

・レディミクスコンクリート工場及びメーカーと設計仕様、高性能AE減水剤の種類等の打ち合せを行う。

・調合計画書を作成し、単位水量、水セメント比等の確認を行う。

・生コン工場に実績がない場合は、試験験を行い、フレッシュコンクリート及び硬化コンクリートの性能の確認を行う。

・試験験後、実機試験を行い、スランプ・空気量の経時変化、押え時期等の確認を行う。

■コンクリートの養生方法

・寒冷地においては、コンクリートを寒気から保護し、打込後5日間以上コンクリート温度を2℃以上に保つ。

・鉄筋に沿って沈みひび割れが発生した場合は、再底コテで押え、ダンピング処理を行う。又高性能AE減水剤を使用したコンクリートの場合は、ブリージング量の減少による初期乾燥ひび割れに注意する。

・打設完了後に現場を巡回し、ふきこぼれ等に注意する。

・打設後散水などにより、5日間以上湿潤に保つ。

・供試体を現場水中養生にて保管する場合、現場内の水溜は、直射日光が当たらないように、日除けカバーをとする。

■型枠、型枠の取り外し時期

型枠の施工に関しては JASS5(2003) により、型枠の取り外し最小時期は下図による。

表 型枠存置期間

部位

セメント

種類

養生期間

材料の

基礎、梁、柱、壁

高炉セメントA種

高炉セメントA種

5~15℃

5:未満

スラブ下、梁下

高炉セメントA種

高炉セメントA種

5~15℃

5:未満

スラブ下

高炉セメントA種

高炉セメントA種

5~15℃

5:未満

梁下

普通セメントA種

高炉セメントA種

5~15℃

5:未満

■型枠の取り外し方法

施工に関しては JASS5(2003) によるが、その中で注意すべき点を以下に示す。

・片持ち梁、底、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。

・大梁の支柱の盛りかえしは行わない。又、その他の梁の場合も原則として行わない。

・支柱の盛りかえしは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

・盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材又は、これに代わるものを置く。

・支柱の盛りかえは、小梁が終わってからスラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしはならない。

・表「型枠存置期間」以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

3.2 鉄筋

材質

鉄筋径

継手形式

SD295A

D10~D16

■ 重ね継手

SD345

D19

■ ガス圧接継手

SD390

SD490

KSS785

3.3 試験・検査

項目

適用

備考

スランプ、空気量[荷卸]

気乾単位容積重量

荷卸地点における品質検査

ミルシート

鉄筋引張試験

圧接工・技量試験

圧接部超音波探傷検査

4. 鉄骨工事

注: 鉄骨工事は指示のない限り下記に依る。

日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」

4.1 鋼材

材質

部位

備考

SS400

大梁、小梁、鋼板類

JIS G3101 規格品

SN490C

ダイアフラム、ベースプレート

JIS G3136 規格品

SSC400

ALC受

JIS G3350 規格品

STKR490

JIS G3466 規格品

STKR400

柱

JIS G3466 規格品

BCR295

国土交通大臣認定品 MSTL-0141

SS400

水平プレス

JIS G3112 規格品

SM490A

JIS G3101 規格品

4.2 接合材

名称

材質

径

備考

HTB

F8T

M16

JIS B1186 規格品

A・BOLT

ABR490

M16

JIS B1180 規格品

SS400

JIS B1181 規格品

JIS B1178 規格品

JIS B1256 規格品

中ボルト

SS400

JIS A5540 規格品

タンパックル

SS400

M16

JIS A5540 規格品

スタッドボルト

SS400

JIS B1198 規格品

注: 高力ボルト摩擦面のすべり係数値は0.45以上とする。

ABR490はJISS II 13-2004のアンカーセットによる。

4.3 防錆塗装

素地調整

種

C種

部位

防錆塗装の種類

屋内

JISK-5621(B種) 工場1回、現場1回

注: 素地調整の工程は日本建築学会「鉄骨工事技術指針・同解説」による。

4.4 現場継手形式

継手形式

大梁継手部

柱継手部

フランジ

ウェブ

フランジ

ウェブ

高力ボルト接合

溶接接合

高力ボルト: トルシア形高力ボルト

国土交通大臣認定品 MBLT-0059

4.5 試験・検査

項目

適用

備考

材料試験[鋼材、高力ボルト、スタッド]

溶接工技量試験[工場、現場]

溶接部検査

第三者検査(CIW認定業者に依る)

超音波探傷検査

[工場溶接部] 検査方法はJASS6に依る

[現場溶接部] 原則として全数検査

工場自主検査

超音波探傷検査(全数検査)

外観検査(全数検査)

高力ボルト現場締付検査

スタッド溶接[品質検査・製品検査・技量試験]

高力ボルトすべり試験

ミルシート

現寸検査、製品検査

キャリブレーターに依るピンテールボルト軸力の確認

注:(社)鉄骨建設業協会「突合せ継手の食違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」参照

5. 地質柱状図

調査位置図

調査項目

調査地点

調査年月日

標高

孔内水位

調査深度

調査径

調査色

調査土質区分

N値

N値折線

基礎形状

調査深度

調査径

調査色

調査土質区分

N値

N値折線

基礎形状

6. 建築設備

令第129条の2の4の事項 ※ 設計が該当する場合には、□にチェックを記入する。

■ 建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

■ 建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。

■ 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。

□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けたものを除き、90cm以下とすること。

□ 煙突が屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とし鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造もしくはコンクリートブロック造とすること。

■ 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、■ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

■ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

■ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

■ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

■ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺		図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 屋上設備工事 構造概要						

鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

- (a) 構造設計仕様による
(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

(2) 作業一般

- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
(b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
(c) 高張力鋼のひずみ矯正は、冷間矯正とする

(3) 高力ボルト接合

- (a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

(4) 溶接接合

(a) 溶接技能者

溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3304(溶接)又はJIS (半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し、引き続き、半年以上溶接に従事している者とする

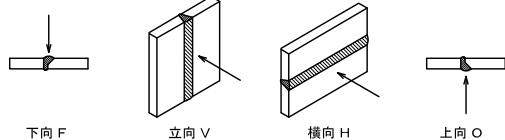
(b) 溶接機器

- (イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアーガウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器

(c) 溶接方法

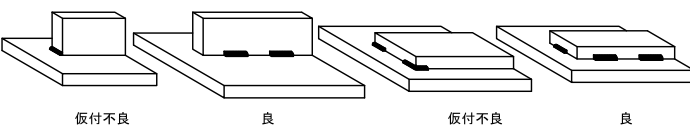
- アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアーガウジング(AAG)

(d) 溶接姿勢

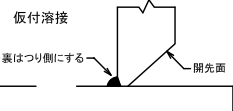


(e) 仮付溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

- (イ) 仮付位置
仮付け溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となりやすい箇所は避ける



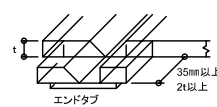
(ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(f) 溶接施工

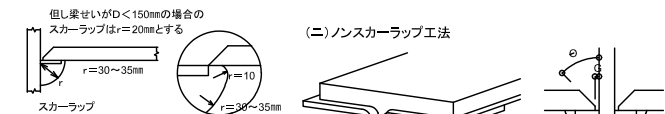
(イ) エンドタブ

- I) 突合せ溶接、部分溶け込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
II) エンドタブの材質は、母材と同質とする
III) エンドタブの長さは、MC:35mm以上、NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る

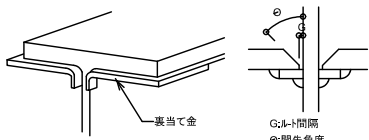


(ロ) 裏はつり

- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
(ハ) スカーラップの半径は30～35mmと、10mmのダブルアールとする



(ニ) ノンスカーラップ工法



(ホ) 裏はつり

- 標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
(ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面をいためない様に、養生を行う

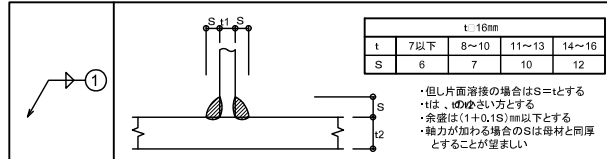
(5) 塗装

- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様となっている部分は、塗装しない

2. 溶接標準図

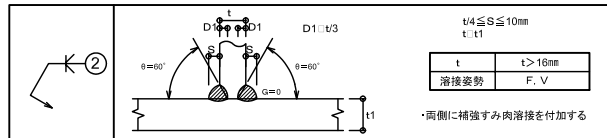
注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

(1) スミ肉溶接



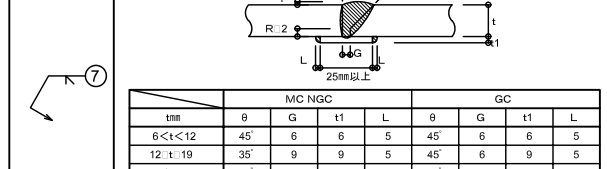
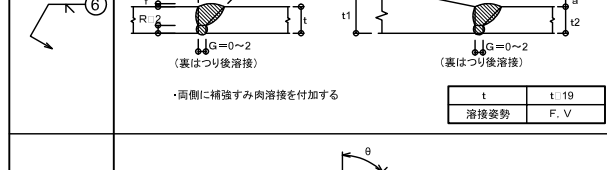
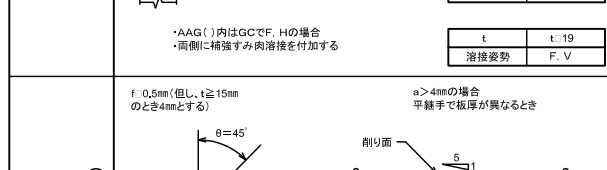
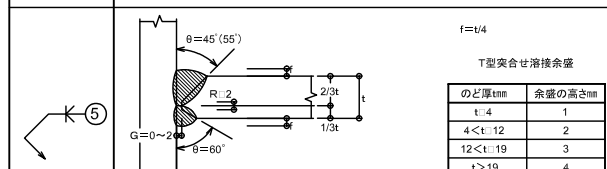
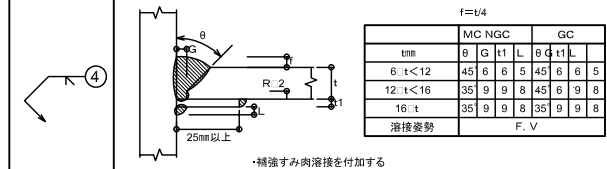
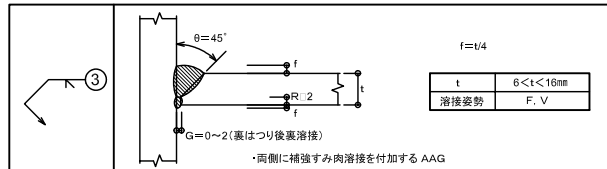
(2) 部分溶け込み溶接

(使用箇所)に注意

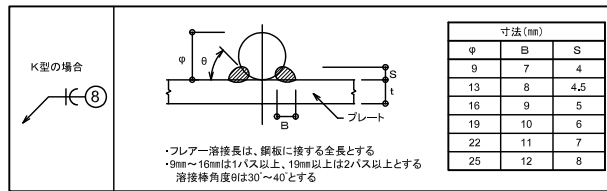


(3) 突合せ溶接

(平継手 T型継手)



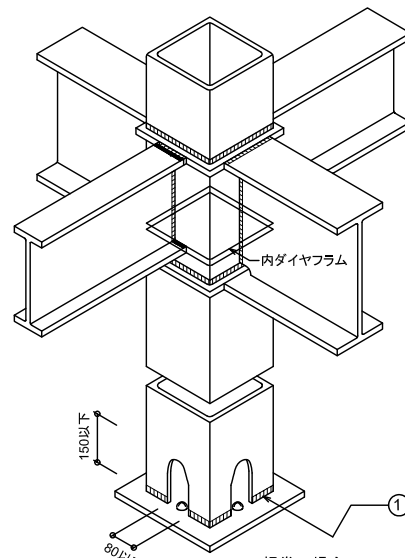
(4) フレー溶接



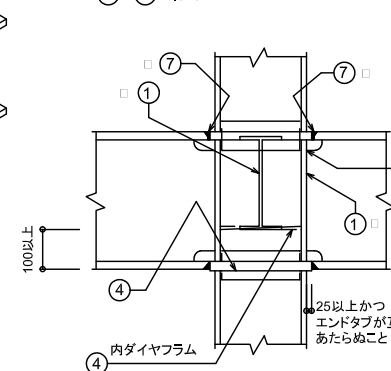
溶接記号番号を○の中に記入のこと

●BOX型

(通しダイヤフラムの場合)

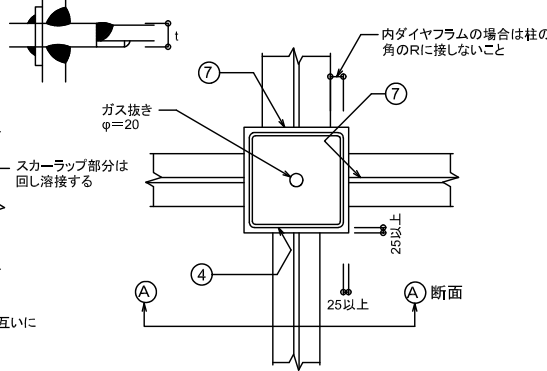


(A)-(A) 断面図



⑦ 梁フランジは通しダイヤフラムの厚み(t)の内部で溶接する事

平面詳細



① t>16mmの場合の溶接は 3~5 とする

・柱が途中で折れる場合
及び梁せいが異なる場合

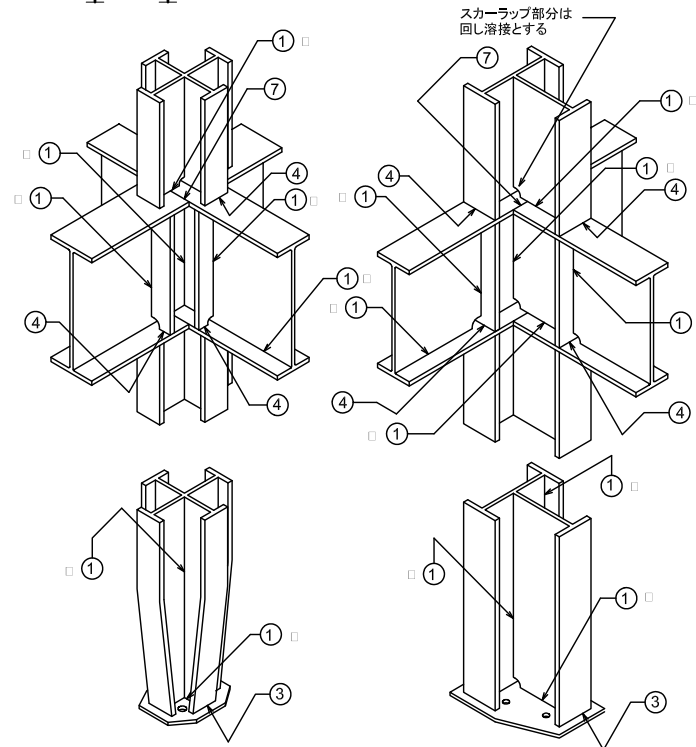
< 柱材料: BCR295, BCP325を使用する場合 >

ダイヤフラムは、SN490B、C又はSM490同等以上の鋼材を使用する事
ダイヤフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の1サイズアップとする事

●鋼材種別による溶接条件

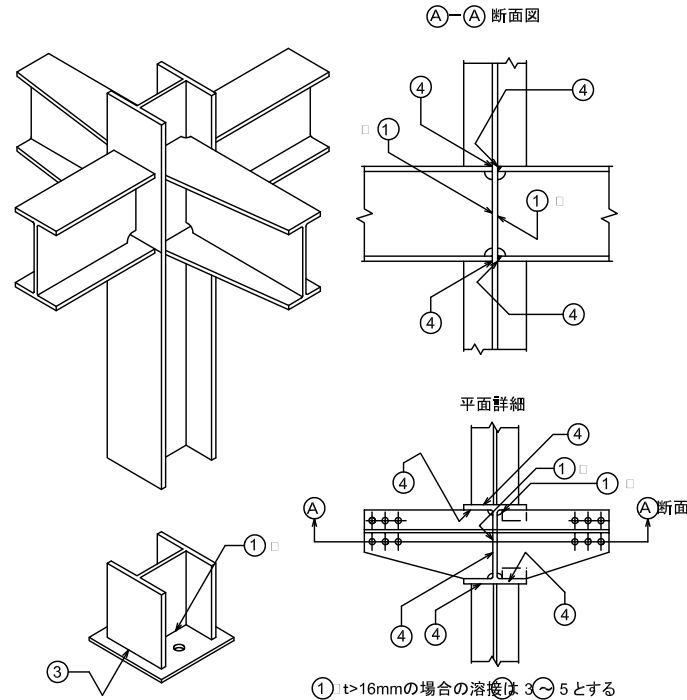
鋼材の種類	溶接材料	入熱(KJ/cm)	バス温度差(℃)
400N級鋼	JISZ3221,3212,3214	40以下	350以下
	YGW-11,15		
	YGW-18,19		
	YGA-50W,50P		
490N級鋼	JISZ3212,3214	40以下	350以下
	YGW-11,15		
	YGW-18,19		
	YGA-50W,50P		

●H、I型



① t>16mmの場合の溶接は 3~5 とする

●B.H方式



① t>16mmの場合の溶接は 3~5 とする

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 屋上設備工事 鉄骨構造標準図1					

鉄骨構造標準図(2)

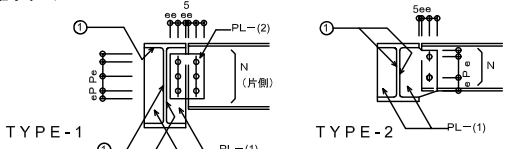
3. 継手規準図、その他

(1) ボルトピッチ(P) ボルト穴径・最小縁端距離 (単位mm)

呼び	ボルト 穴 径	最小縁端距離(e)				ピッチ(P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最 小	標準
M16	17.0	40	28	22	40	40	60
M20	21.5	50	34	26	40	50	60
M16	23.5	55	38	28	40	55	60
M16	25.5	60	44	30	45	60	70

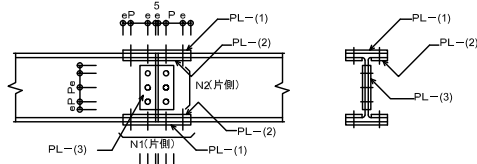
注) (1)引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2)せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3)圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上げ縁の場合の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



符 号	タイプ	部 材	PL-(1)	PL-(2)	N-径

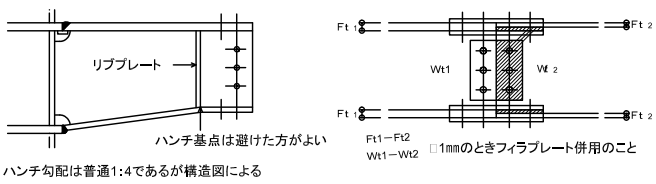
(3) 剛接合梁継手リスト



注) 端部をBHとする場合の部材は設計図による

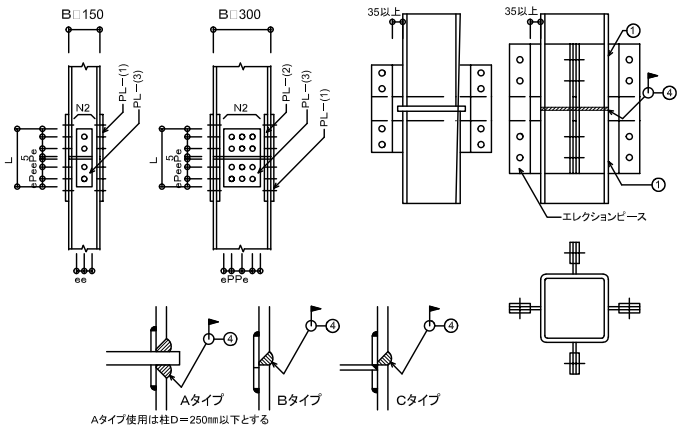
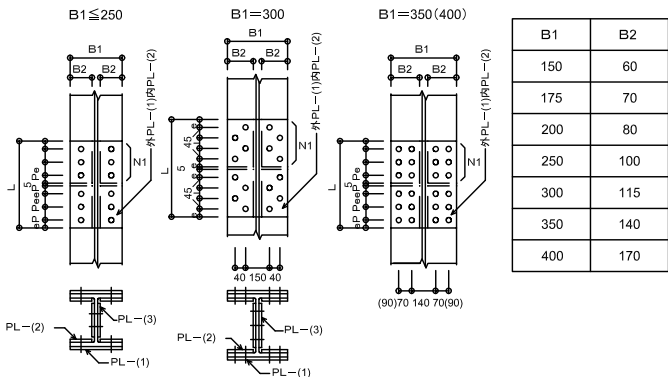
符 号	部 材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1ー径	PL-(3)	N2ー径

(4) ハンチ部の継手



(5) 柱継手リスト

(SCSS-H97による)



注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う

符号	部材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径

(6) 鉄筋ブレース

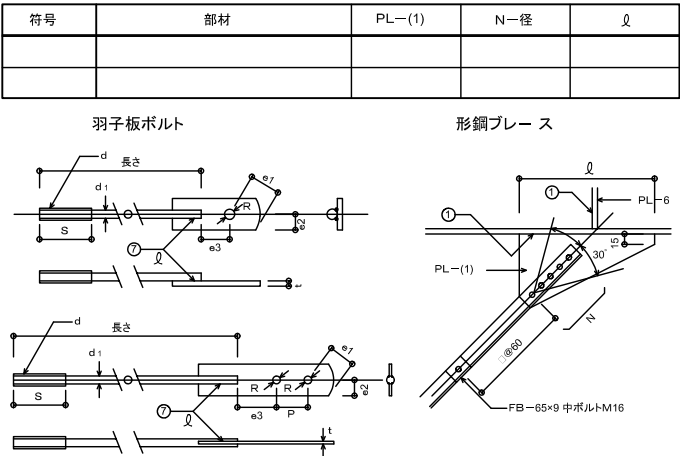
(JIS規格品とする...JIS 5540-1982/5541.5542-1933)

(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び(d)		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	
軸径d	最大	10.81	12.85	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99	
	最大	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差±0.、-0.5mm		R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき(最小) ⁽²⁾		e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき(最小) ⁽¹⁾	e2	22	28	28	34	34	38	38
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき(最小) ⁽¹⁾	e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴迄のあき(最小)		e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ(最小)		ℓ	40	50	55	60	75	85	85
取付ボルト ⁽²⁾	種 類	JIS B1186 2種高力ボルト(F10T)又は JIS B1180 中8g 10.9							
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20	
	本 数	1	1	1	1	1	1	2	

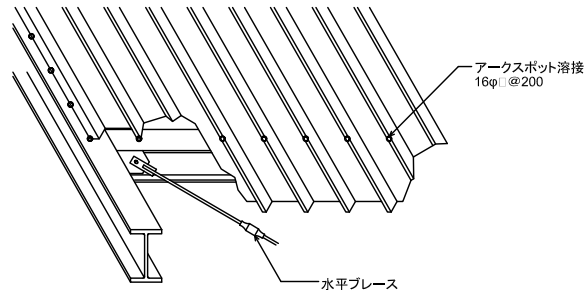
注) (1) eが確保されている形状は自由でよい
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

(b) 形鋼ブレース

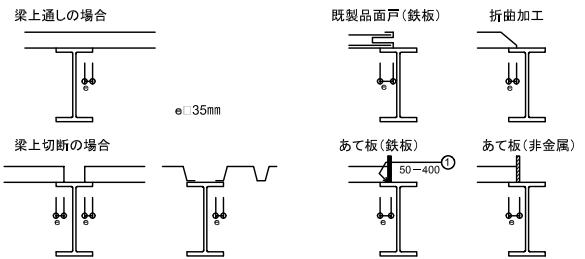


(7) デッキプレート(床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

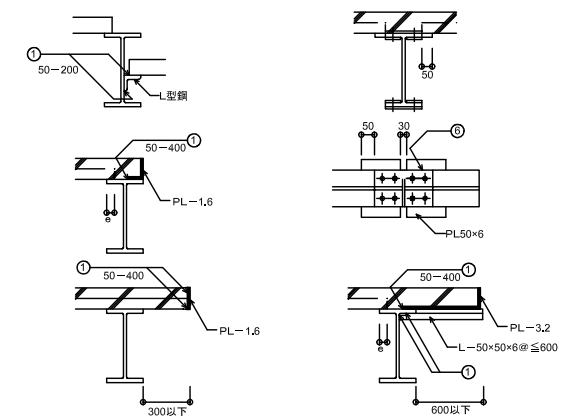
・梁との溶接およびコネクター



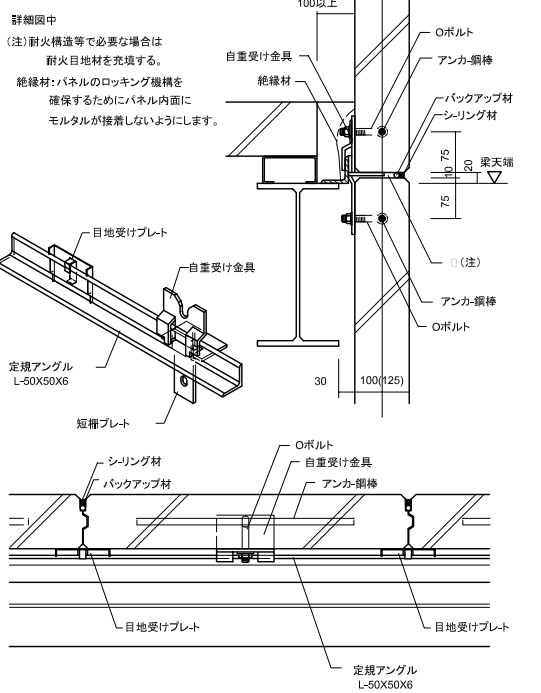
受梁へのかかり寸法および端部処理



スラブ端部の補足材



(8) ALC板取付要領(ロッキングウォール)



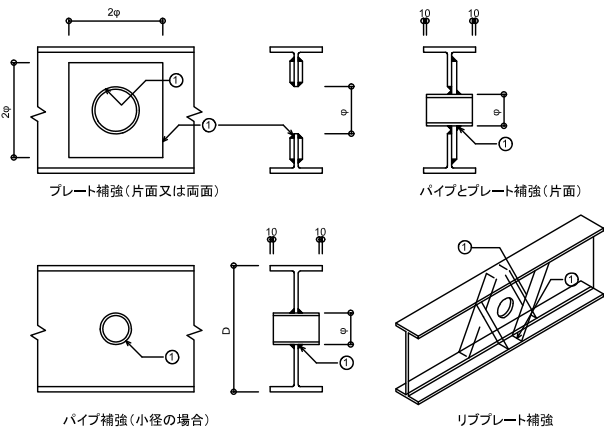
(9) 頭付きスタッド(JIS 1198)

スタッド材の形状・寸法

形状	スタッド材				
	呼び名	軸径d mm	頭径D mm	頭高さT mm	溶接後の長さL mm
	φ13mm	13.0 12.7	22.0 25.4	10.0 7.9	50, 80, 100, 130
	φ16mm	16.0 15.8	29.0 31.7	10.0 7.9	80, 100, 130
	φ19mm	19.0 19.0	32.0 31.7	10.0 9.5	80, 100, 130, 150
	φ22mm	22.0 22.2	35.0 34.9	10.0 9.5	100, 130, 150

(10) 梁貫通補強

・計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。
・梁端部(スパンの1/4以内かつ2D以内)は避ける。
・φ≤0.4D



(a) 補強プレートの大きさ

タイプ	補強プレート	プレート厚さ
(0.1D φ<2D)<	なし	—
(0.2D φ<3D)<	1枚(片面)	ウェブ厚さ×1.0以上
(0.3D φ<4D)<	1枚(片面)	ウェブ厚さ×1.0以上
(0.4D φ<5D)<	2枚(両面)	ウェブ厚さ×0.5以上

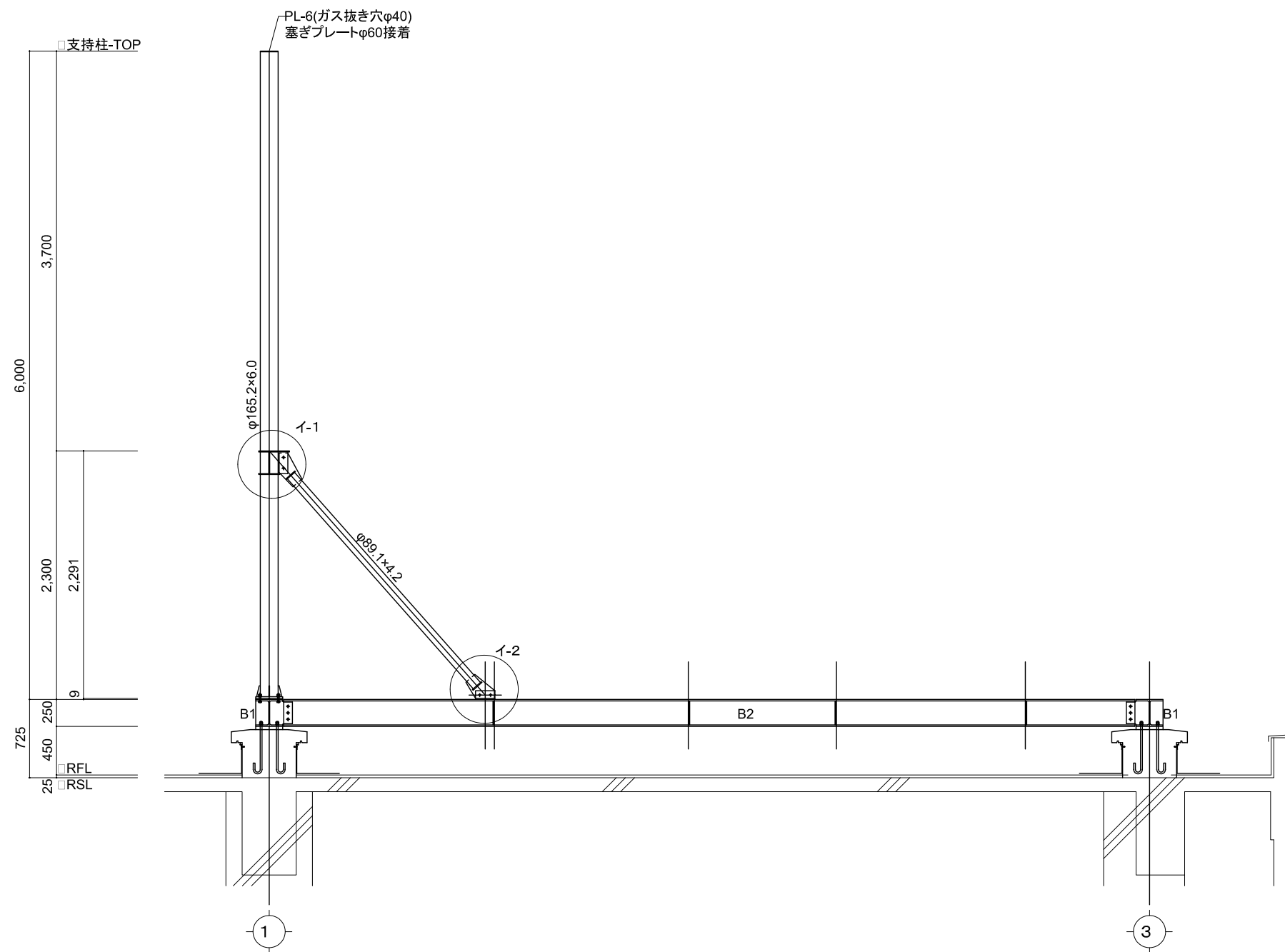
(b) 貫通孔スリーブの大きさ

貫通孔	スリーブ	貫通孔	スリーブ
100φ	φ-114.3x4.5	200φ	φ-216.3x5.8
125φ	φ-139.8x4.5	250φ	φ-267.4x6.6
150φ	φ-165.2x5.0	300φ	φ-318.5x6.9
175φ	φ-190.7x5.3	350φ	φ-355.6x7.9

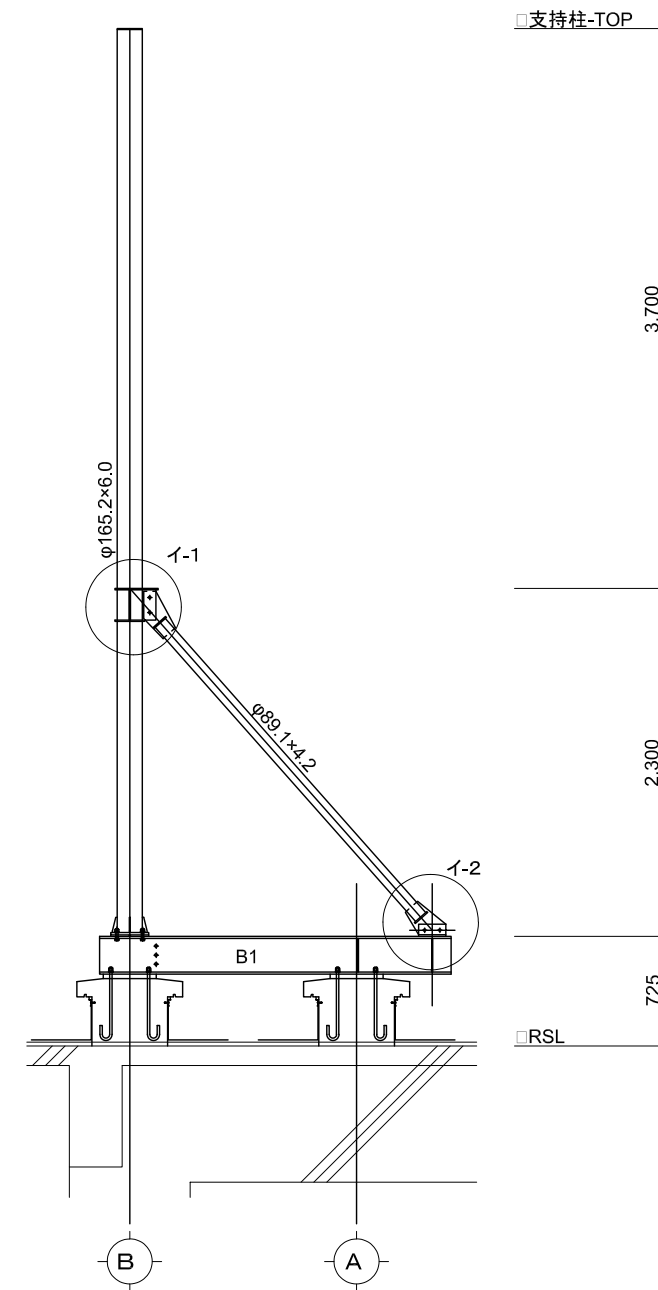
(11) その他

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮 尺		図面番号			
						図 面 名	海部消防組合消防本部 屋上設備工事 鉄骨構造標準図2						

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/50	図面番号			
						図 面 名	海部消防組合消防本部 屋上設備工事 伏図、鉄骨リスト						

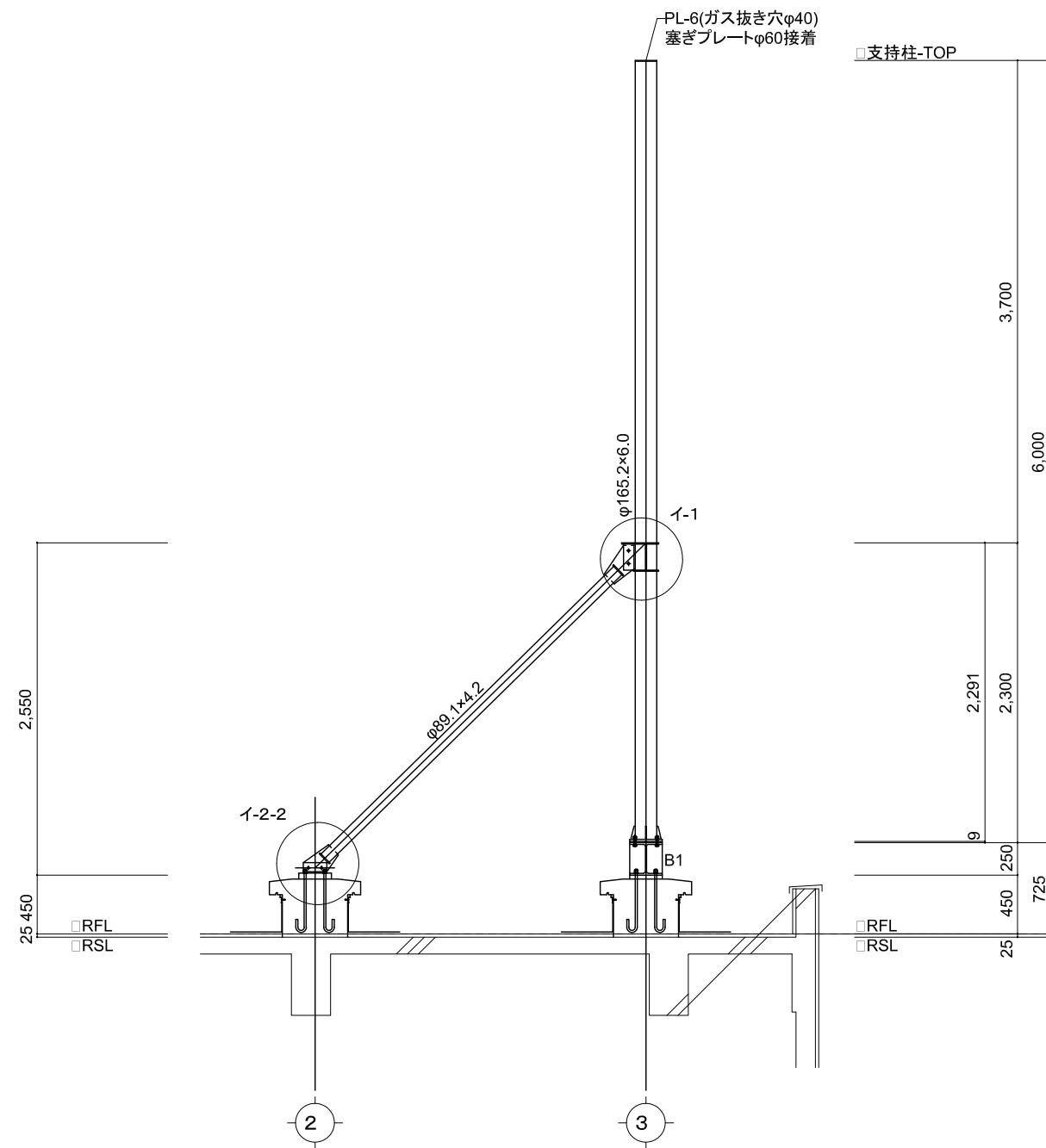


B通り軸組図 1/50

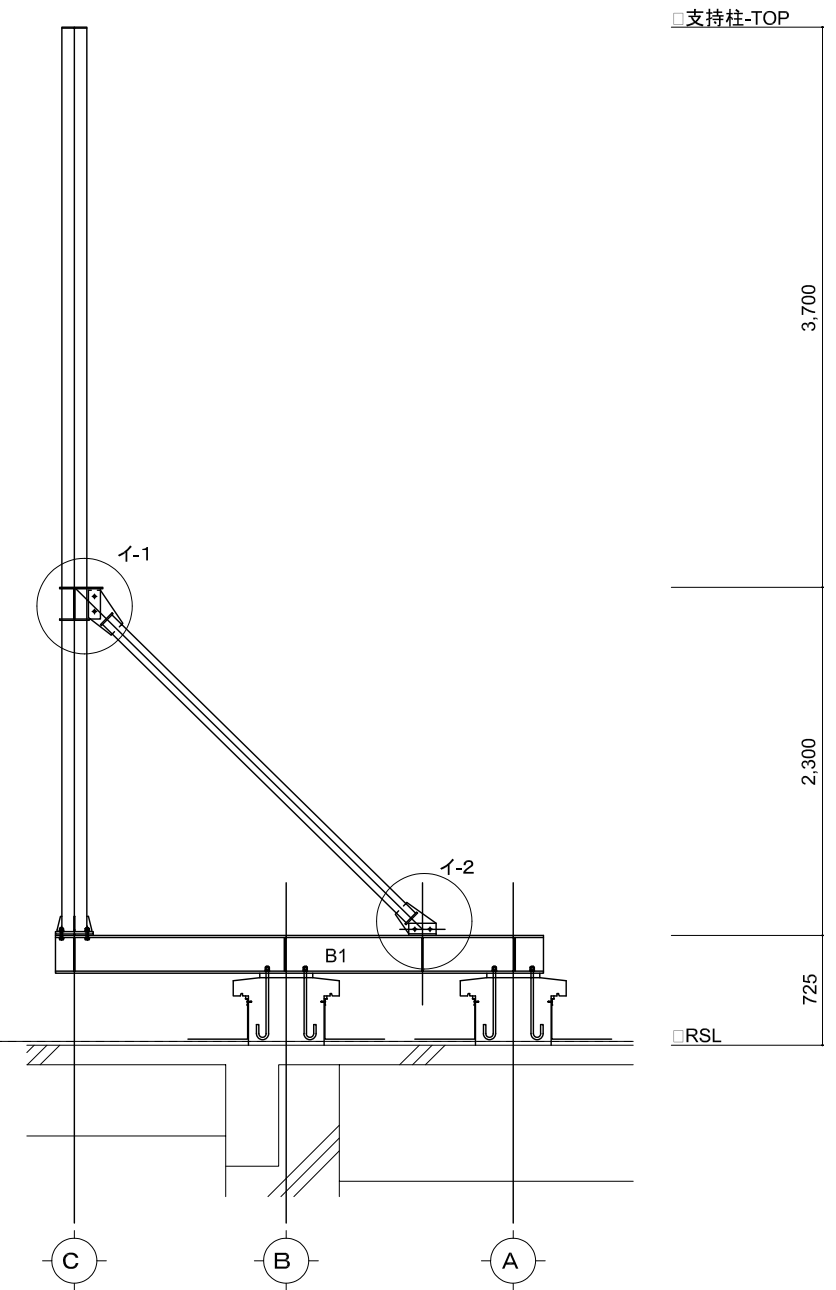


1通り軸組図 1/50

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/50	図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 屋上設備工事 軸組図1						

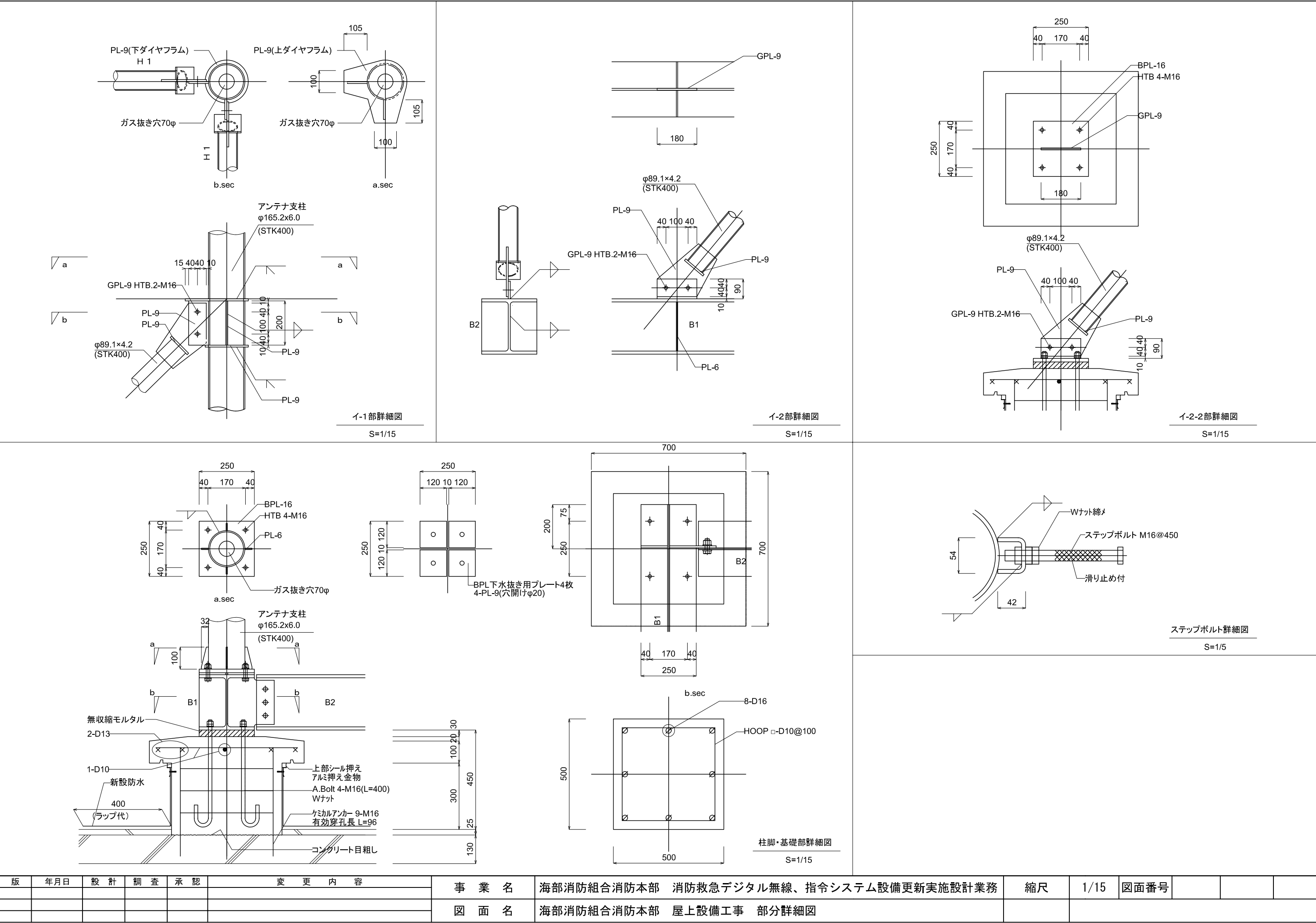


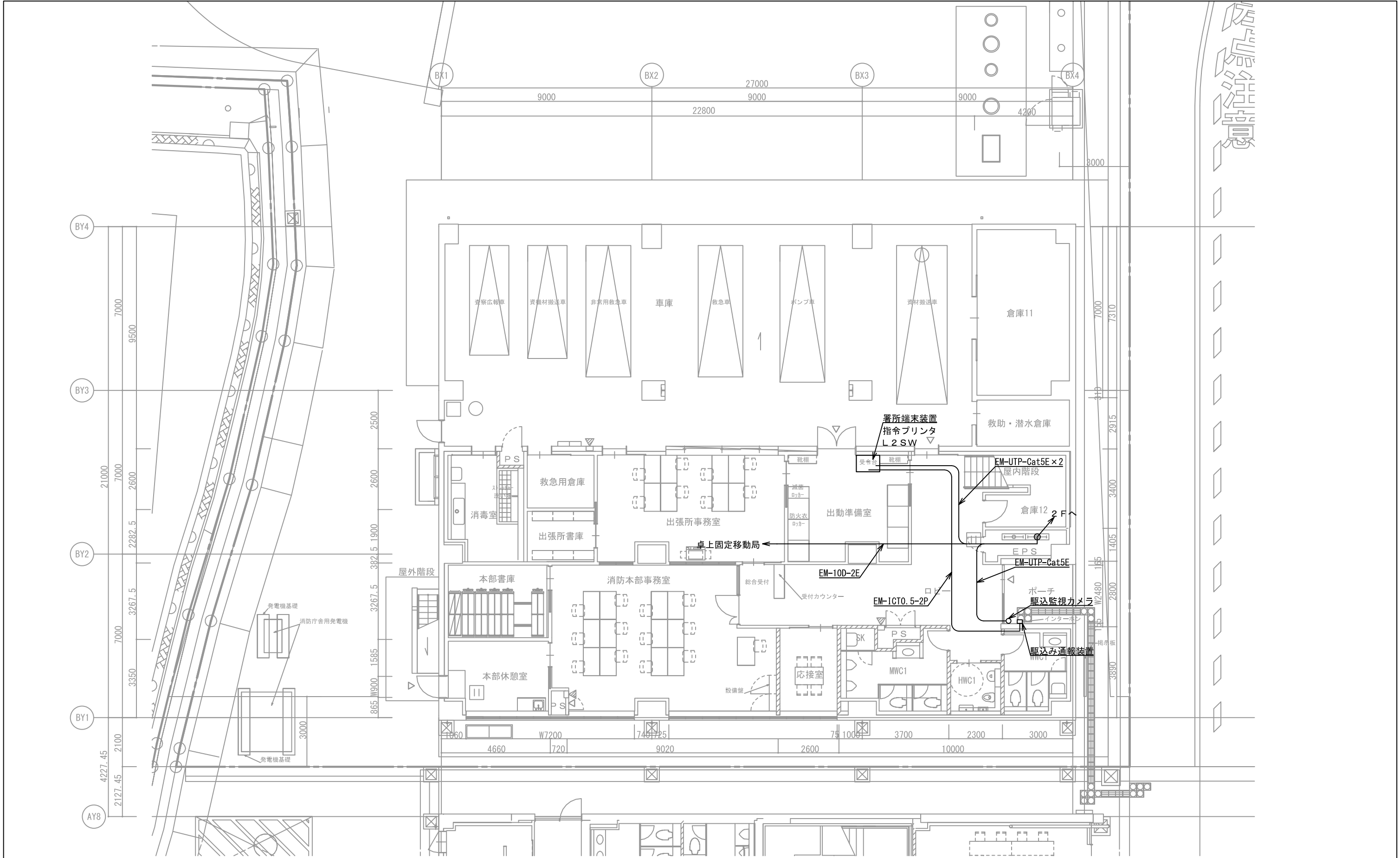
C 通り軸組図 1/50



3通り軸組図 1/50

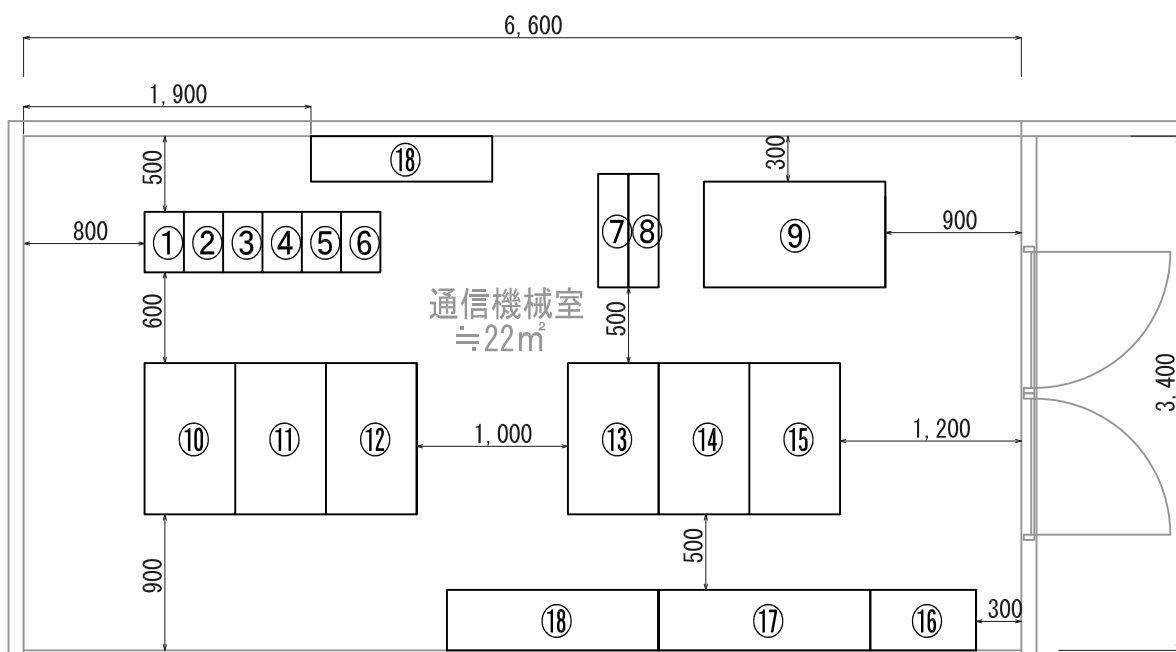
版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/50	図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 屋上設備工事 軸組図2						





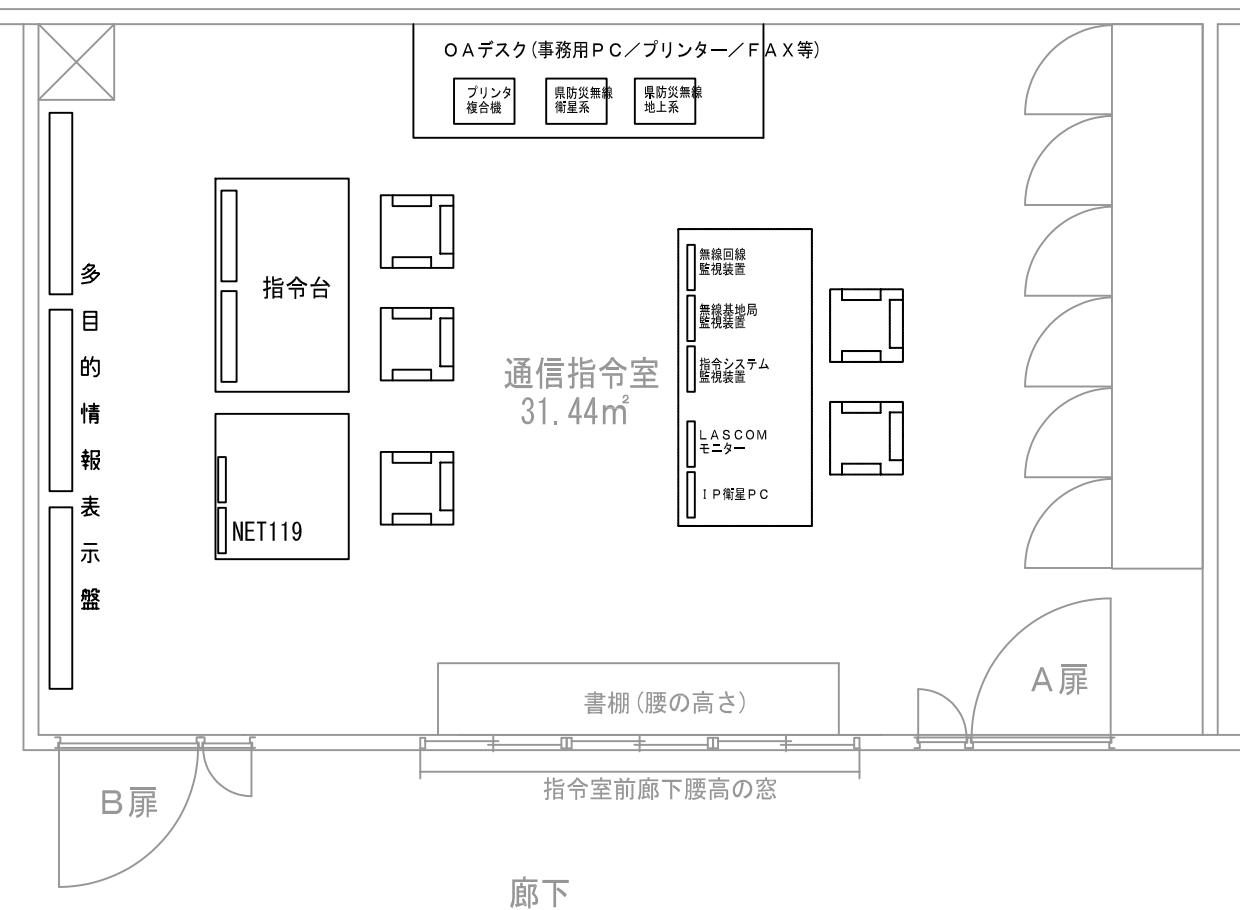
注意

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/150	図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 1階平面図						

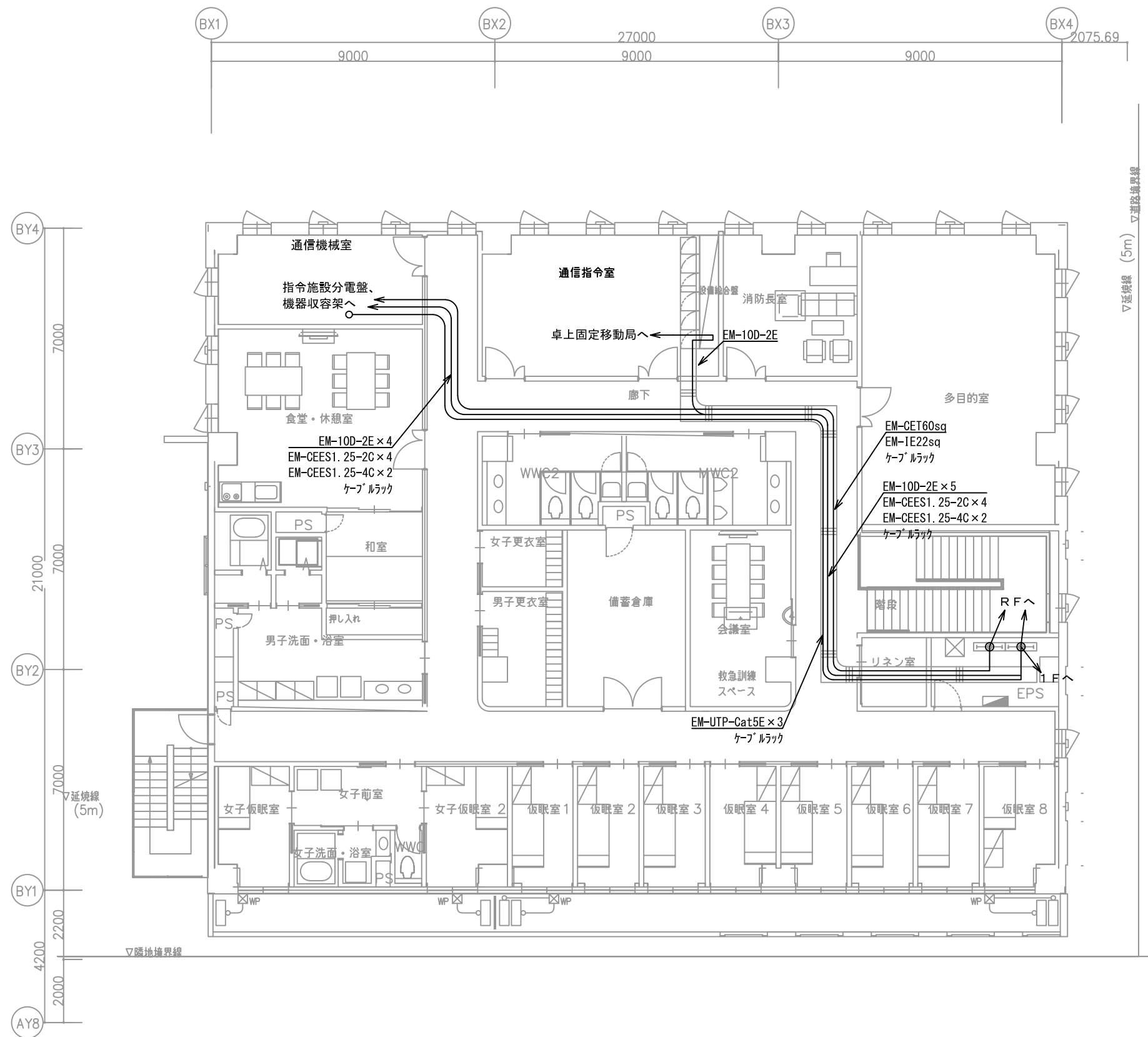


通信機械室
≒22㎡

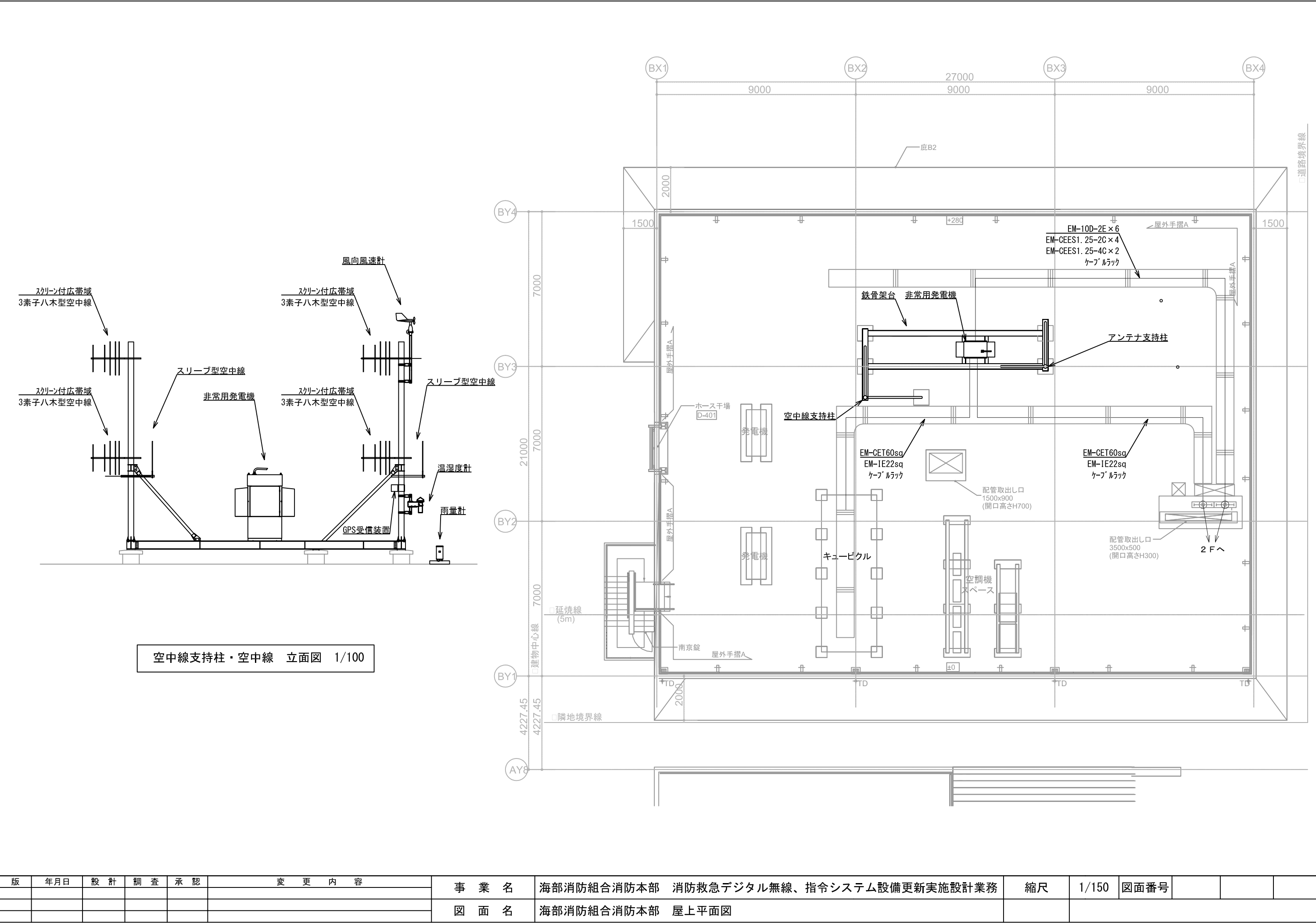
No.	機械室機器名称
①	空中線共用器
②	無線送受信装置(活基)
③	無線送受信装置(活増)
④	空中線共用器
⑤	無線送受信装置(共基)
⑥	無線送受信装置(共増)
⑦	無停電電源装置
⑧	無停電電源装置
⑨	直流電源装置
⑩	機器収容ラック(回線系)
⑪	機器収容ラック(サーバ系)
⑫	機器収容ラック(NW機器)
⑬	指令制御装置
⑭	回線制御装置
⑮	防災連動集中制御装置
⑯	I D F 盤
⑰	M D F 盤
⑱	分電盤
⑲	空調室内機
⑳	ケーブルラック



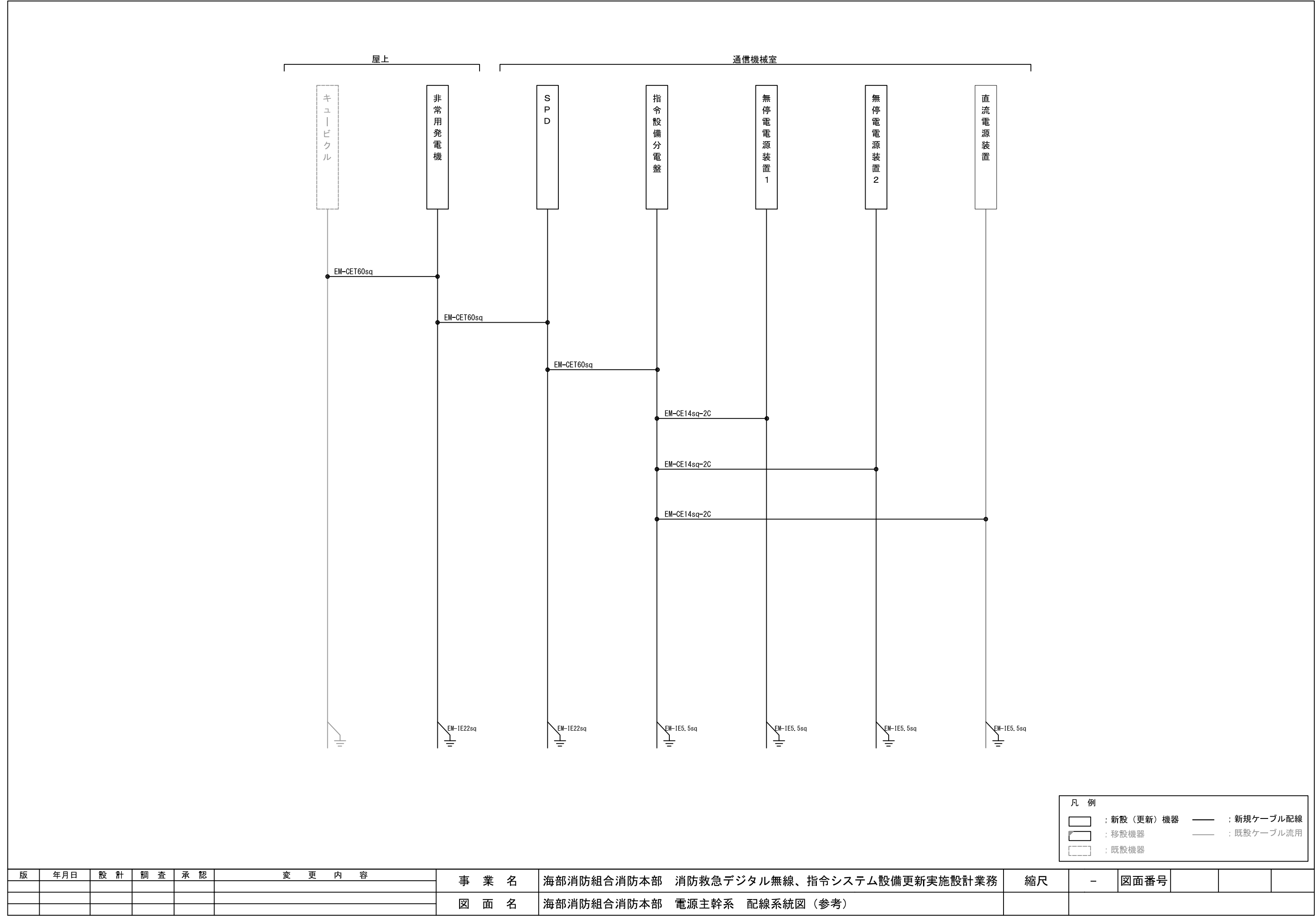
通信指令室
31.44㎡

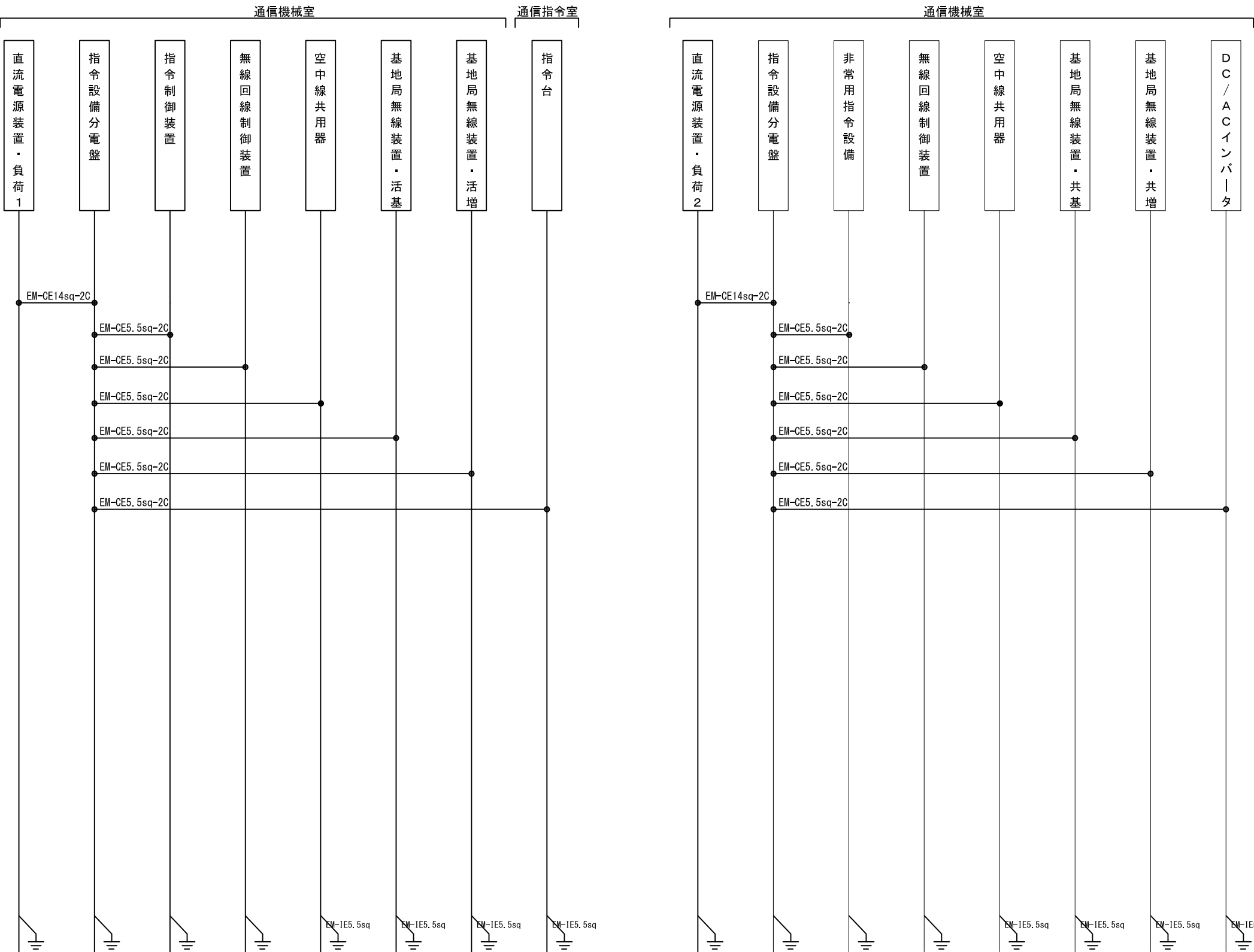


版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/150	図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 2階平面図						



版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/150	図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 屋上平面図						





凡 例

：新設（更新）機器

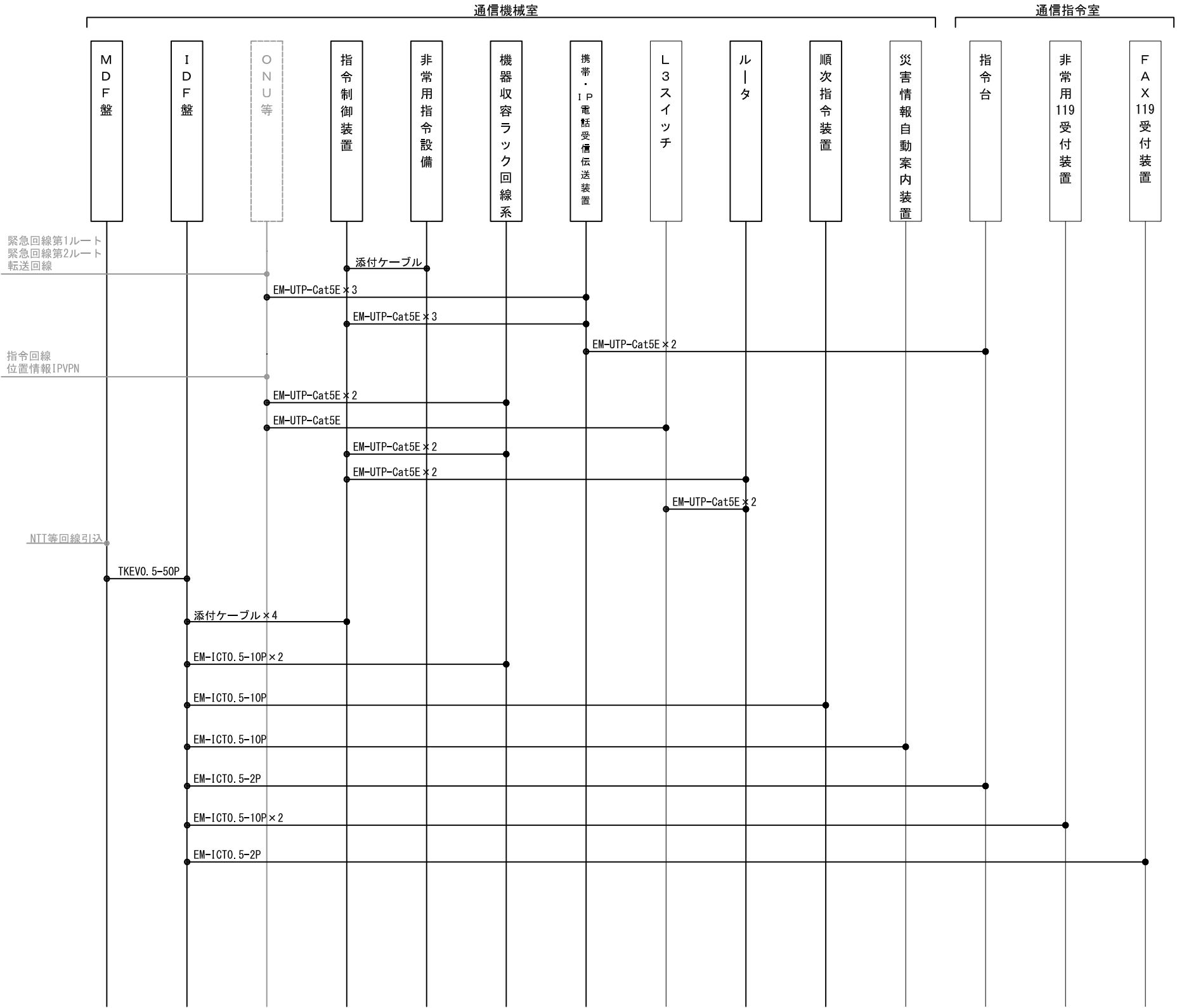
：移設機器

：既設機器

：新規ケーブル配線

：既設ケーブル流用

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号			
						図 面 名	海部消防組合消防本部 直流電源系 配線系統図（参考）						



凡 例

 : 新設（更新）機器

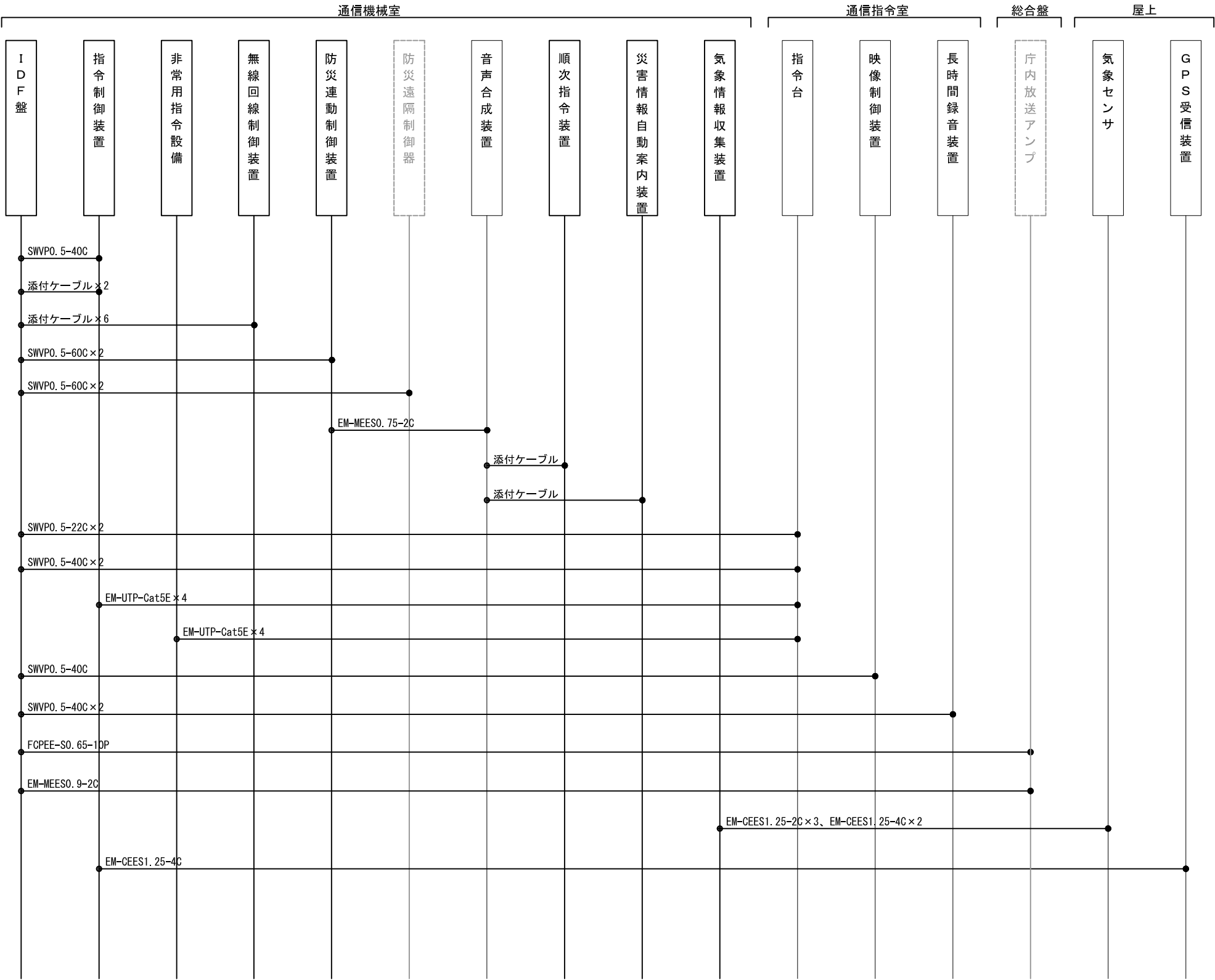
 : 移設機器

 : 既設機器

 : 新規ケーブル配線

 : 既設ケーブル流用

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号			
						図 面 名	海部消防組合消防本部 IDF～装置 回線系 配線系統図（参考）						



凡 例

: 新設（更新）機器

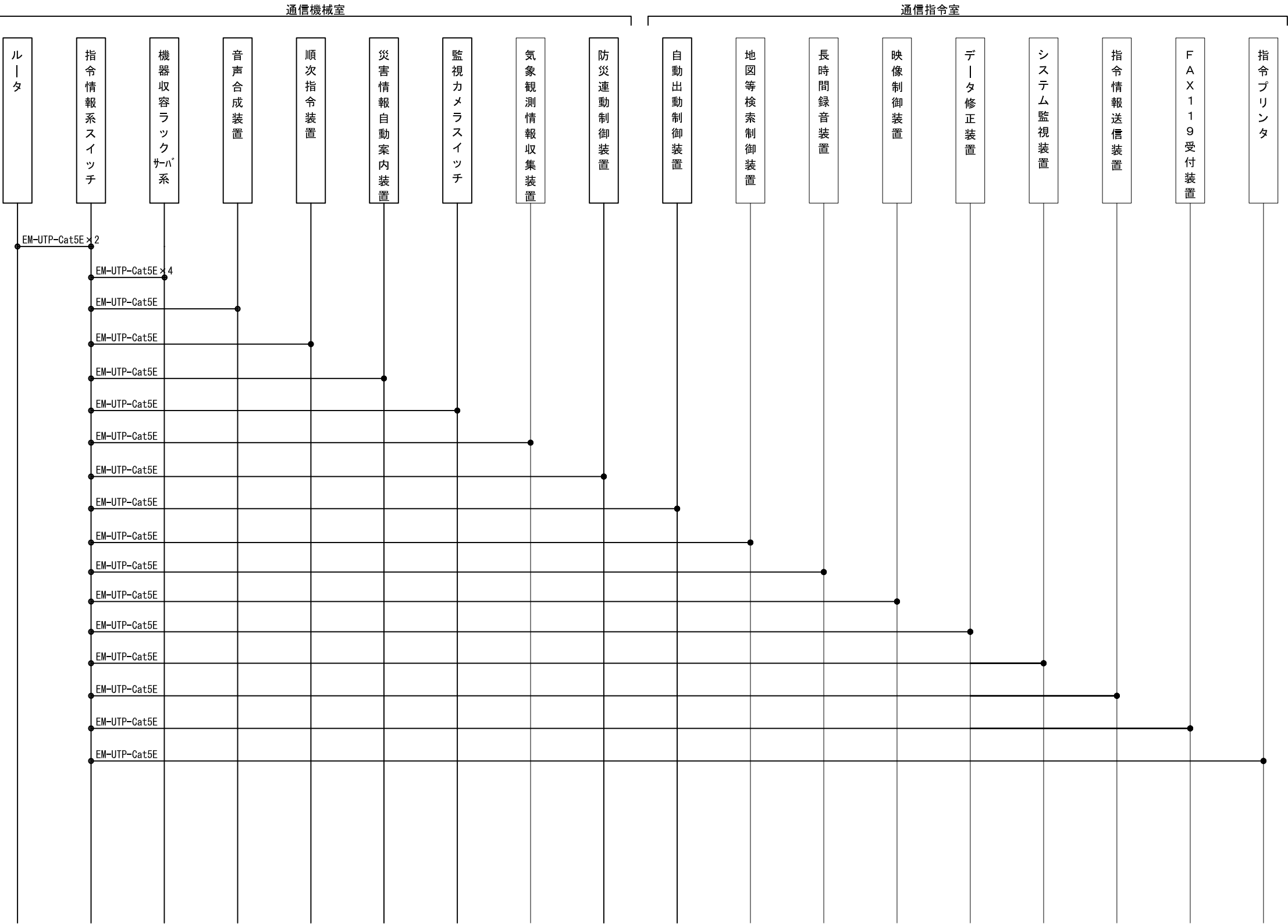
: 移設機器

: 既設機器

: 新規ケーブル配線

: 既設ケーブル流用

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号			
						図 面 名	海部消防組合消防本部 IDF～装置 制御系 配線系統図（参考）						



凡 例

：新設（更新）機器

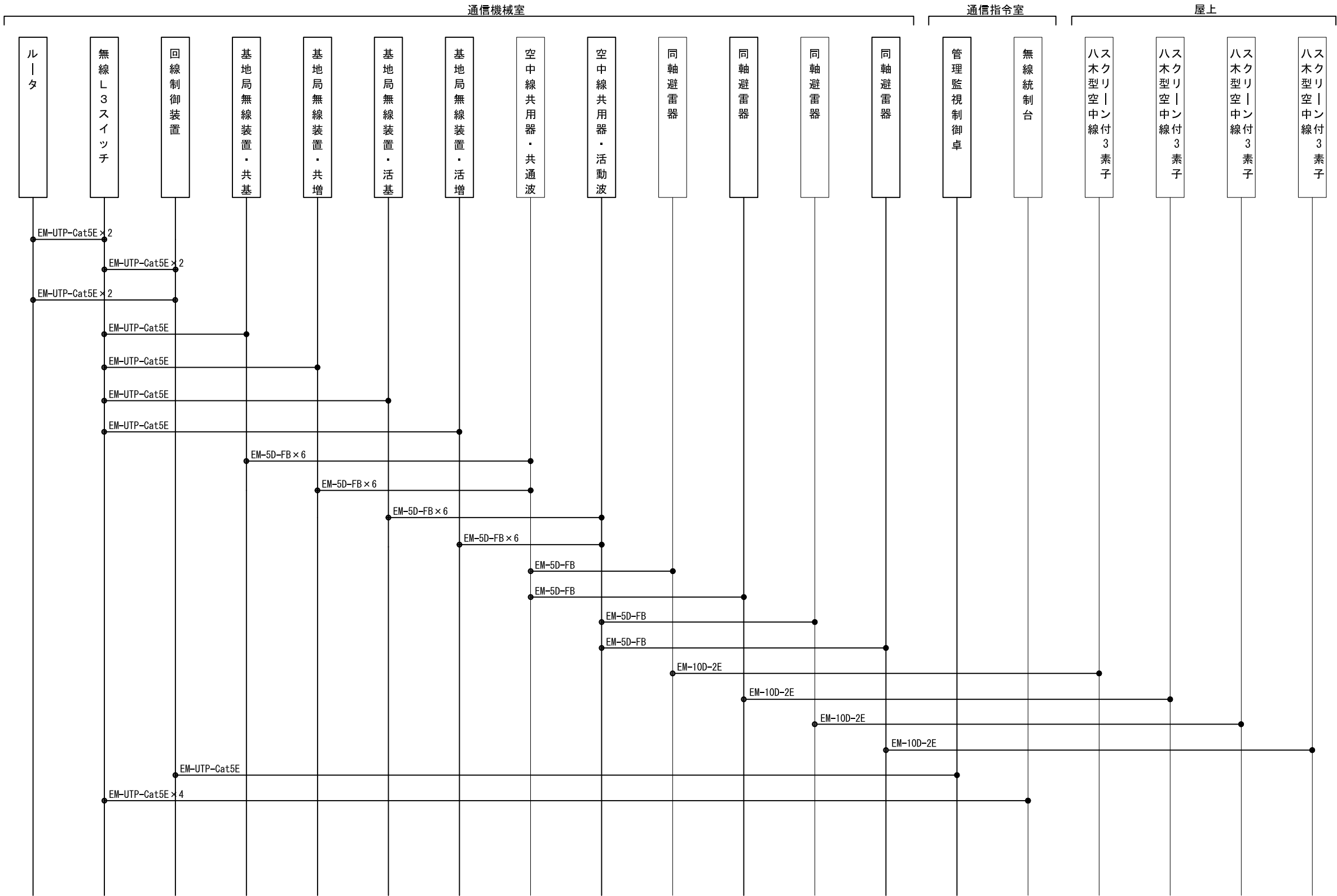
：移設機器

：既設機器

：新規ケーブル配線

：既設ケーブル流用

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号			
						図 面 名	海部消防組合消防本部 情報系ネットワーク 配線系統図（参考）						



凡 例

：新設（更新）機器

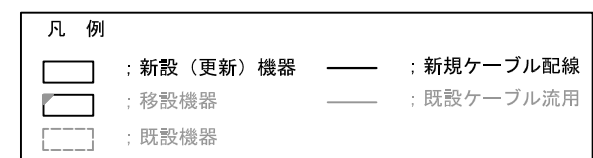
：移設機器

：既設機器

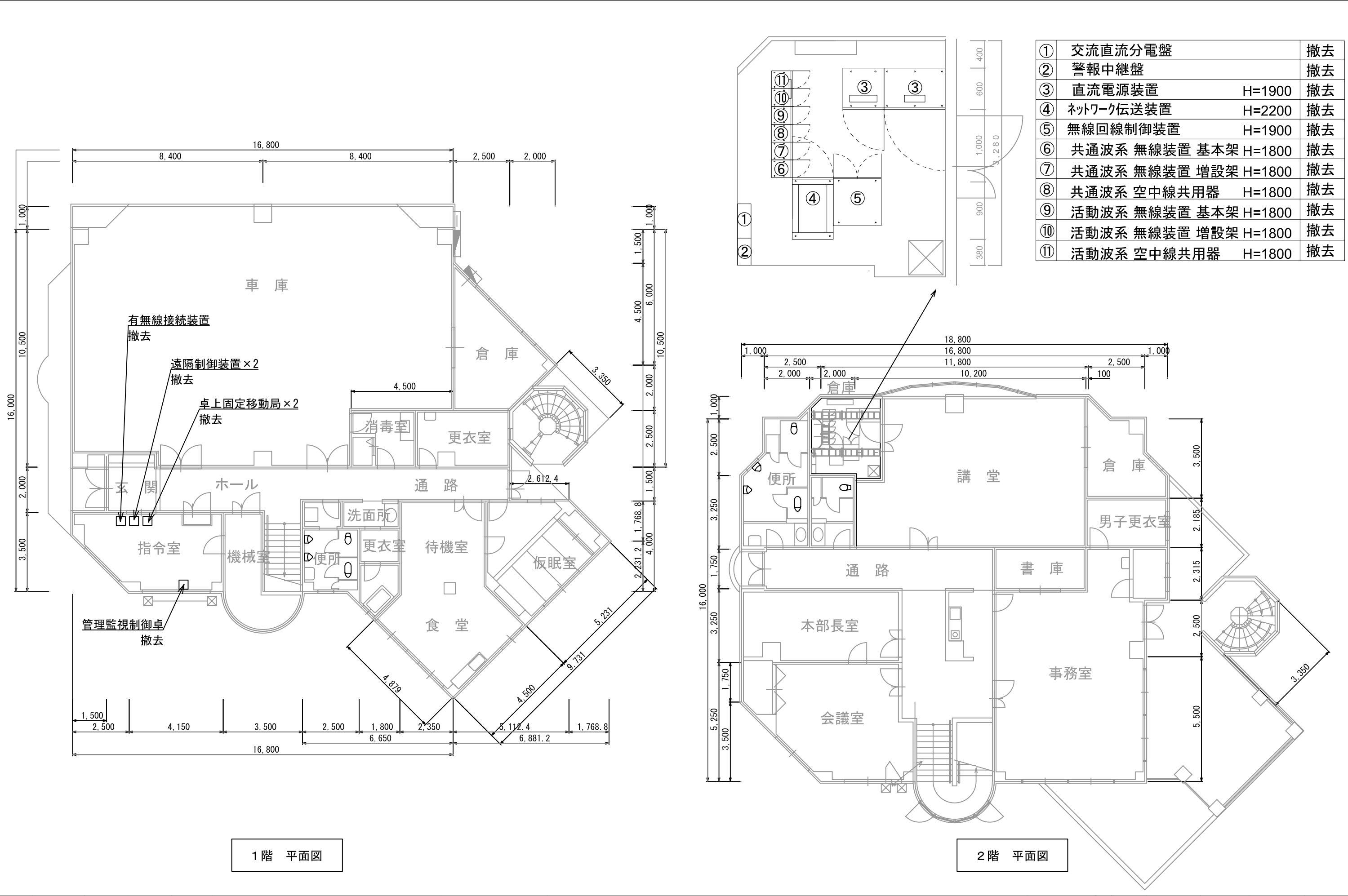
：新規ケーブル配線

：既設ケーブル流用

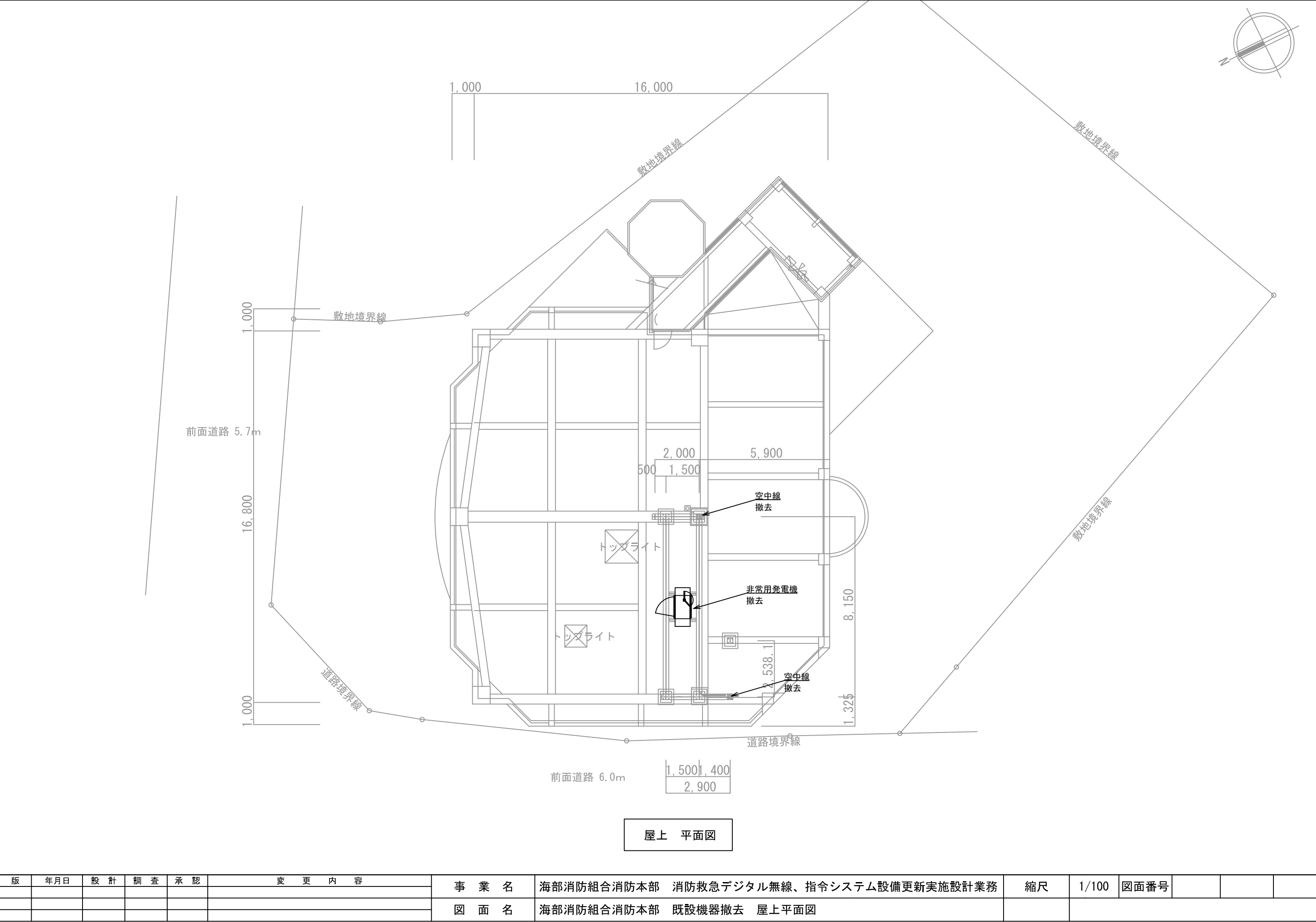
版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号			
						図 面 名	海部消防組合消防本部 無線系 配線系統図（参考）						



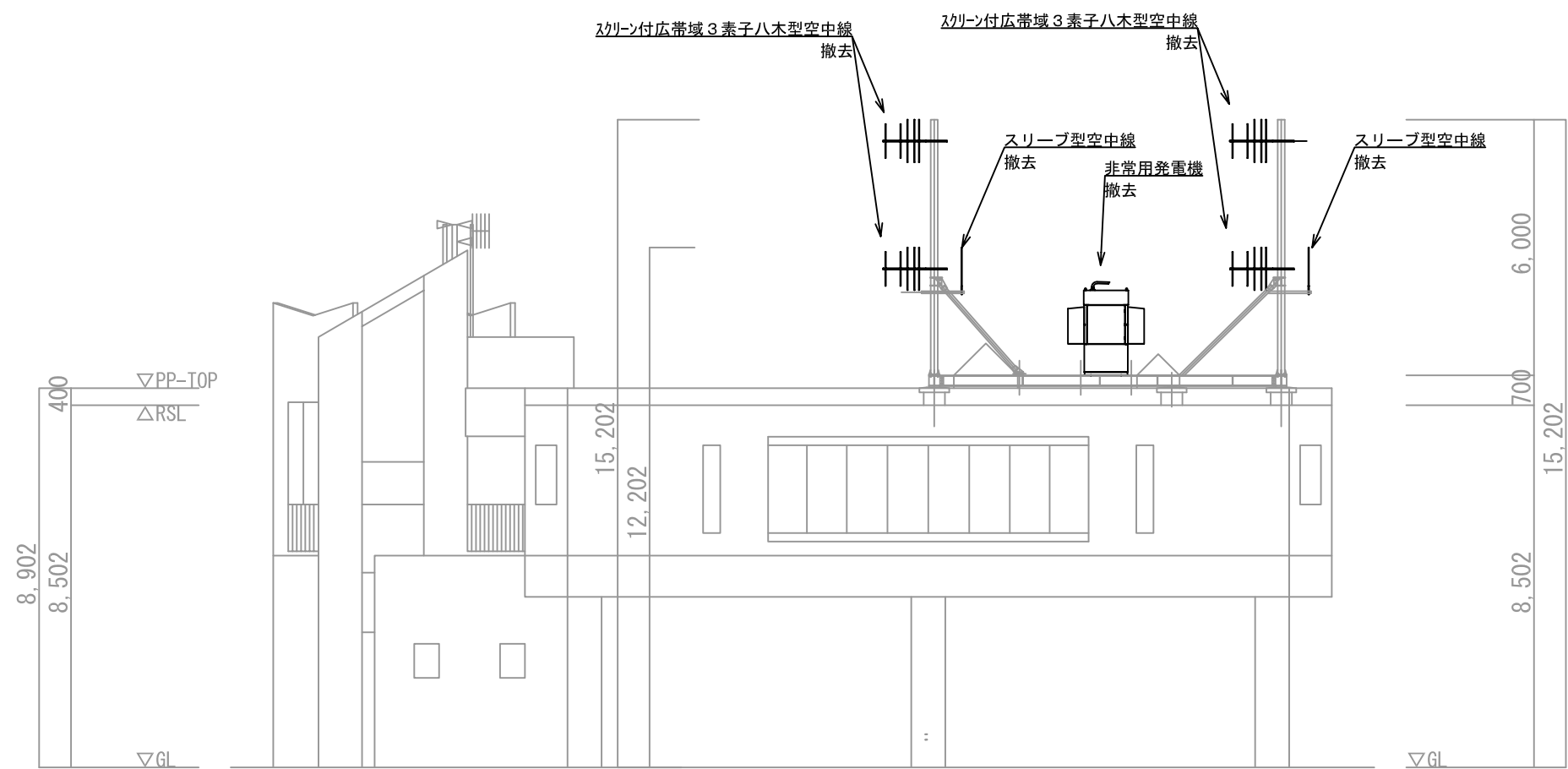
版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号					
						図 面 名	海部消防組合消防本部 牟岐出張所 配線系統図（参考）								



版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/150	図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 既設機器撤去 1階、2階平面図						

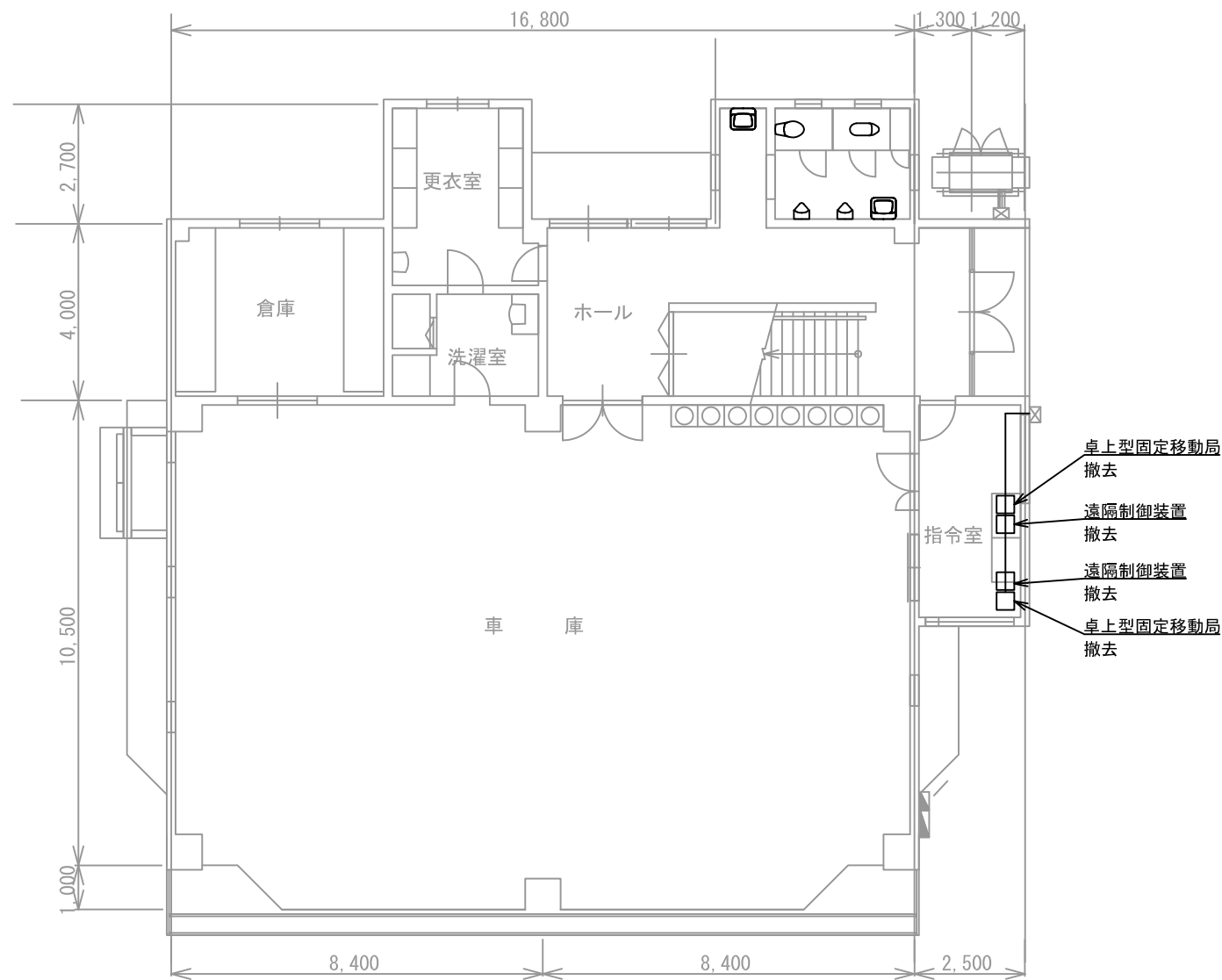


版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/100	図面番号			
						図面名	海部消防組合消防本部 既設機器撤去 屋上平面図						

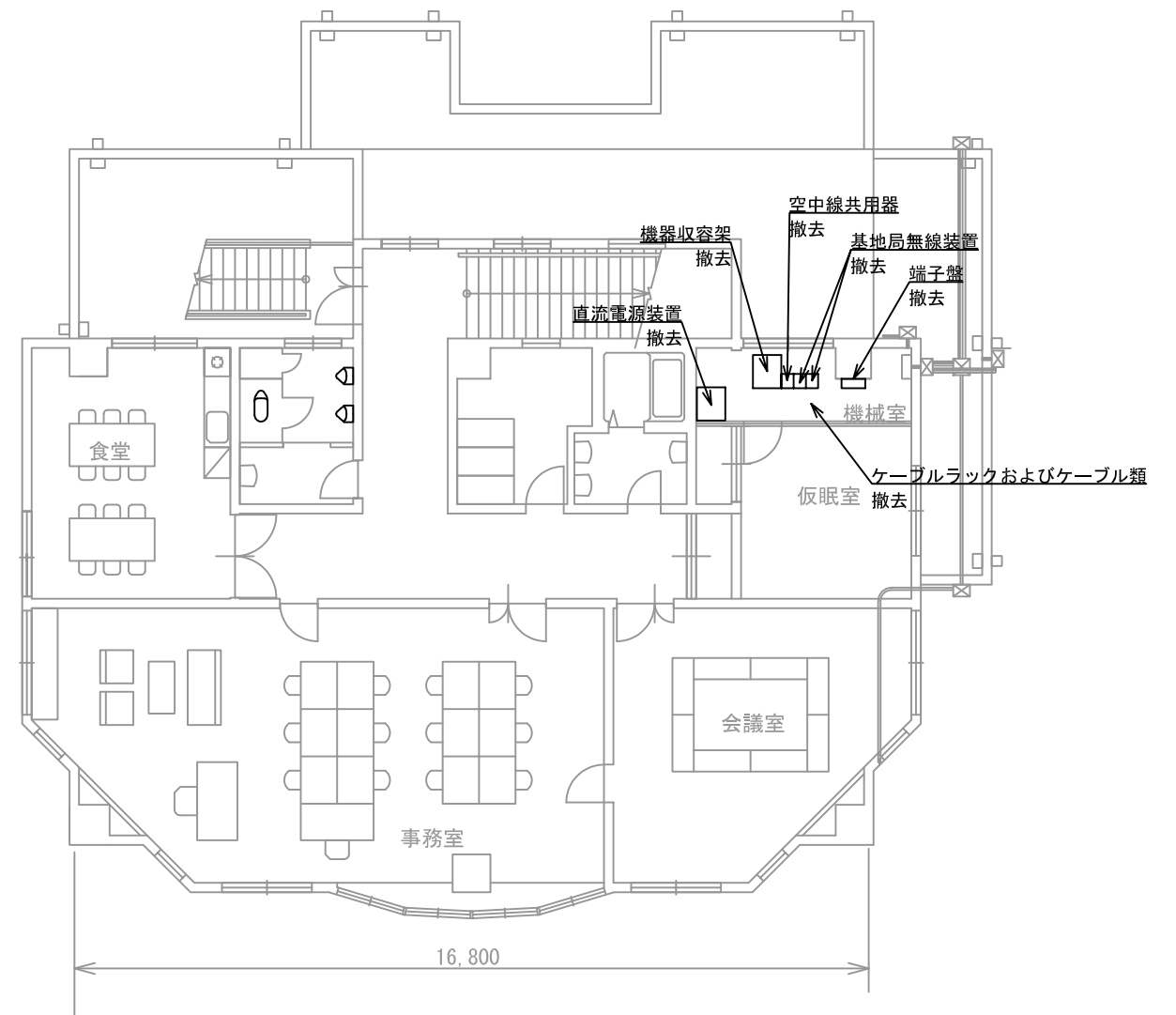


北側 立面図

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/100	図面番号			
						図 面 名	海部消防組合消防本部 既設機器撤去 立面図						

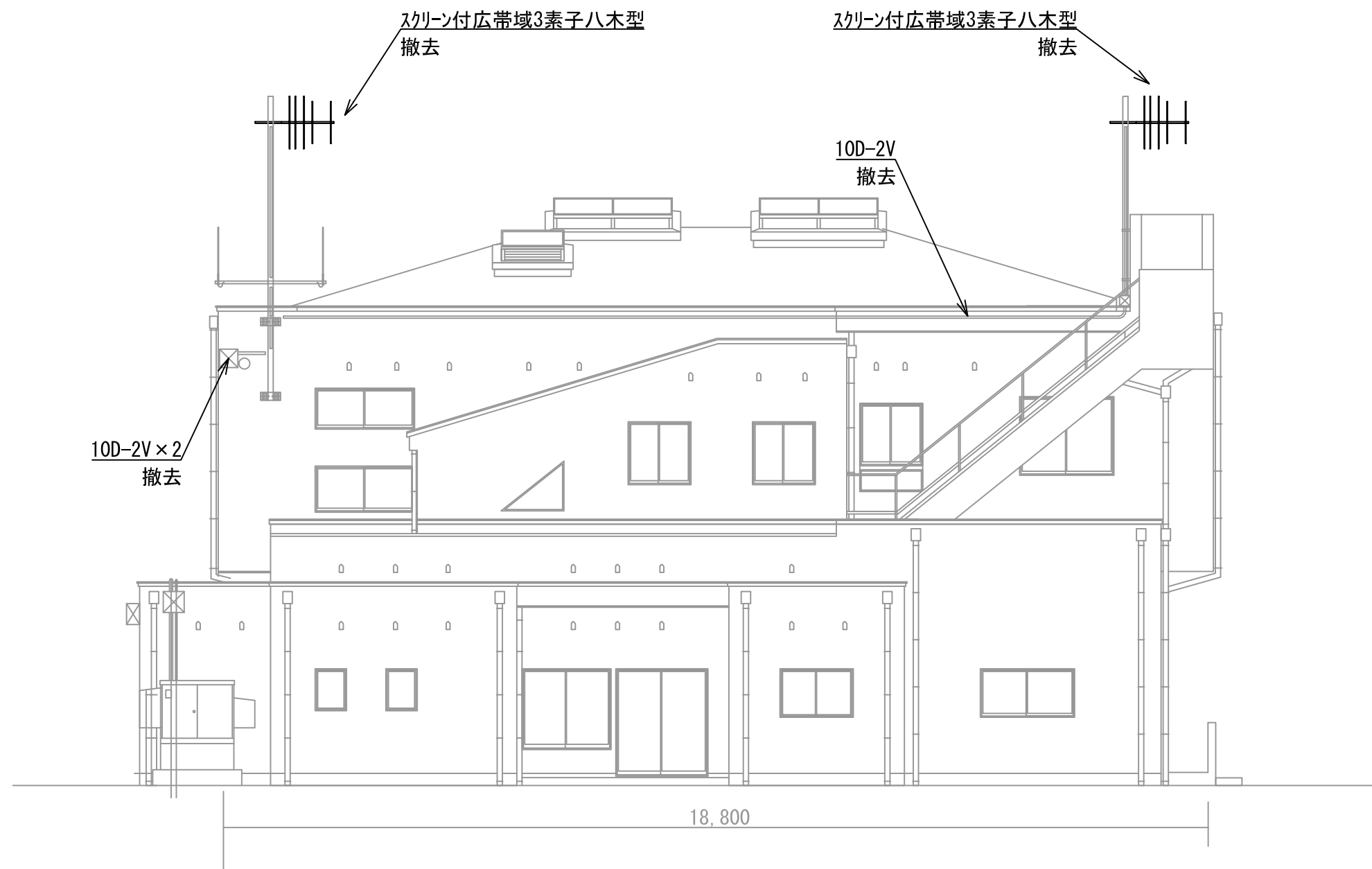


1階 平面図



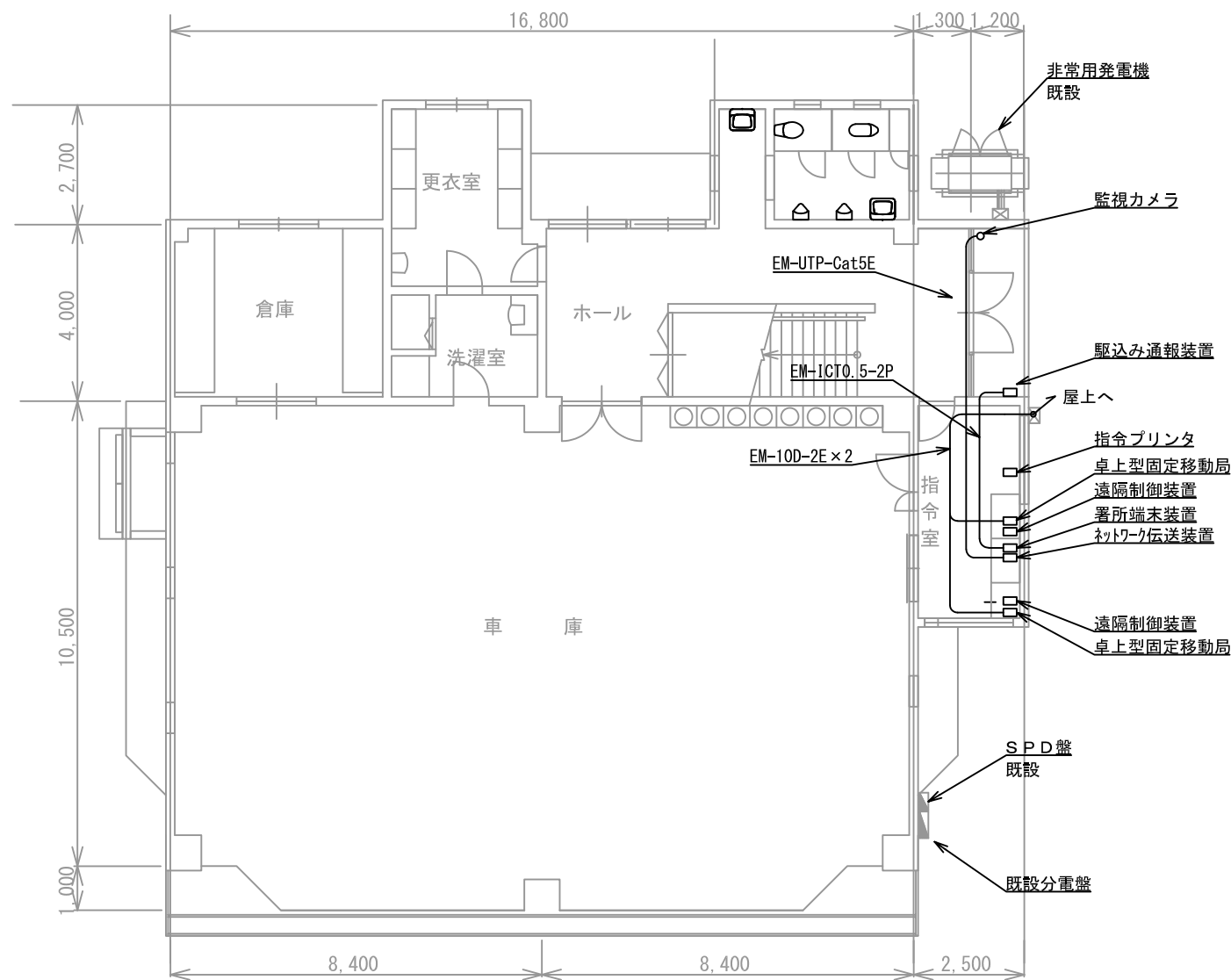
2階 平面図

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/150	図面番号			
						図面名	海南消防署 既設機器撤去 平面図						

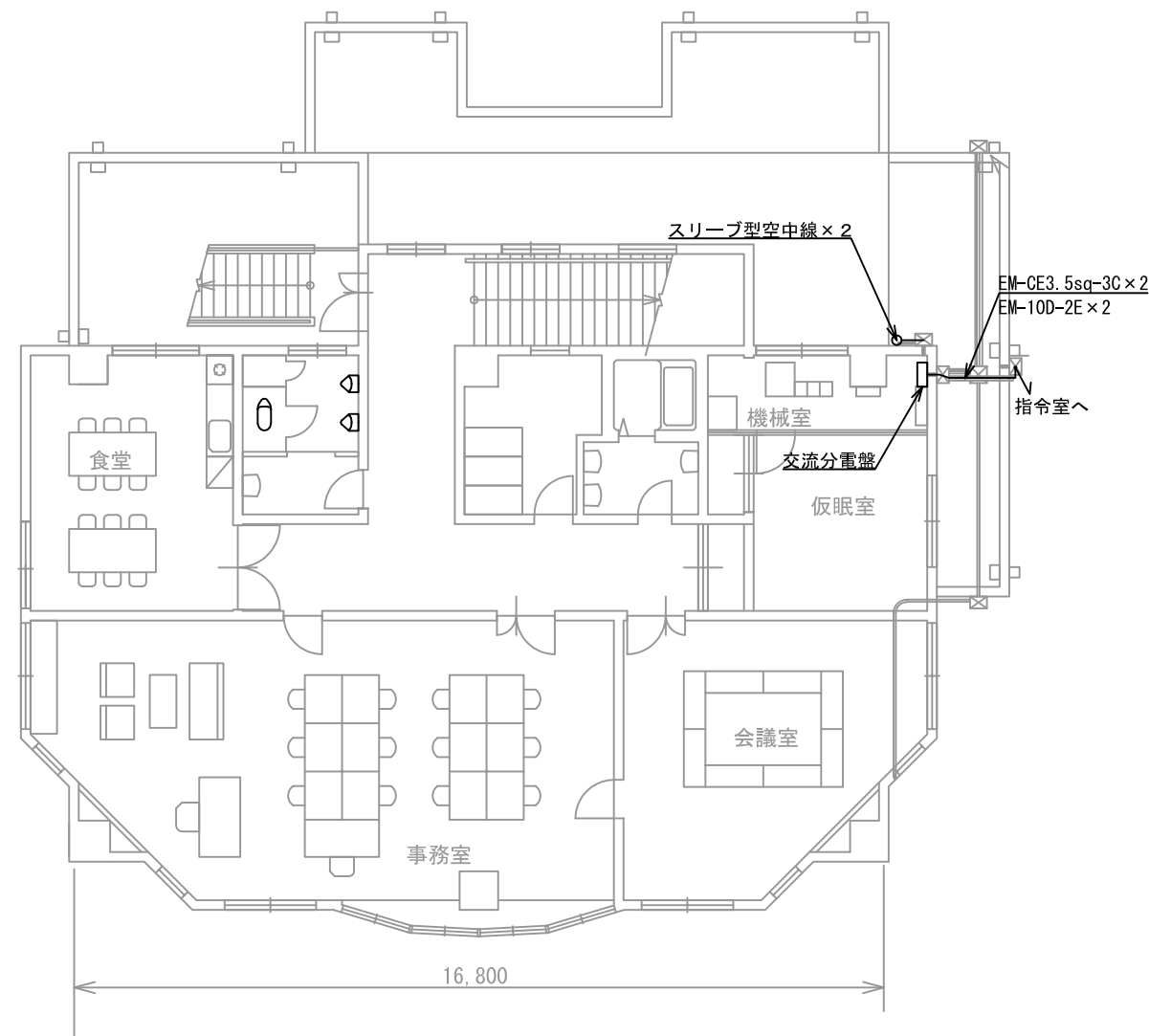


北側 立面図

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/100	図面番号			
						図 面 名	海南消防署 既設機器撤去 立面図						

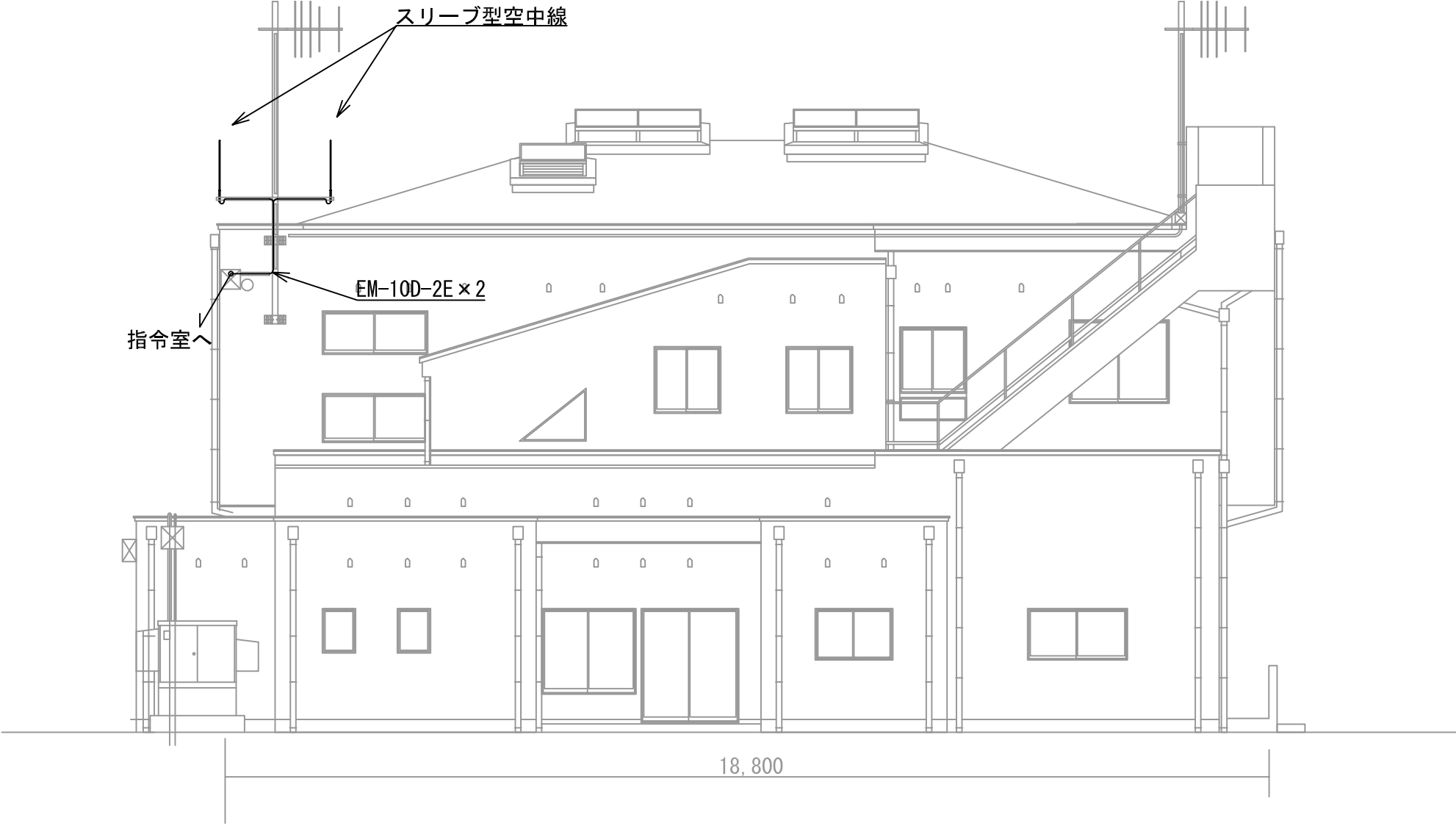


1階 平面図



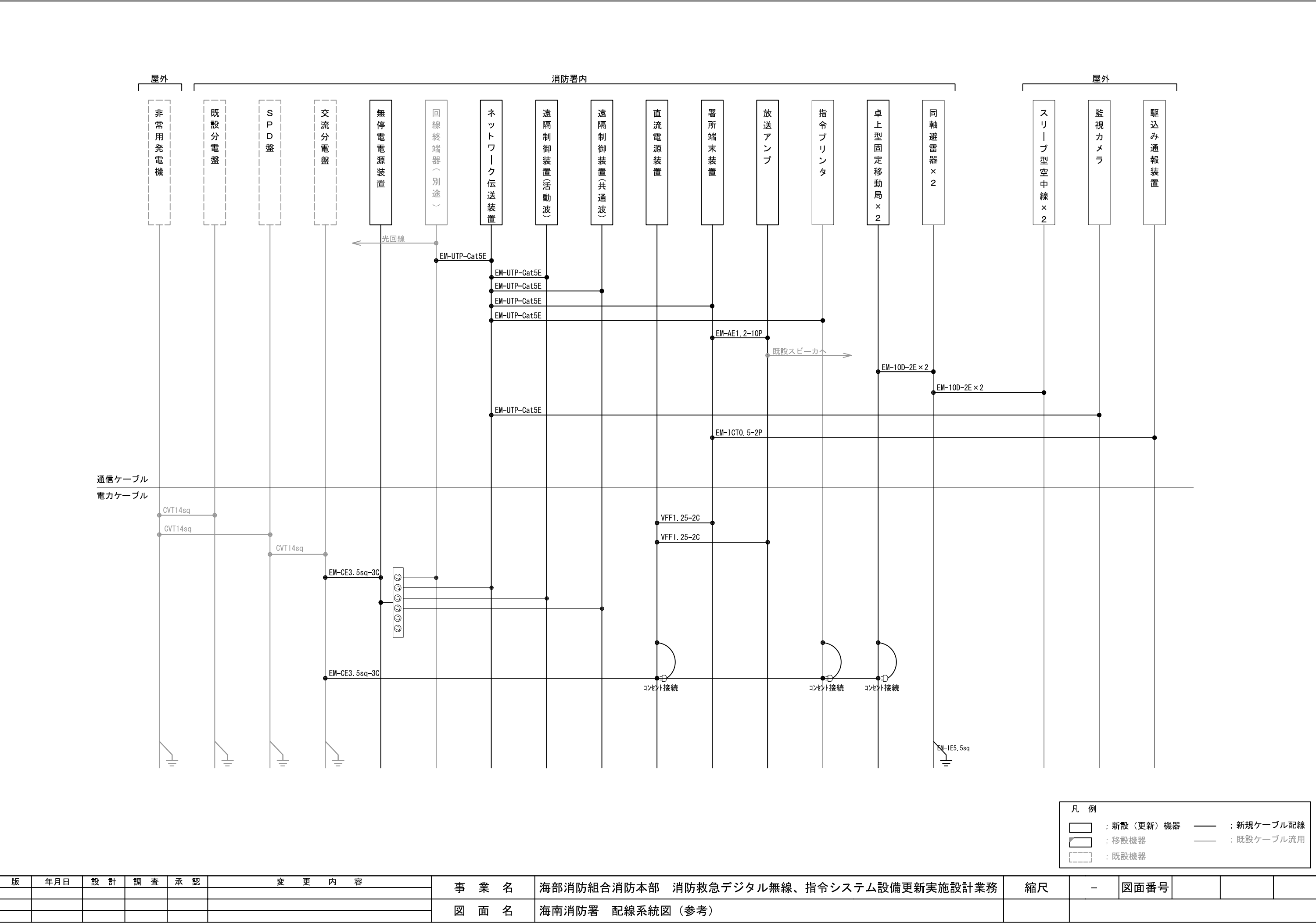
2階 平面図

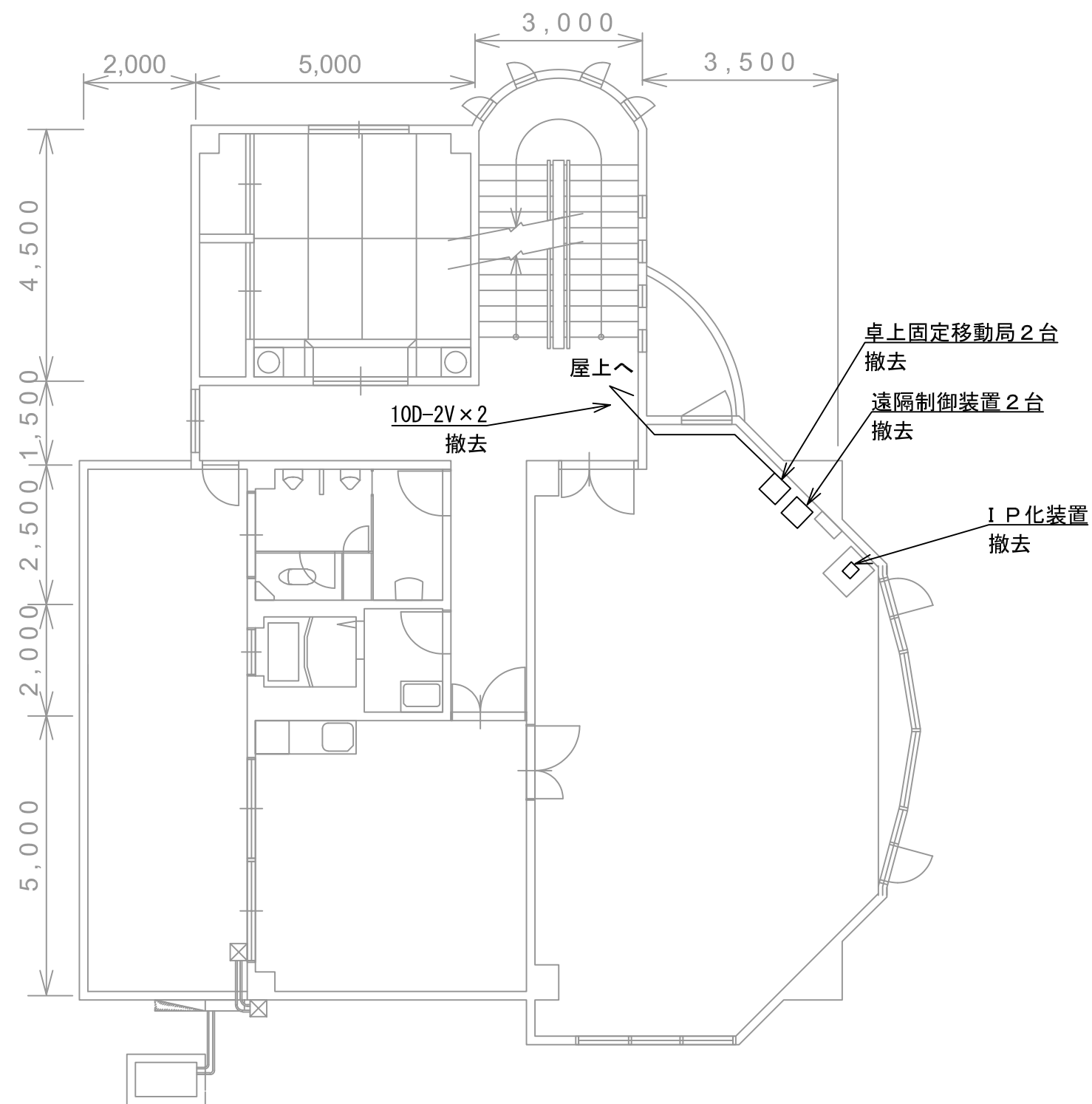
版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/150	図面番号			
						図面名	海南消防署 機器配置配線 平面図						



北側 立面図

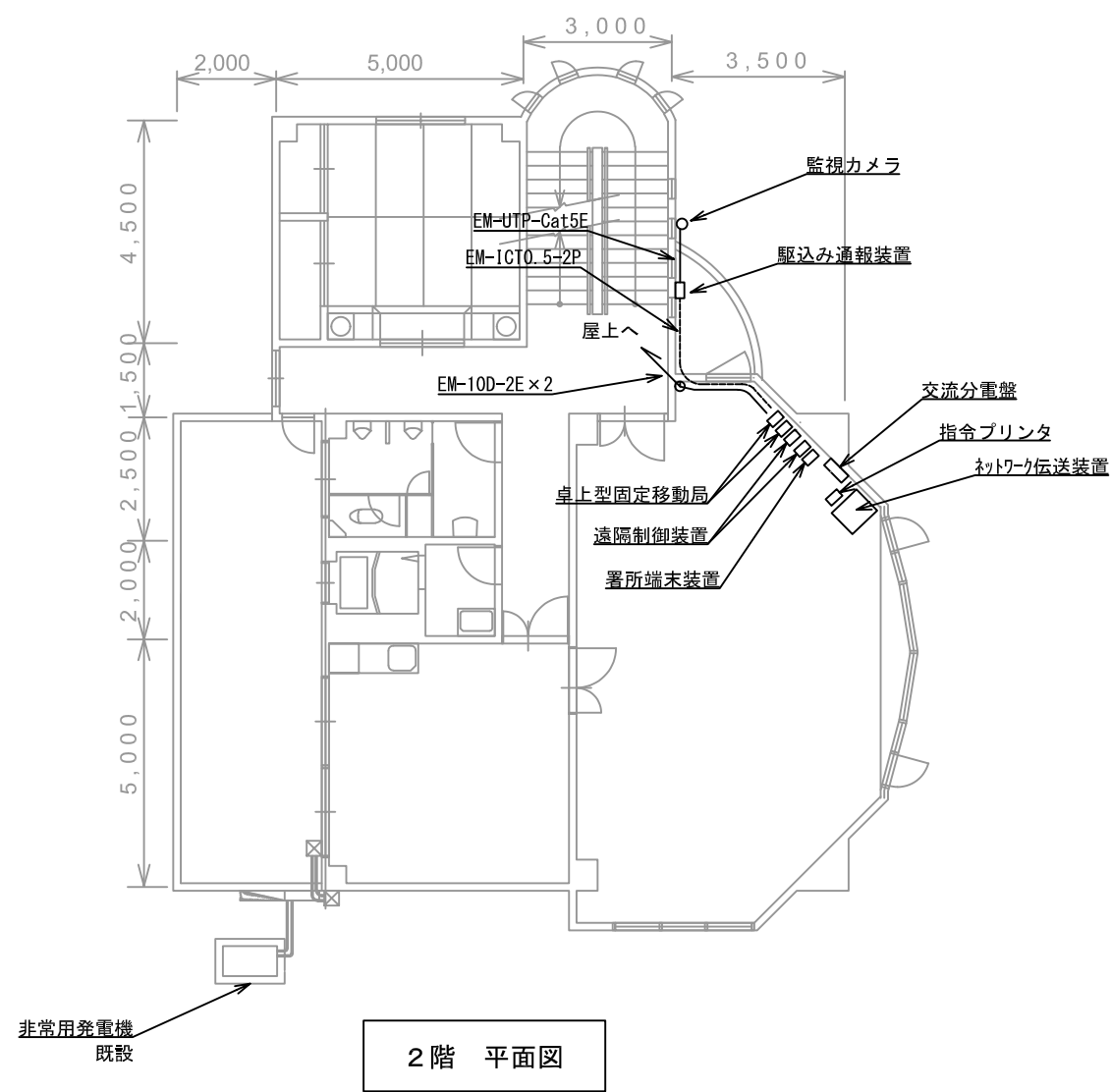
版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/100	図面番号			
						図 面 名	海南消防署 機器配置配線 立面図						



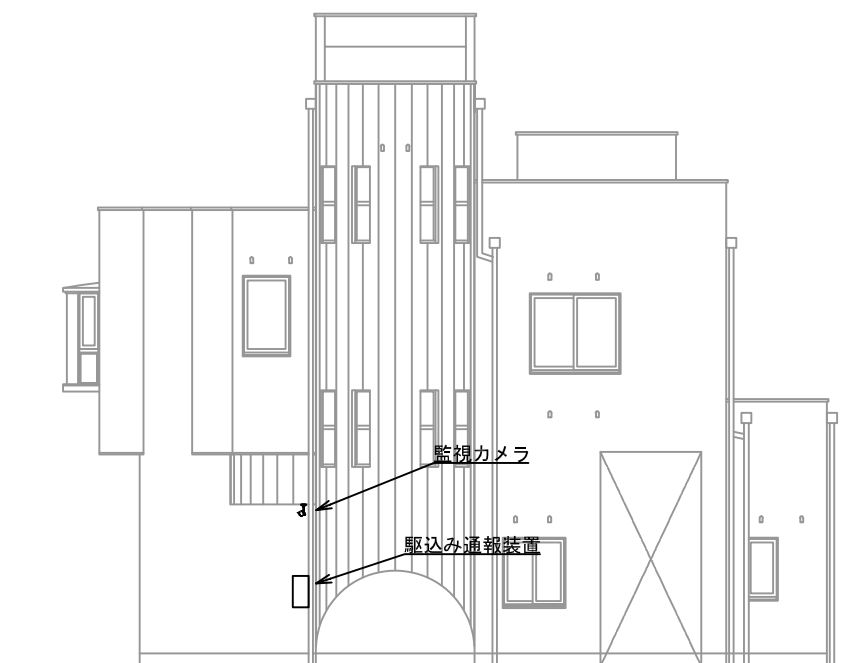


2 階 平面図

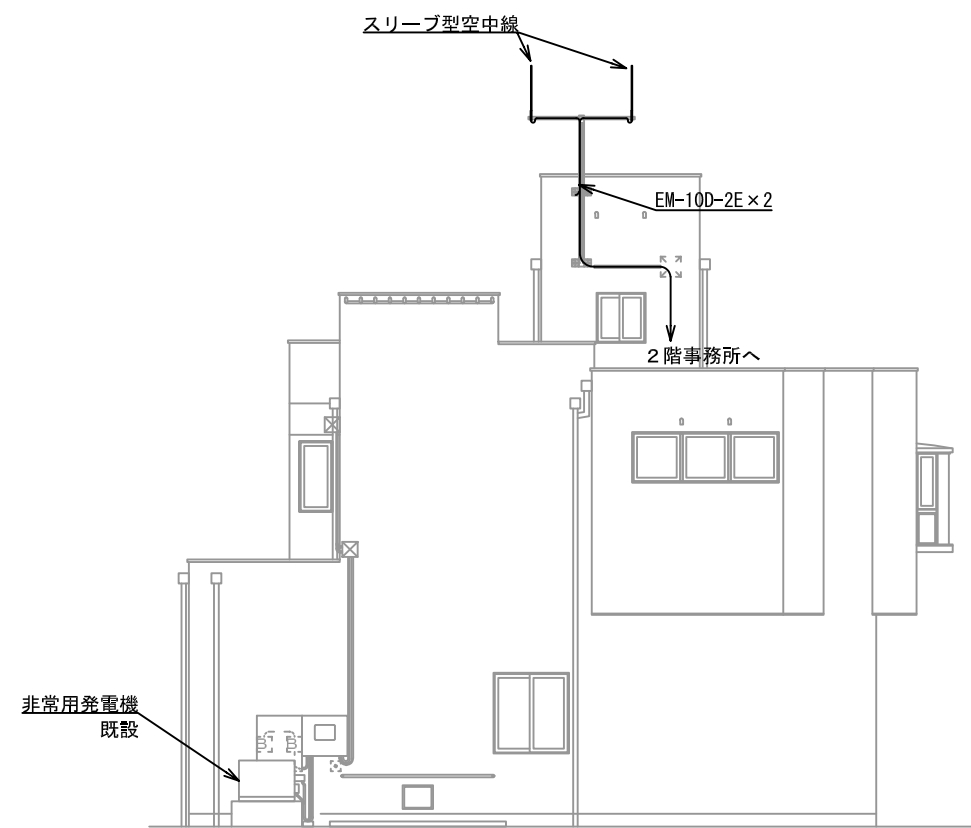
版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/100	図面番号			
						図 面 名	日和佐出張所 既設機器撤去図						



2階 平面図

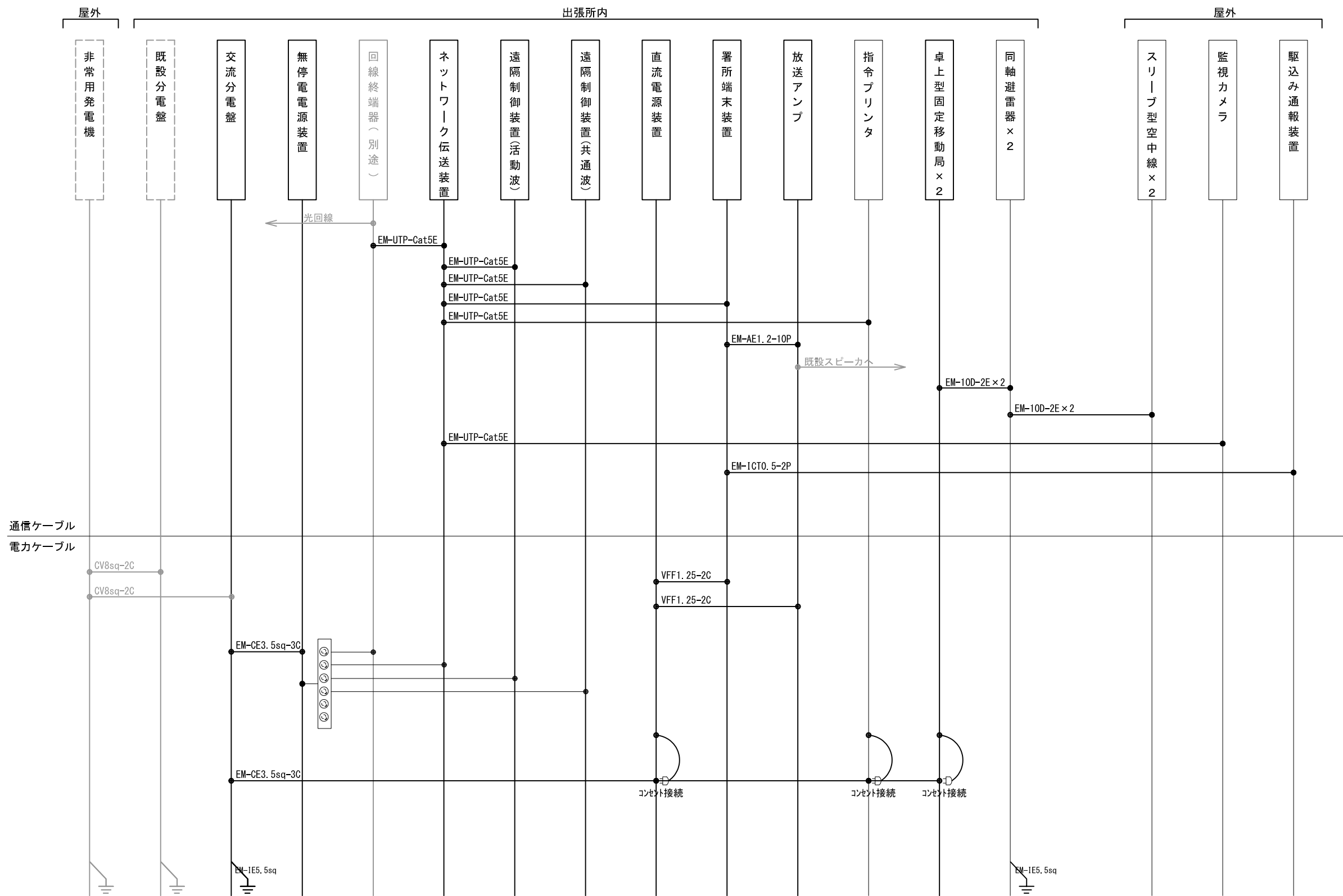


北側 立面図



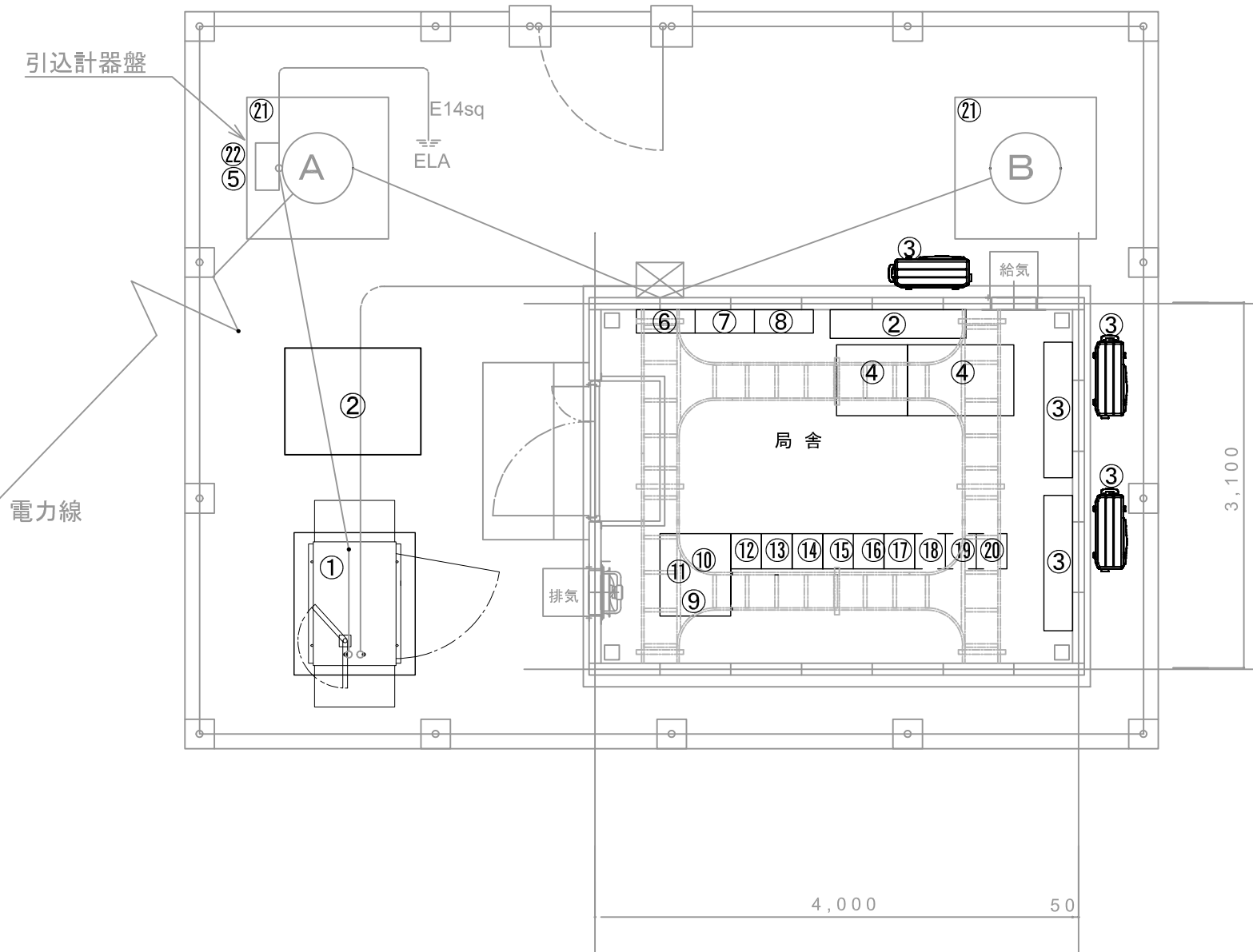
南側 立面図

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/150	図面番号			
						図面名	日和佐出張所 機器配置配線図						



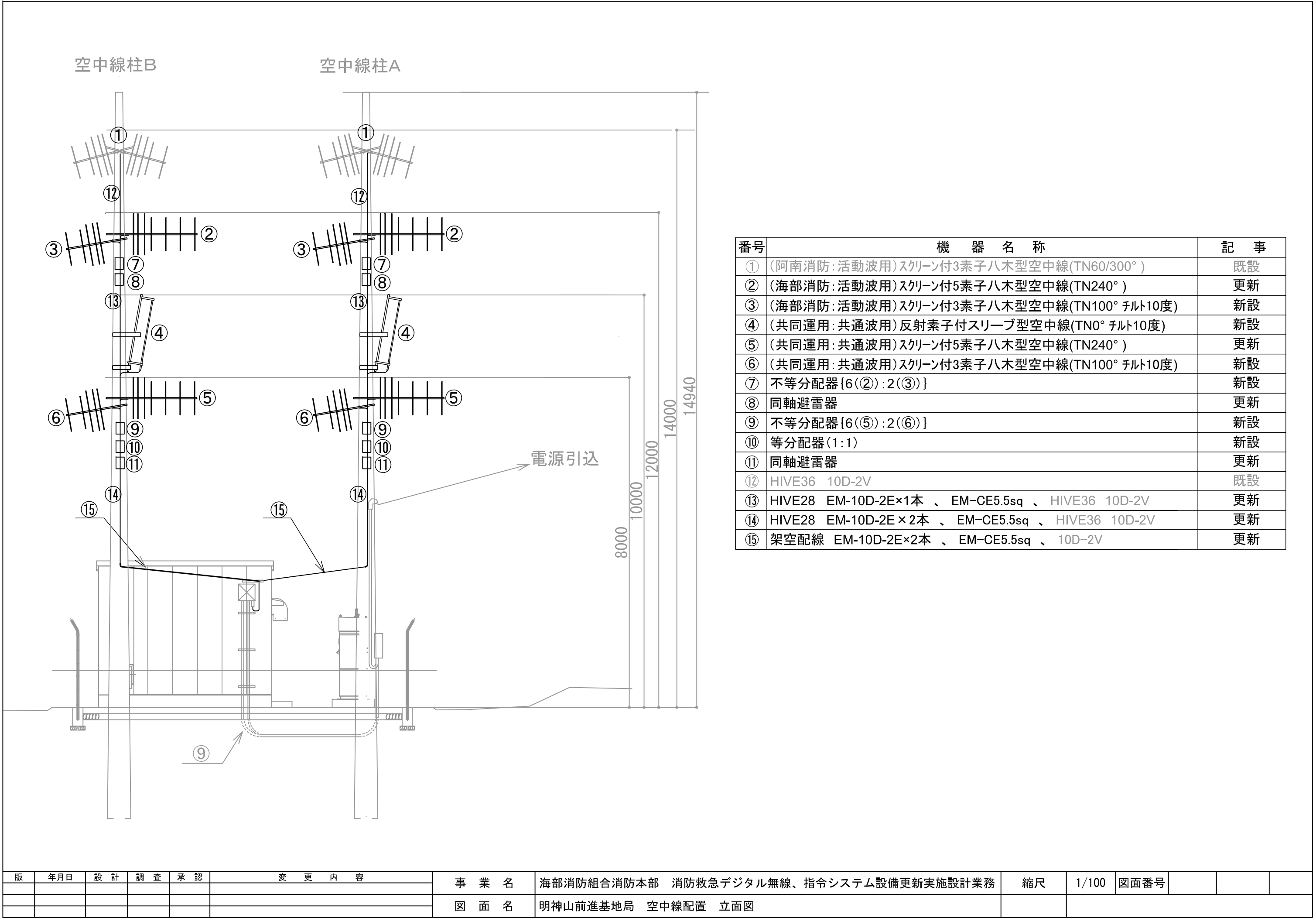
凡 例			
	: 新設（更新）機器		: 新規ケーブル配線
	: 移設機器		: 既設ケーブル流用
	: 既設機器		

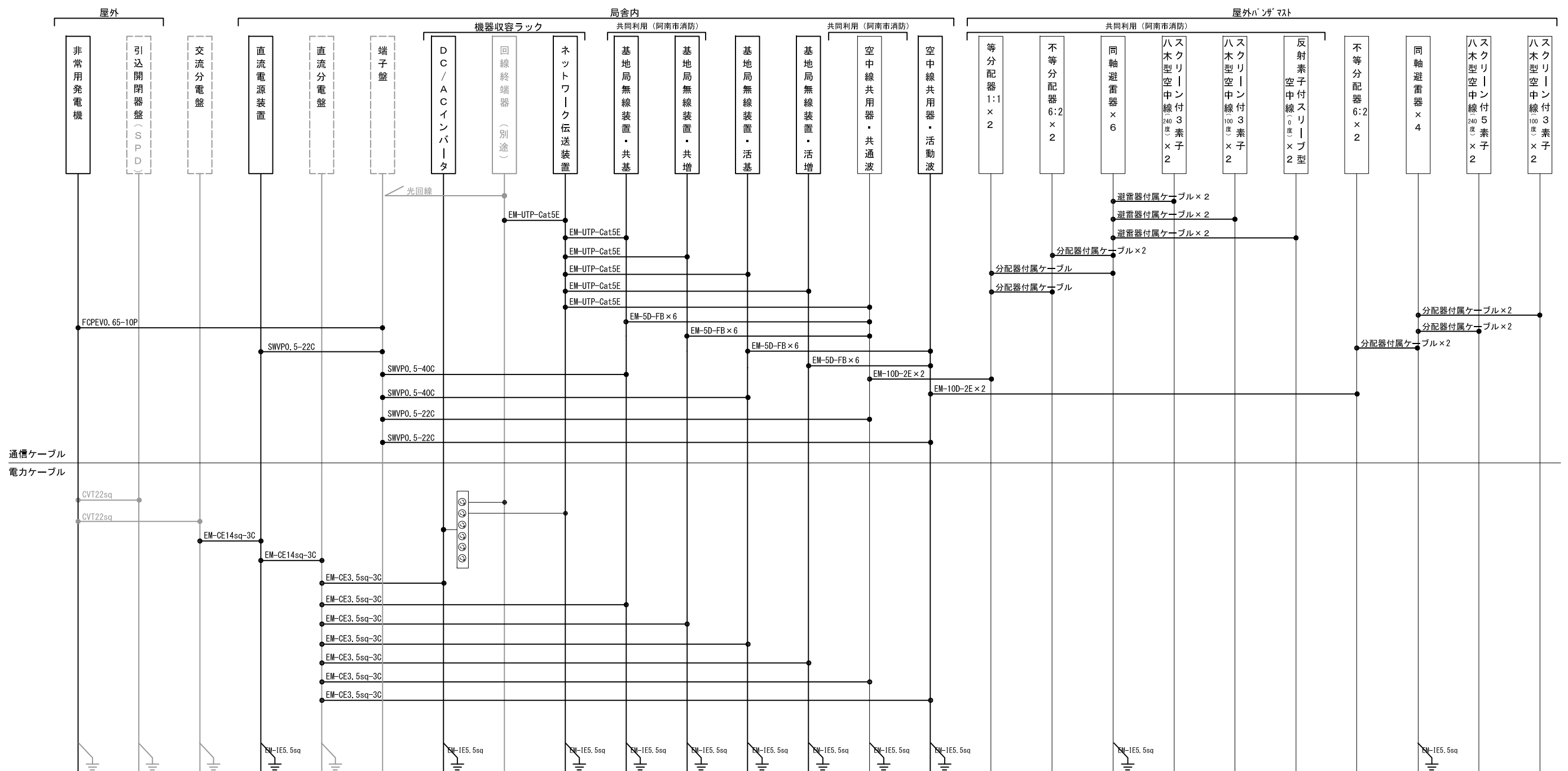
版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮 尺	-	図面番号			
						図 面 名	日和佐出張所 配線系統図（参考）						



No.	機器名	記事
①	非常用発電機	更新
②	発電機油庫	新設
③	空調機	更新
④	直流電源装置	更新
⑤	S P D	既設
⑥	交流分電盤	改修
⑦	直流分電盤	改修
⑧	警報中継盤	改修
⑨	機器収容架	既設
⑩	DC/ACインバータ	新設 (ラック内収容)
⑪	ネットワーク伝送装置	更新 (ラック内収容)
⑫	基地局無線装置 (共増)	更新 (阿南市消防共同運用)
⑬	基地局無線装置 (共基)	更新 (阿南市消防共同運用)
⑭	空中線共用器 (共通波)	更新 (阿南市消防共同運用)
⑮	基地局無線装置 (活増)	更新
⑯	基地局無線装置 (活基)	更新
⑰	空中線共用器 (活動波)	更新
⑱	基地局無線装置 (活増)	既設 (阿南市消防本部)
⑲	基地局無線装置 (活基)	既設 (阿南市消防本部)
⑳	空中線共用器 (活動波)	既設 (阿南市消防本部)
㉑	空中線柱	既設
㉒	引込開閉器盤	既設

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮 尺	1/50	図面番号			
						図 面 名	明神山前進基地局 機器配置 平面図						



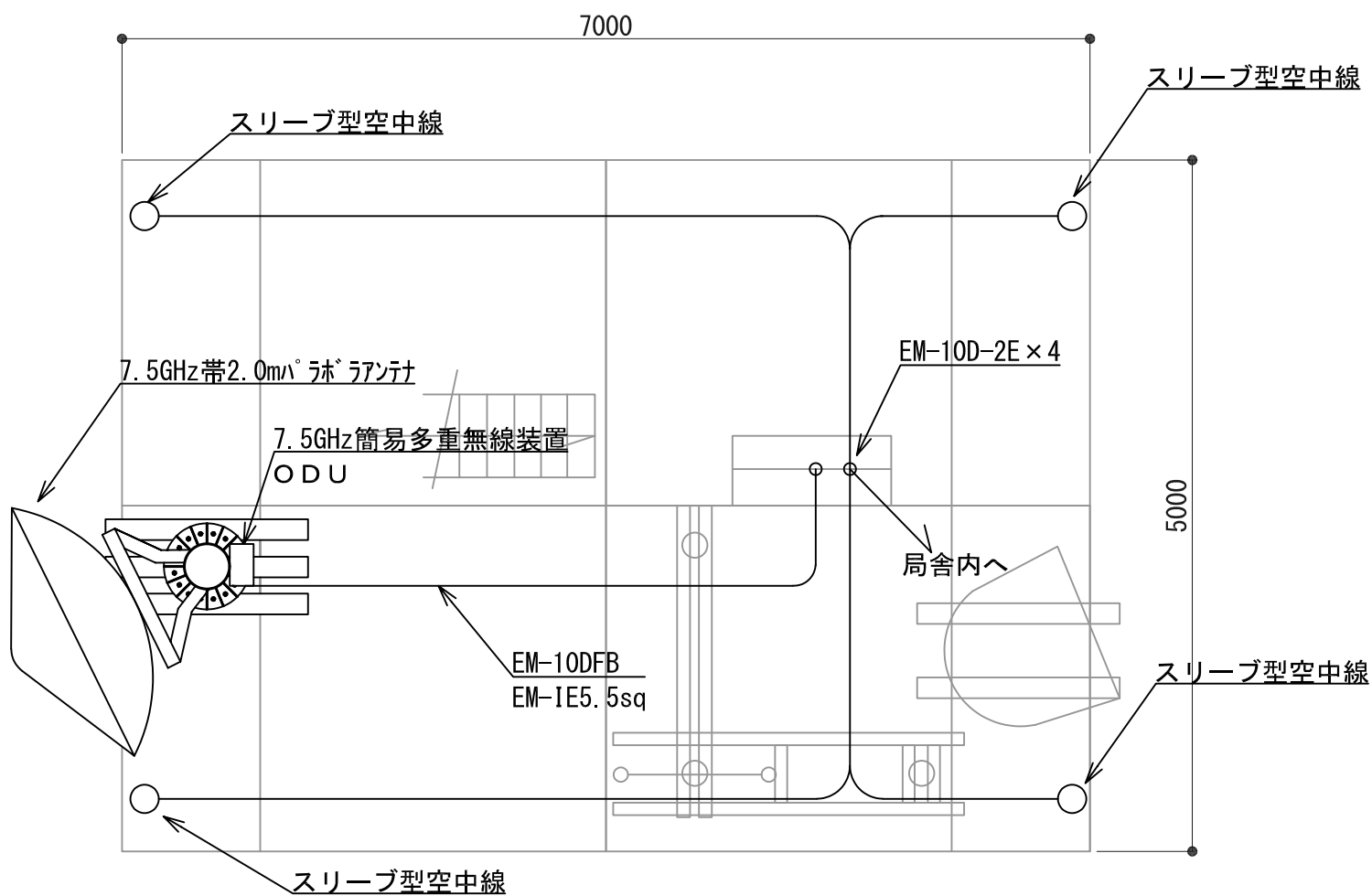


凡 例	
	: 新設（更新）機器
	: 新規ケーブル配線
	: 移設機器
	: 既設ケーブル流用
	: 既設機器

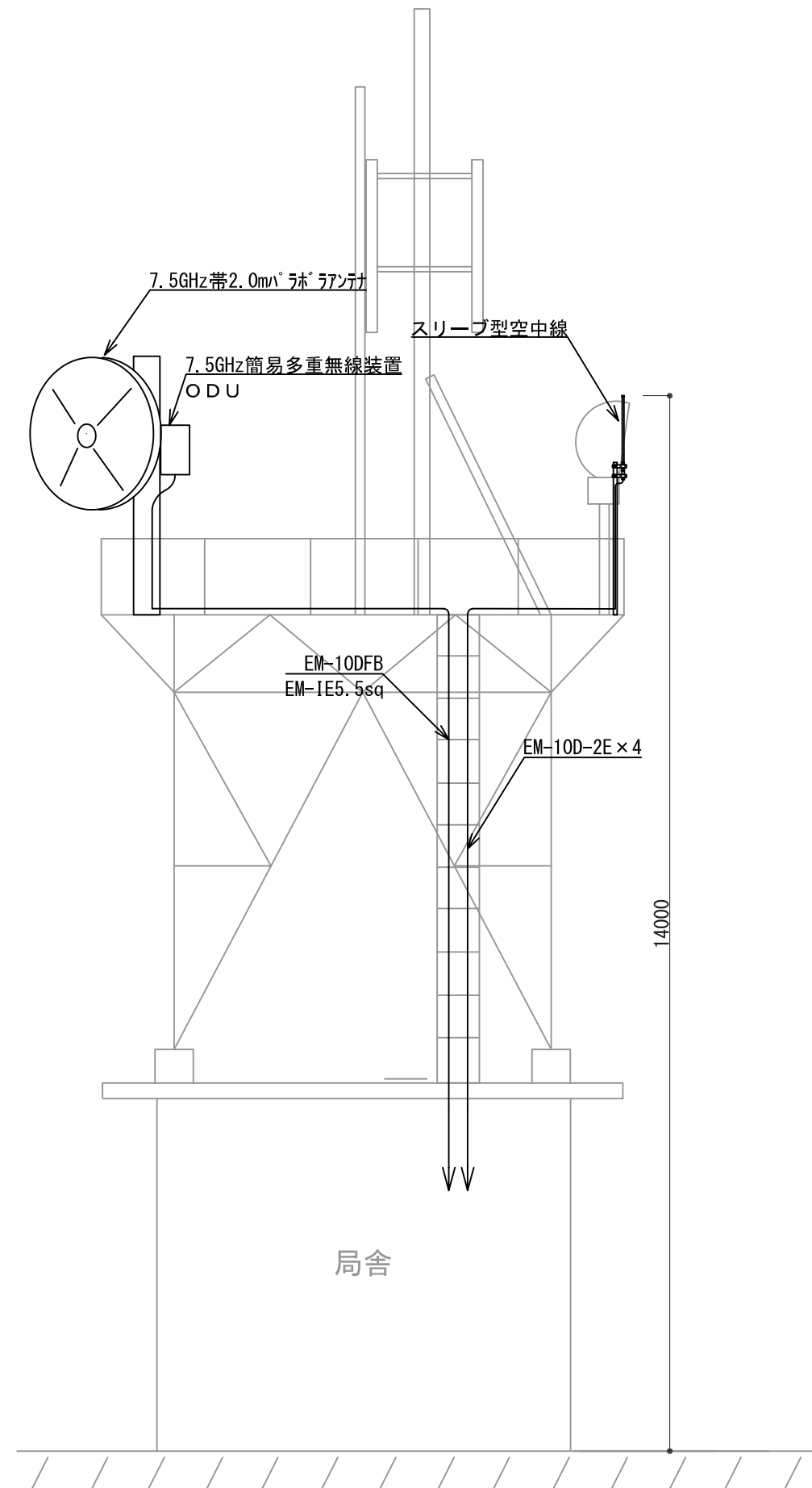
版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号			
						図 面 名	明神山前進基地局 配線系統図（参考）						

No.	機器名	記事
①	空中線共用器（活動波）	新設
②	基地局無線装置（活基）	新設
③	基地局無線装置（活増）	新設
④	空中線共用器（共通波）	新設
⑤	基地局無線装置（共基）	新設
⑥	基地局無線装置（共増）	新設
⑦	19インチラック	新設
⑧	IP伝送変換装置	新設 ラック内収容
⑨	IDU	新設 ラック内収容
⑩	直流電源装置	新設
⑪	交流分電盤	新設
⑫	直流分電盤	新設
⑬	配電盤	既設
⑭	非常用発電機	新設

[illegible]

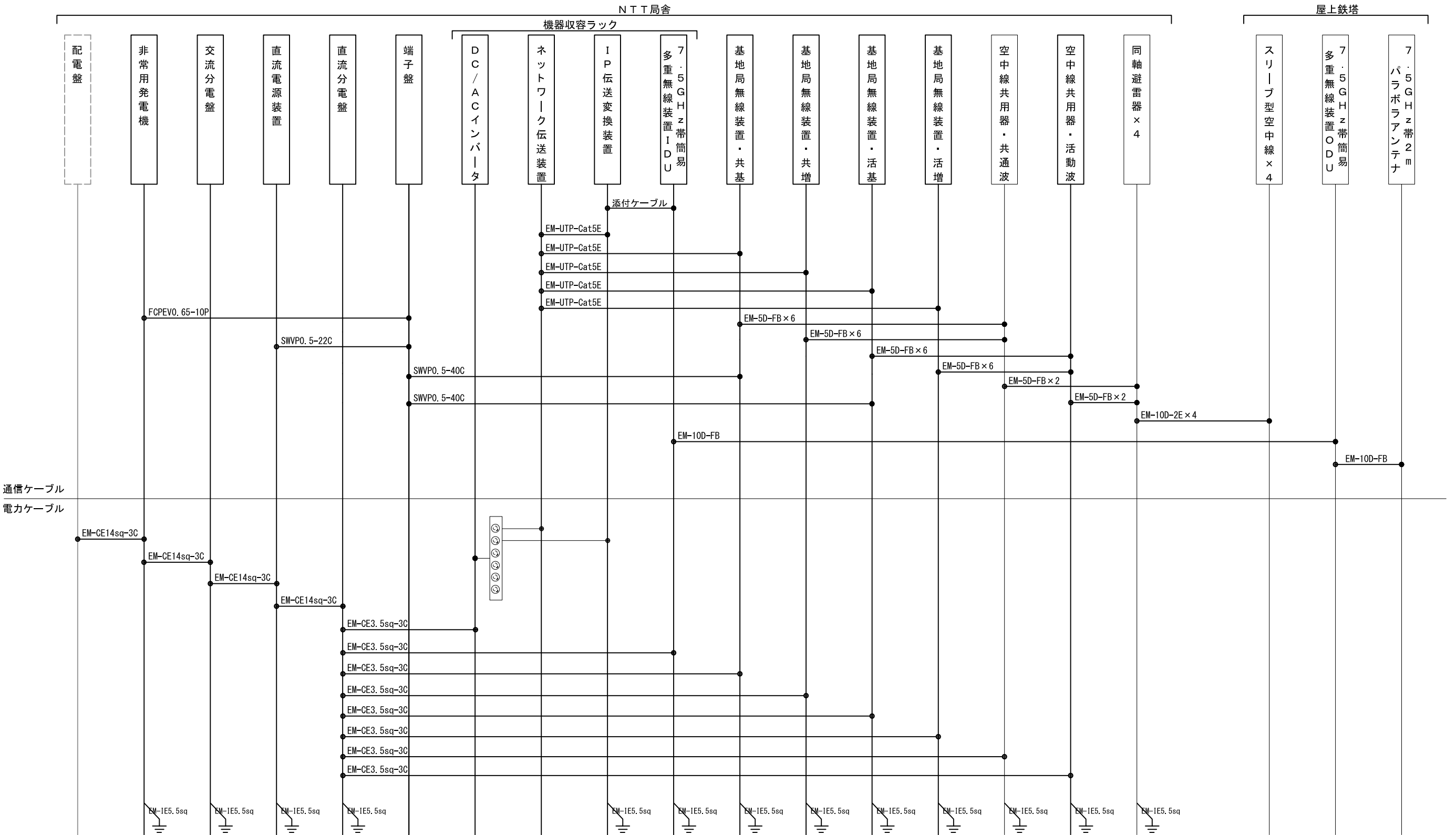


空中線詳細 平面図 1/50



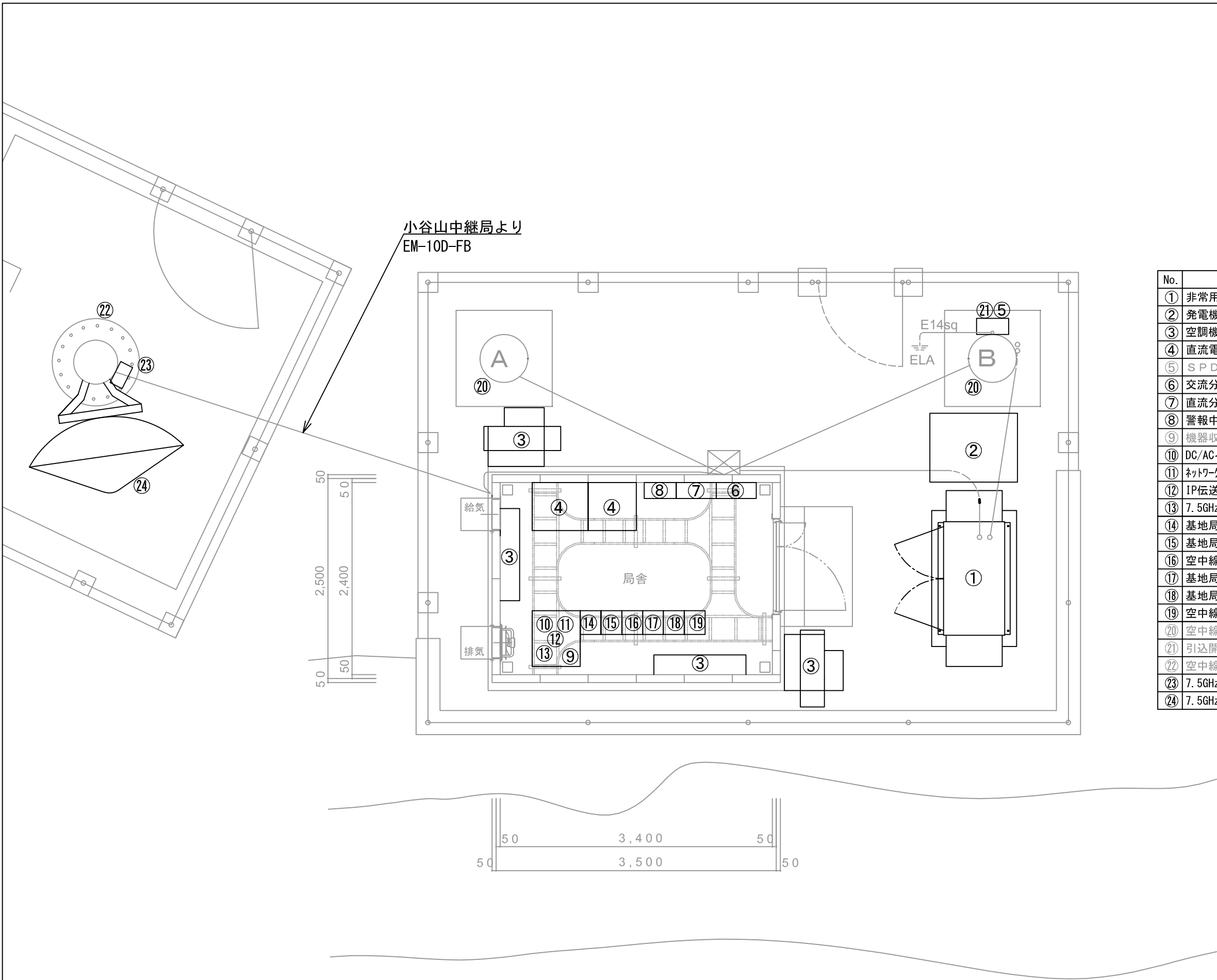
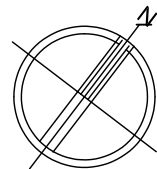
空中線詳細 立面図 1/80

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号			
						図面名	玉厨子山基地局 空中線配置図						



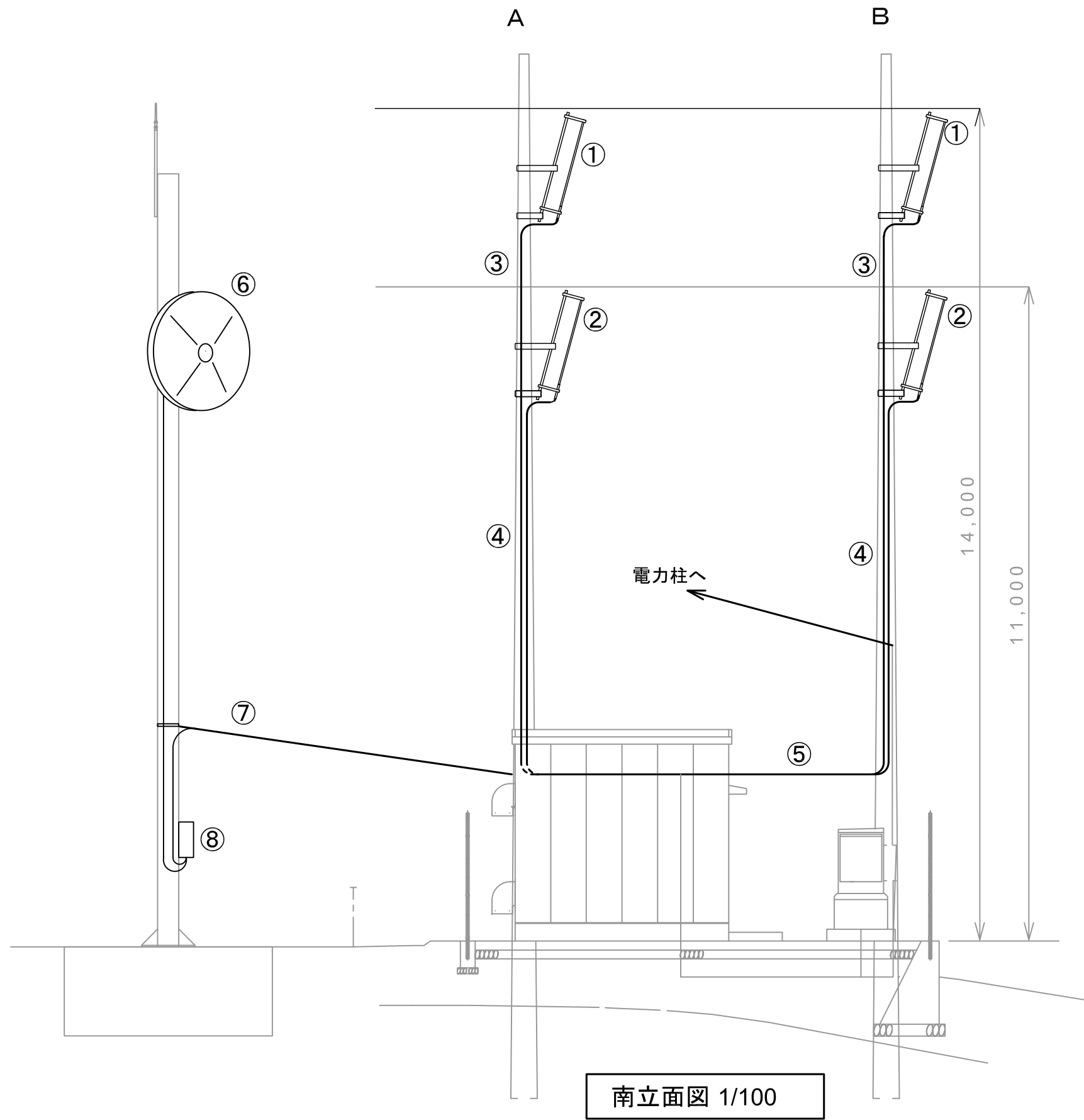
凡 例	
	: 新設（更新）機器
	: 移設機器
	: 既設機器
	: 新規ケーブル配線
	: 既設ケーブル流用

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号			
						図 面 名	玉厨子山基地局 配線系統図（参考）						



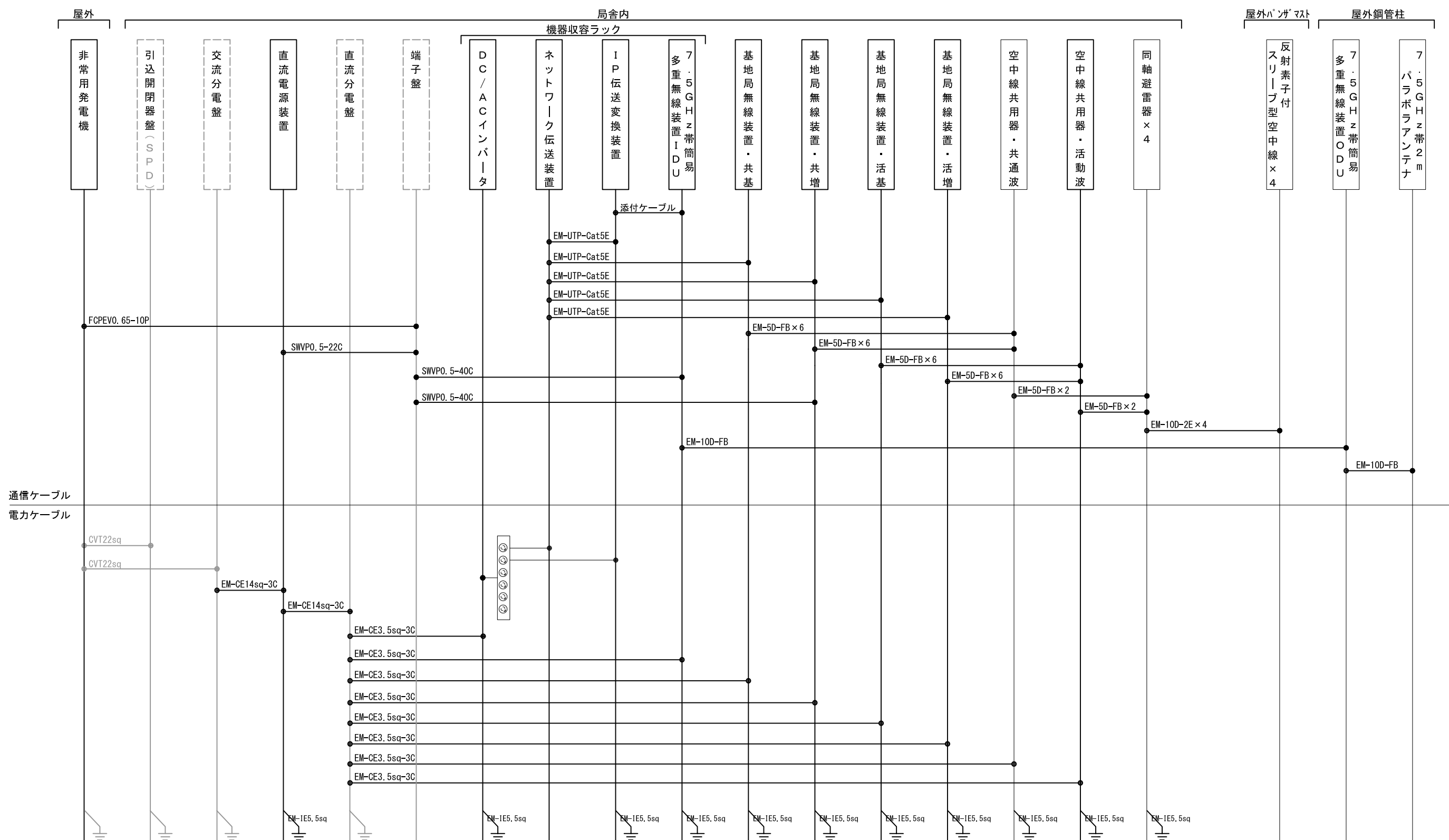
No.	機器名	記事
①	非常用発電機	更新
②	発電機油庫	新設
③	空調機	更新
④	直流電源装置	更新
⑤	S P D	既設
⑥	交流分電盤	改修
⑦	直流分電盤	改修
⑧	警報中継盤	改修
⑨	機器收容架	既設
⑩	DC/ACインバータ	新設（ラック内収容）
⑪	ネットワーク伝送装置	更新（ラック内収容）
⑫	IP伝送変換装置	新設（ラック内収容）
⑬	7.5GHz帯簡易多重IDU	新設（ラック内収容）
⑭	基地局無線装置（共増）	更新
⑮	基地局無線装置（共基）	更新
⑯	空中線共用器（共通波）	更新
⑰	基地局無線装置（活増）	更新
⑱	基地局無線装置（活基）	更新
⑲	空中線共用器（活動波）	更新
⑳	空中線柱	既設
㉑	引込開閉器盤	既設
㉒	空中線鋼管柱	既設（小谷山中継局）
㉓	7.5GHz帯簡易多重ODU	新設（小谷山中継局）
㉔	7.5GHz帯パラボラアンテナ2m	新設（小谷山中継局）

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮 尺	1/50	図面番号			
						図 面 名	小谷山基地局 機器配置 平面図						



番号	機 器 名 称	記 事
①	活動波用反射素子付スリーブ型空中線(TN-15°)	更新
②	共通波用反射素子付スリーブ型空中線(TN-15°)	更新
③	HIVE28 EM-10D-2E	更新
④	HIVE36 EM-10D-2E × 2 本	更新
⑤	架空配線 EM-10D-2E × 2 本	更新
⑥	7.5GHz帯2.0mパラボラアンテナ	更新
⑦	架空配線 EM-10D-FB	更新
⑧	7.5GHz帯簡易多重無線装置ODU	更新

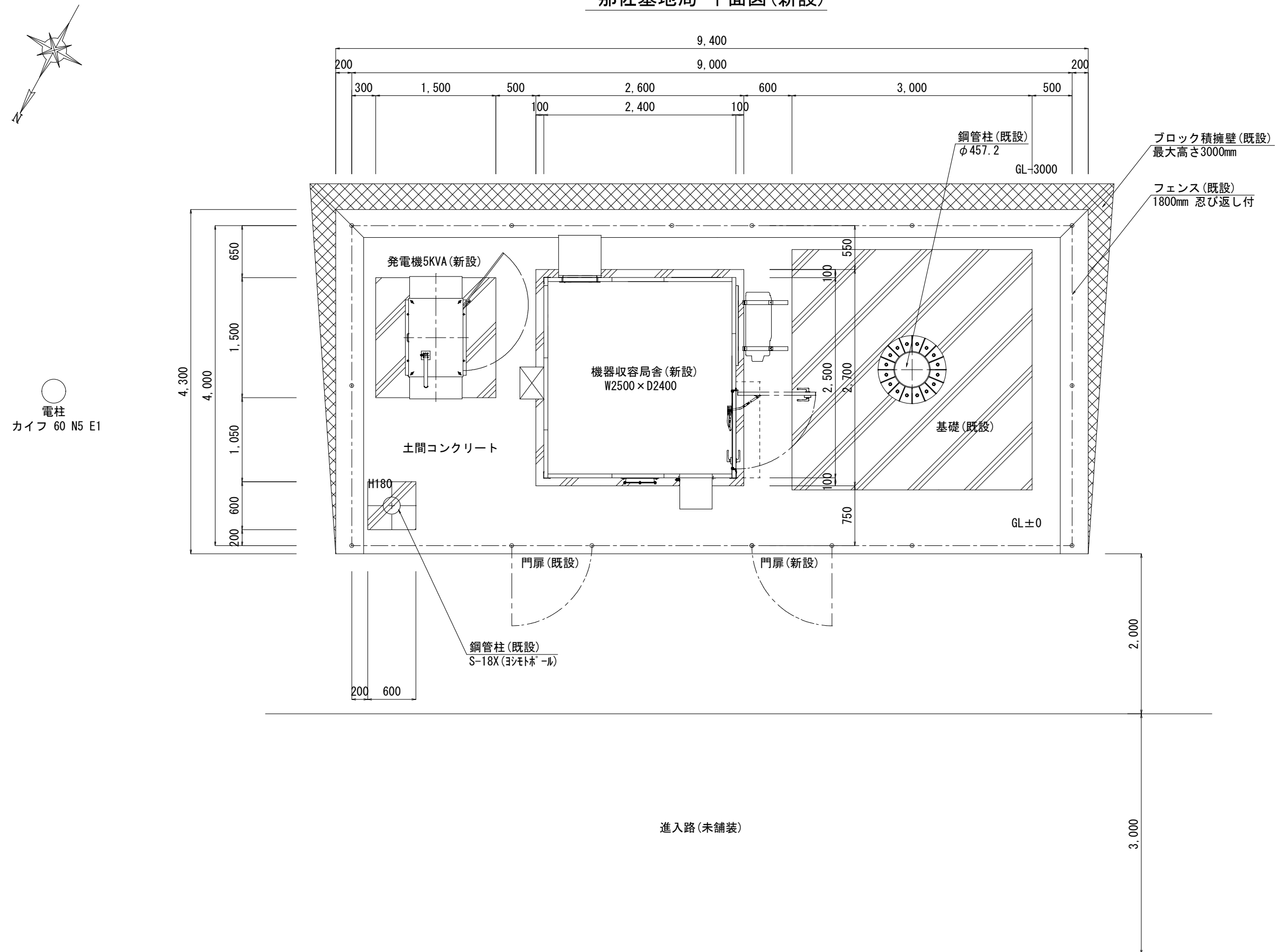
版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/100	図面番号			
						図 面 名	小谷山基地局 空中線配置 立面図						



凡 例			
	；新設（更新）機器		；新規ケーブル配線
	；移設機器		；既設ケーブル流用
	；既設機器		

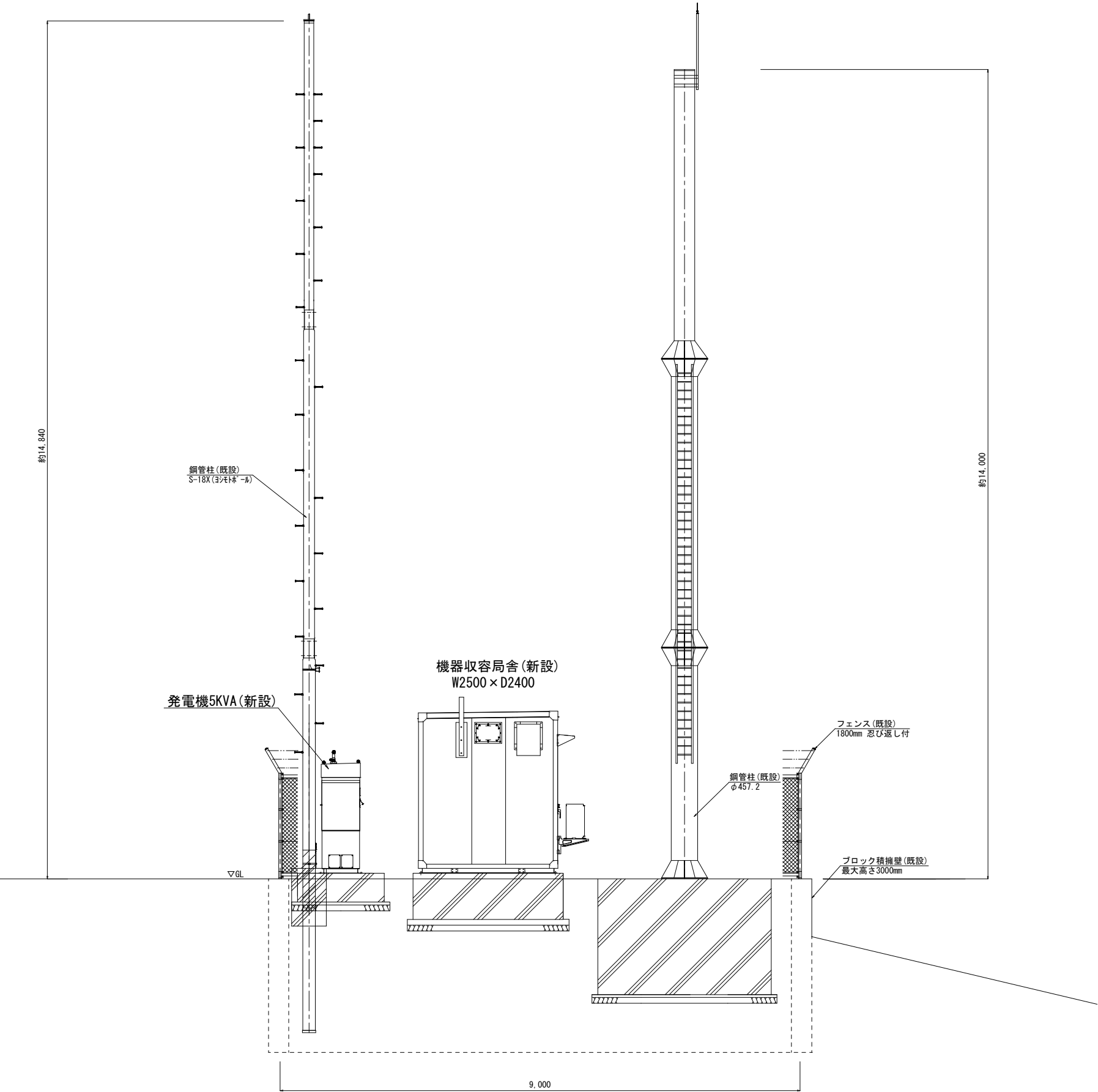
版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	-	図面番号				
						図 面 名	小谷山基地局 配線系統図（参考）							

那佐基地局 平面図(新設)



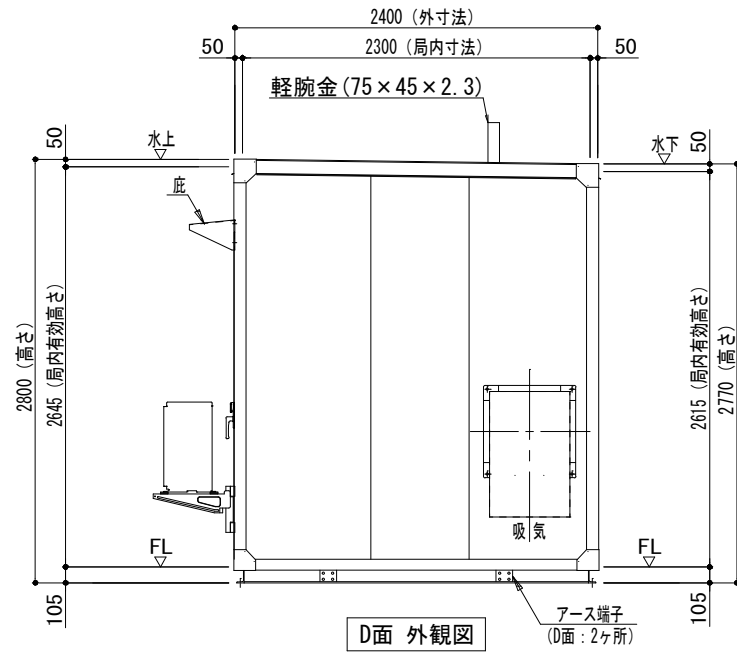
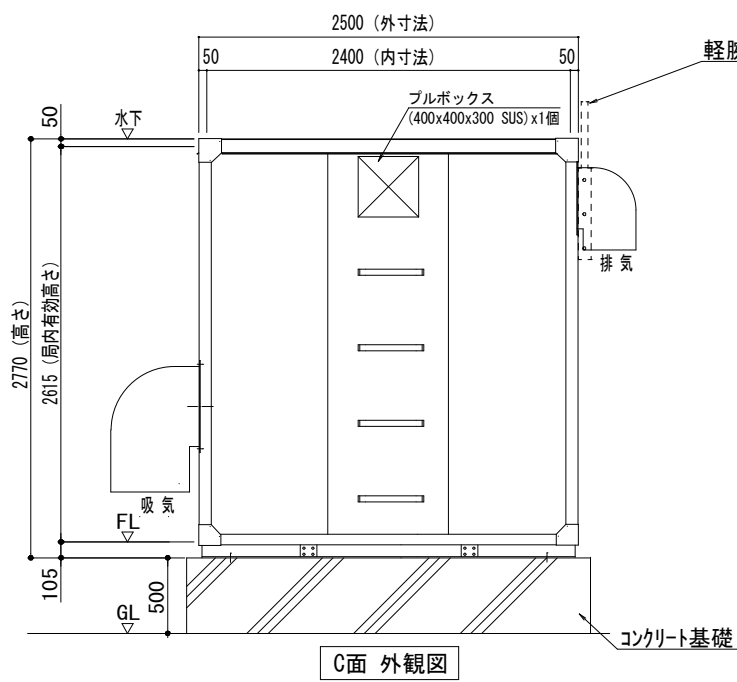
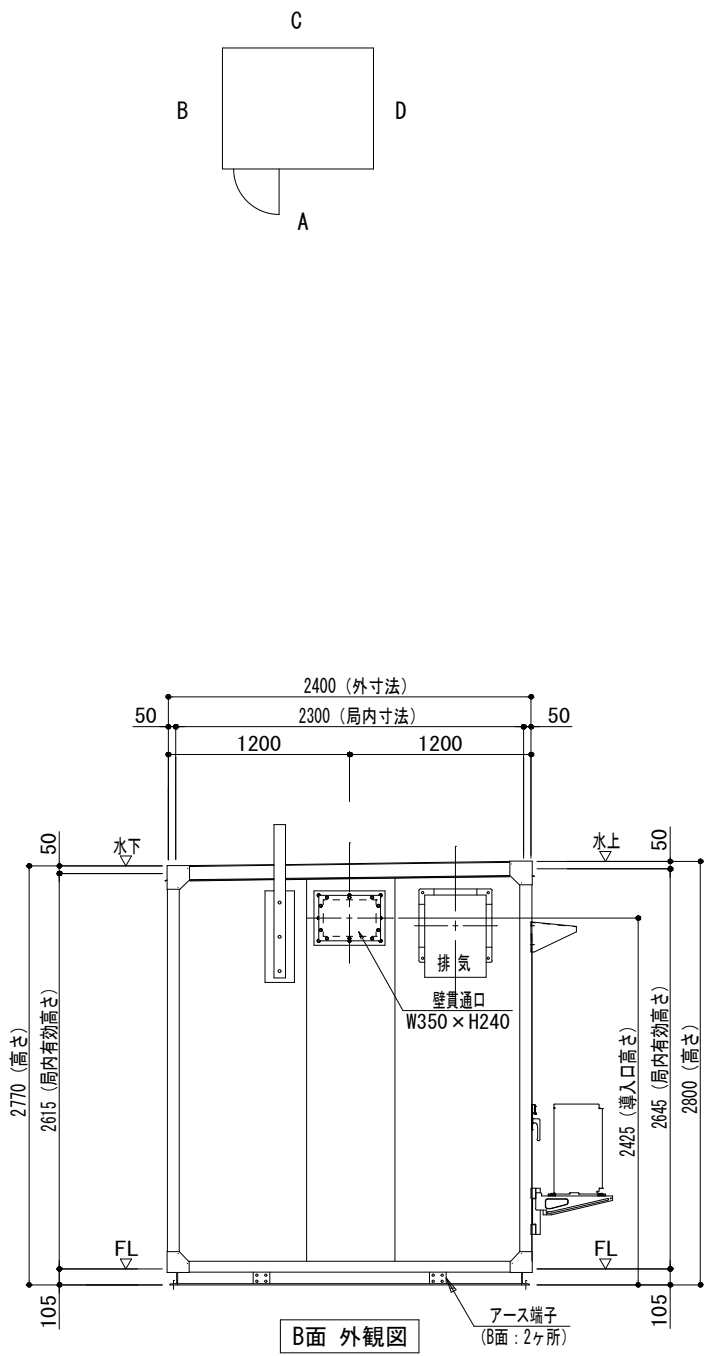
版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	S=1/50 (A3)	図面番号				
						図面名	那佐(仮称)基地局 平面図(新設)							

那佐基地局 立面図(新設)



版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	S=1/80 (A3)	図面番号			
						図面名	那佐(仮称)基地局 立面図(新設)						

那佐基地局 機器収容局舎(新設)



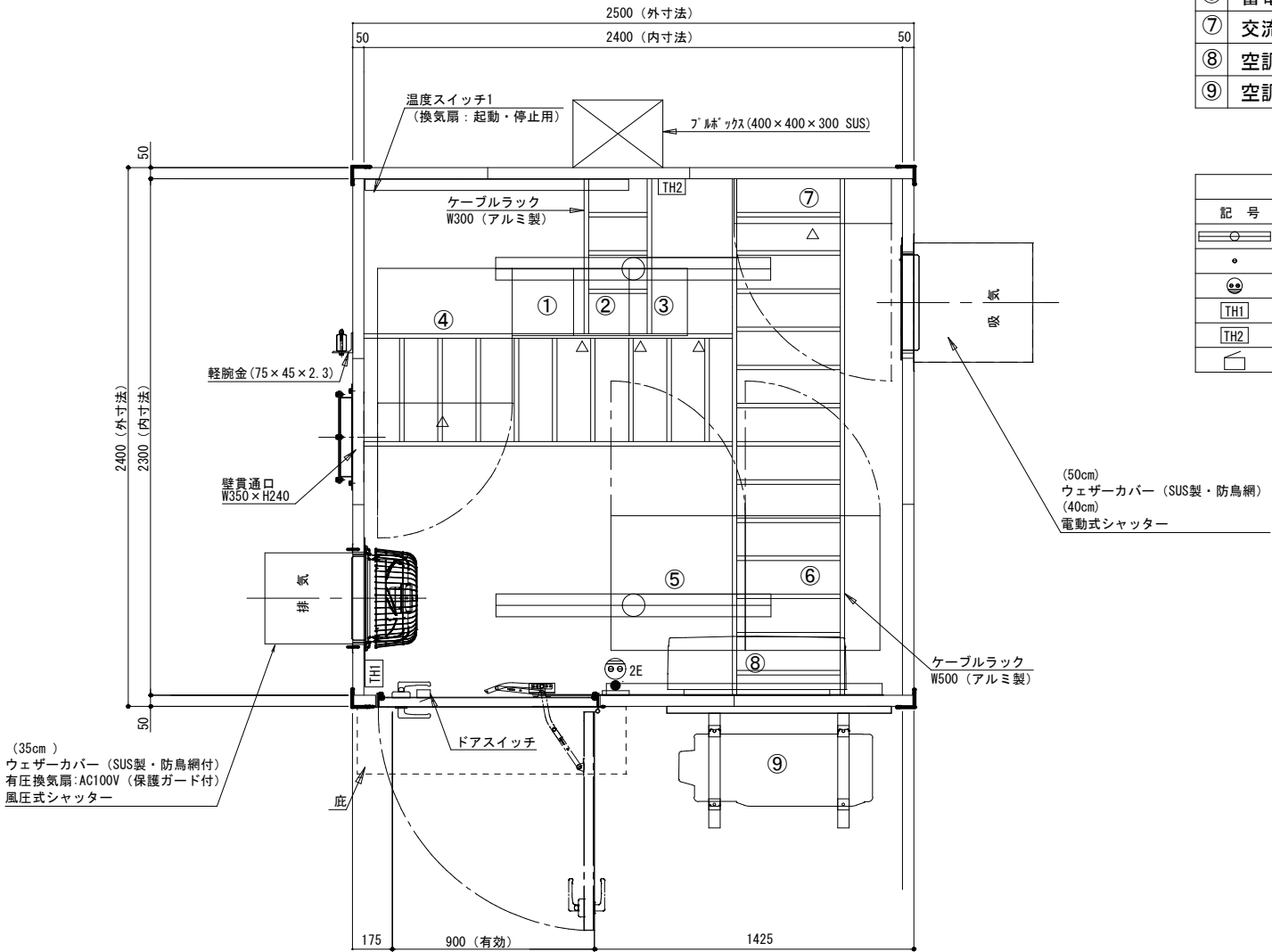
局舎 特記仕様書

1	寸法	外寸法	W2,500×D2,400×H2,800~2,780
		内寸法	W2,400×D2,300×H2,645~2,625
2	土台	土台	[-100×50×5×7.5 (溶融亜鉛メッキ)
		鋼材	SS400級
3	屋根・壁材	屋根パネ	構成・名称 断熱材充填鋼板製複合パネル
			・鋼板 塗装ガルバリウム鋼板 t=0.5mm (両面)
			・壁厚 50mm
			・断熱材 硬質ポリウレタンフォーム
		壁パネ	同上
4	床	仕上	鋼板、長尺シート貼仕上
5	扉	型式	セミエアタイト仕上
		寸法	有効開口寸法 W900×H2,100
		材質	塗装ガルバリウム鋼板 t=1.0mm (表) 0.5mm (裏)
			(枠: スーパーダイヤ t=1.6 塗装)
		断熱材	硬質ポリウレタンフォーム
6	本体塗装色	鍵	グレモン錠 (タキゲン製シリンダー錠: 3本) ※施設単独キー
		付属品	ドアアームストッパー (90° で固定)
		本体	外面: ライトグレー色
			内面: ライトグレー色
7	標準装備	土台	溶融亜鉛メッキ
		分電盤・照明・空調室内機・空調室外機	
		ケーブルラック・耐震金具	
		換気扇 (フードカバー含む)	

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	S=1/50 (A3)	図面番号			
						図面名	那佐(仮称)基地局 機器収容局舎(新設)						

那佐基地局 機器配置図(新設)

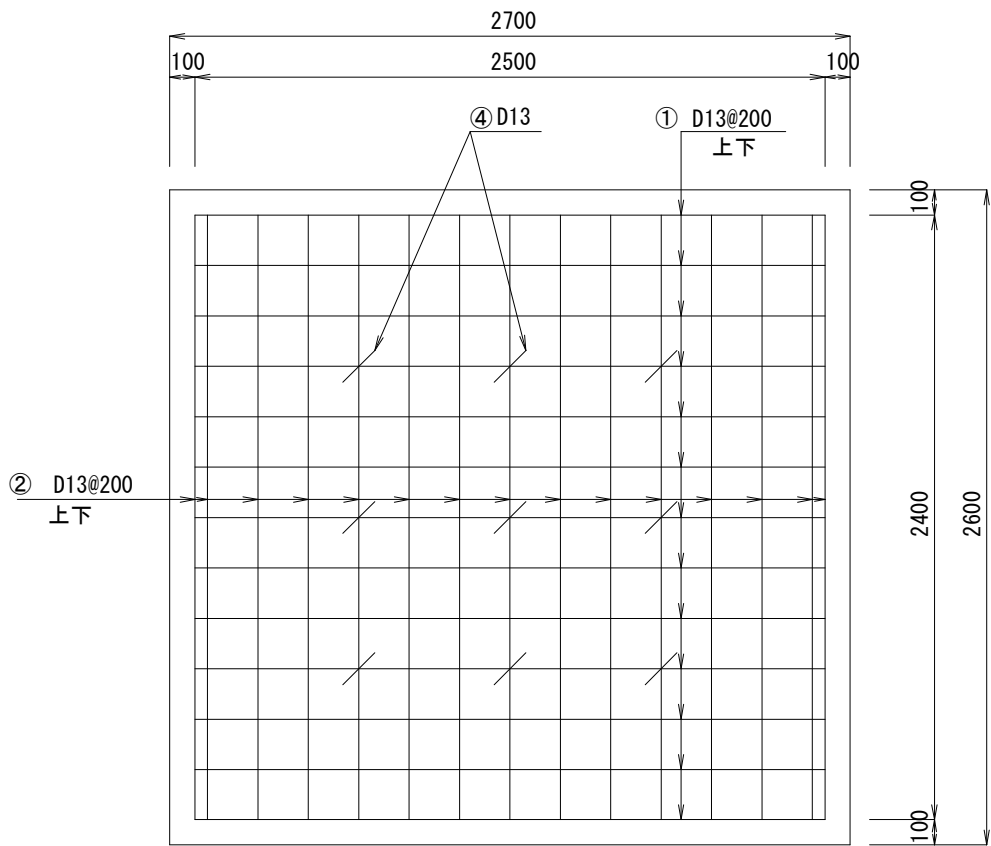
No.	機 器 名 称	サ イ ズ	備 考
①	260MHz帯基地局無線装置（基本架）	W260×D300×H1800	活動波
②	260MHz帯基地局無線装置（増設架）	W260×D300×H1800	活動波
③	260MHz帯空中線共用器	W260×D300×H1800	
④	19インチラック（NW設備収容）	W600×D600×H1600	
	IDU等収容		
⑤	整流器（100A）	W600×D600×H1950	
⑥	蓄電池（150A）	W600×D600×H1950	
⑦	交流・直流分電盤	W700×D200×H1000	
⑧	空調室内機		冷房能力：3.6Kw
⑨	空調室外機		〃



凡 例		
記 号	名 称	備 考
〇	照明 FHF32形×2	2ヶ所
・	照明スイッチ（片切）	1ヶ所
⊕	サービスコンセント（二ロ・E付）	1ヶ所
TH1	温度スイッチ（換気扇：起動・停止）	1ヶ所
TH2	温度スイッチ（高温異常）	1ヶ所
□	ドアスイッチ（扉開でON）	1ヶ所

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	S=1/30（A3）	図面番号			
						図面名	那佐(仮称)基地局 機器配置図(新設)						

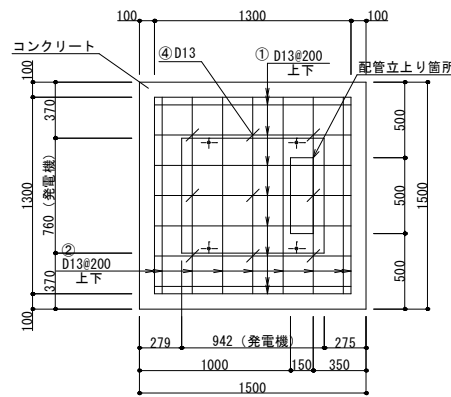
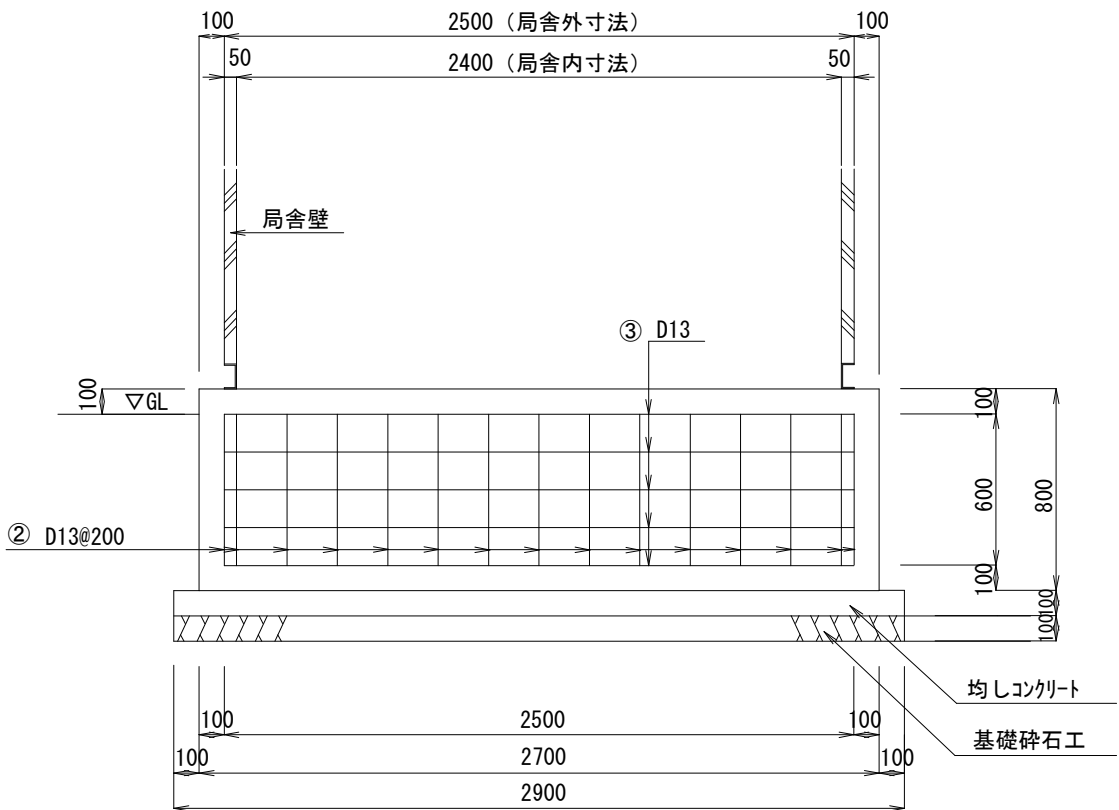
那佐基地局 局舎・非常用発電機基礎構造図



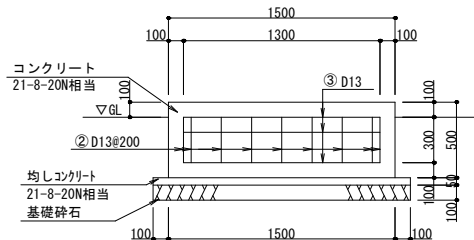
局舎基礎 平面図

局舎基礎工鉄筋表

番号	径	実長	本数	総 長	単 重	1本当重量	総 重 量	摘 要
1	D13	3.500	26	91.000	0.995	3.483	90.5	
2	D13	3.400	30	102.000	0.995	3.383	101.5	
3	D13	10.600	5	53.000	0.995	10.547	52.7	
4	D13	0.800	9	7.200	0.995	0.796	7.2	
					計	D13	251.9	



発電機基礎 平面図



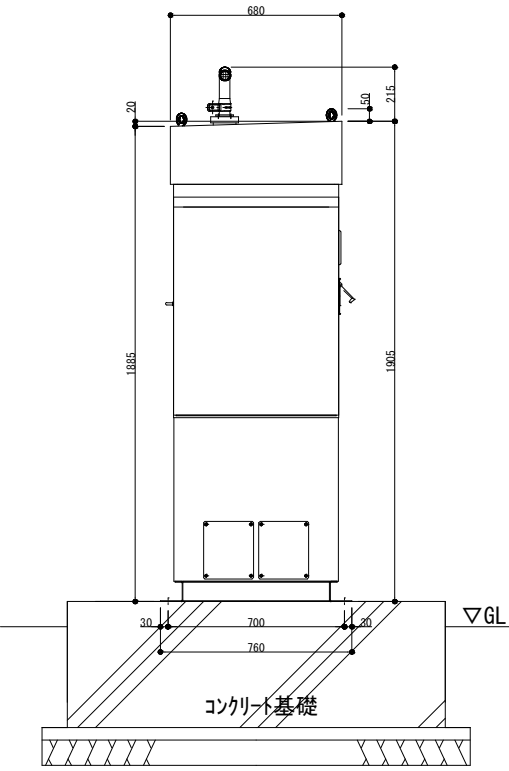
発電機基礎 断面図

発電機基礎工鉄筋表

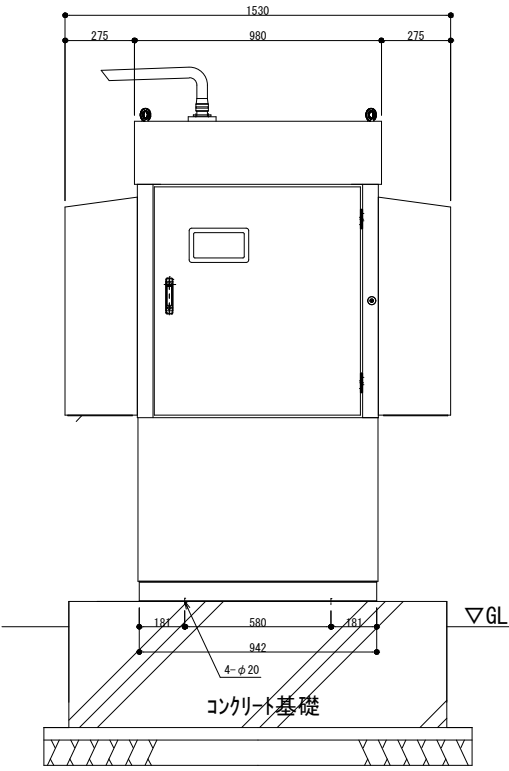
番号	径	実長	本数	総 長	単 重	1本当重量	総 重 量	摘 要
1	D13	1.900	18	34.200	0.995	1.891	34.0	
2	D13	1.900	18	34.200	0.995	1.891	34.0	
3	D13	5.800	3	17.400	0.995	5.771	17.3	
4	D13	0.500	9	4.500	0.995	0.498	4.5	
					計	D13	89.8	

版	年月日	設計	調査	承認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	S=1/30 (A3)	図面番号			
						図 面 名	局舎・非常用発電機基礎構造図						

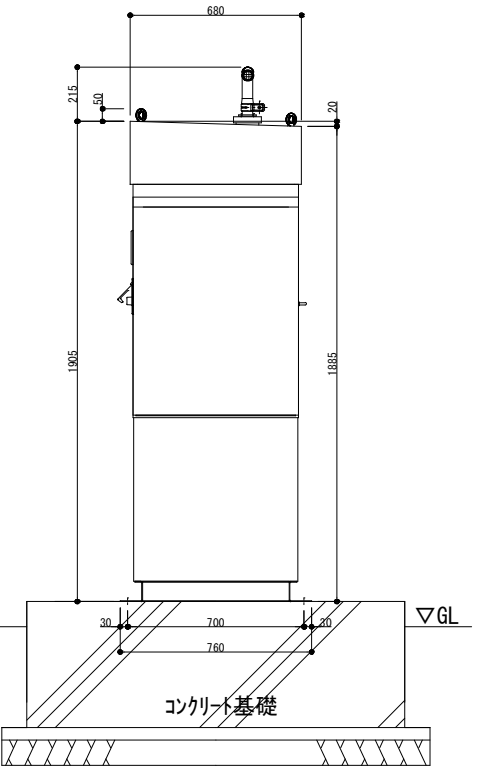
那佐基地局 5KVA非常用発動発電機（新設）



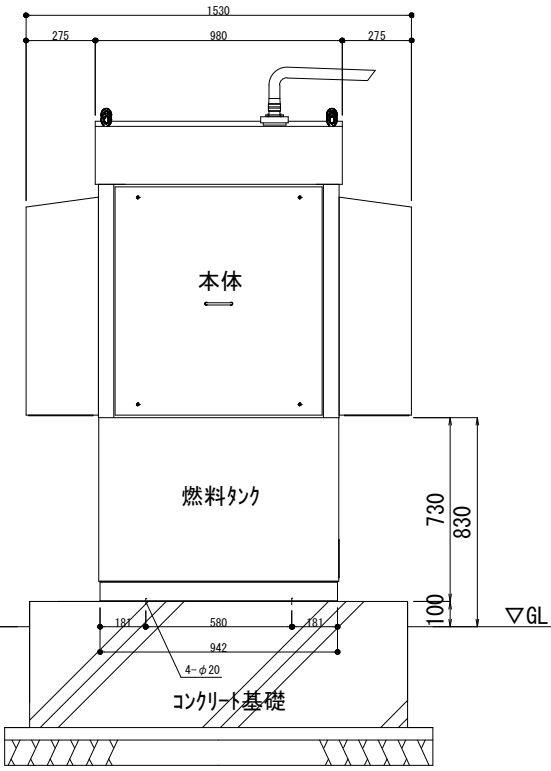
左側面図



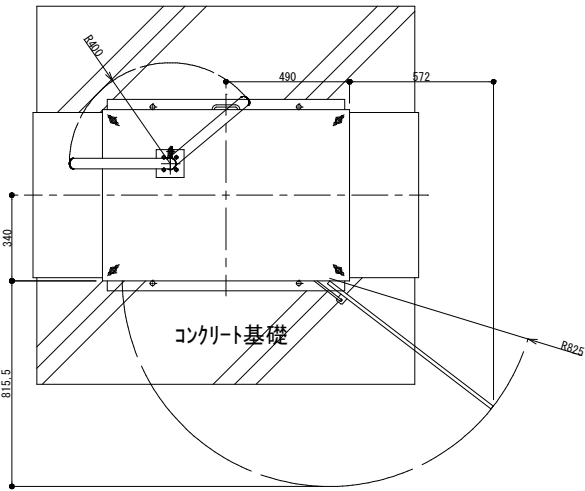
正面図



右側面図



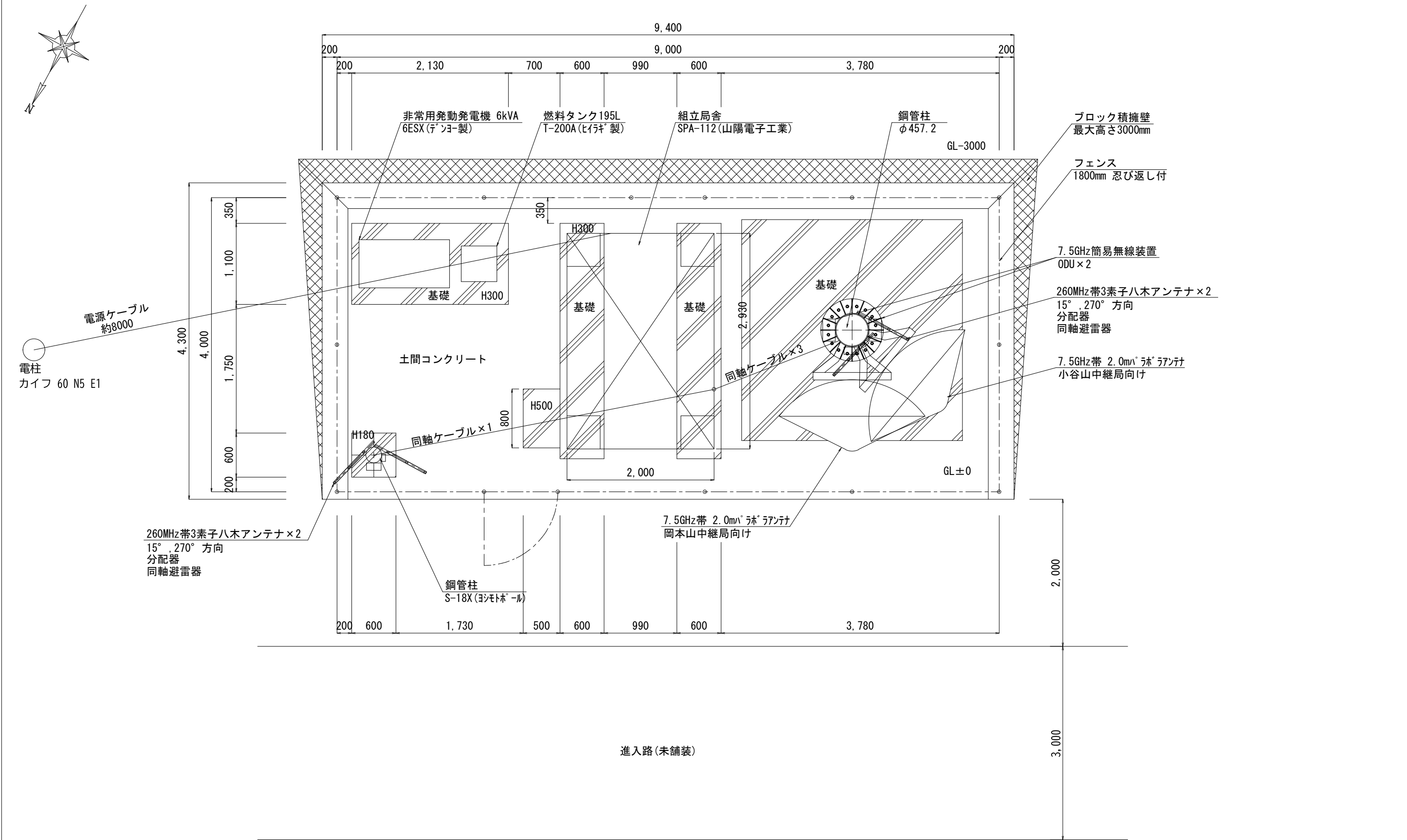
後面図



平面図

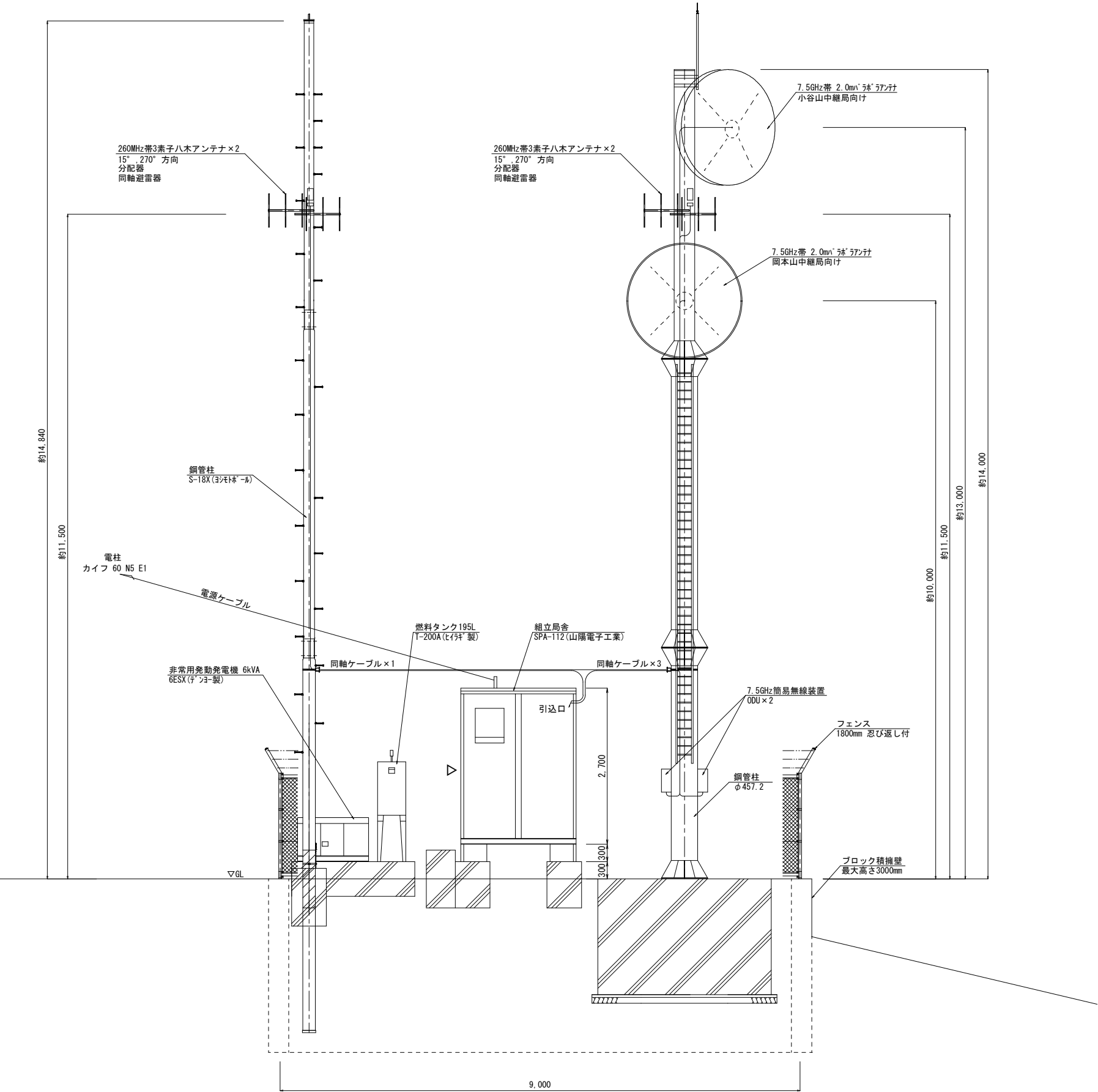
版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	S=1/30 (A3)	図面番号			
						図面名	那佐(仮称)基地局 5KVA非常用発動発電機(新設)						

那佐基地局 平面図(現状)



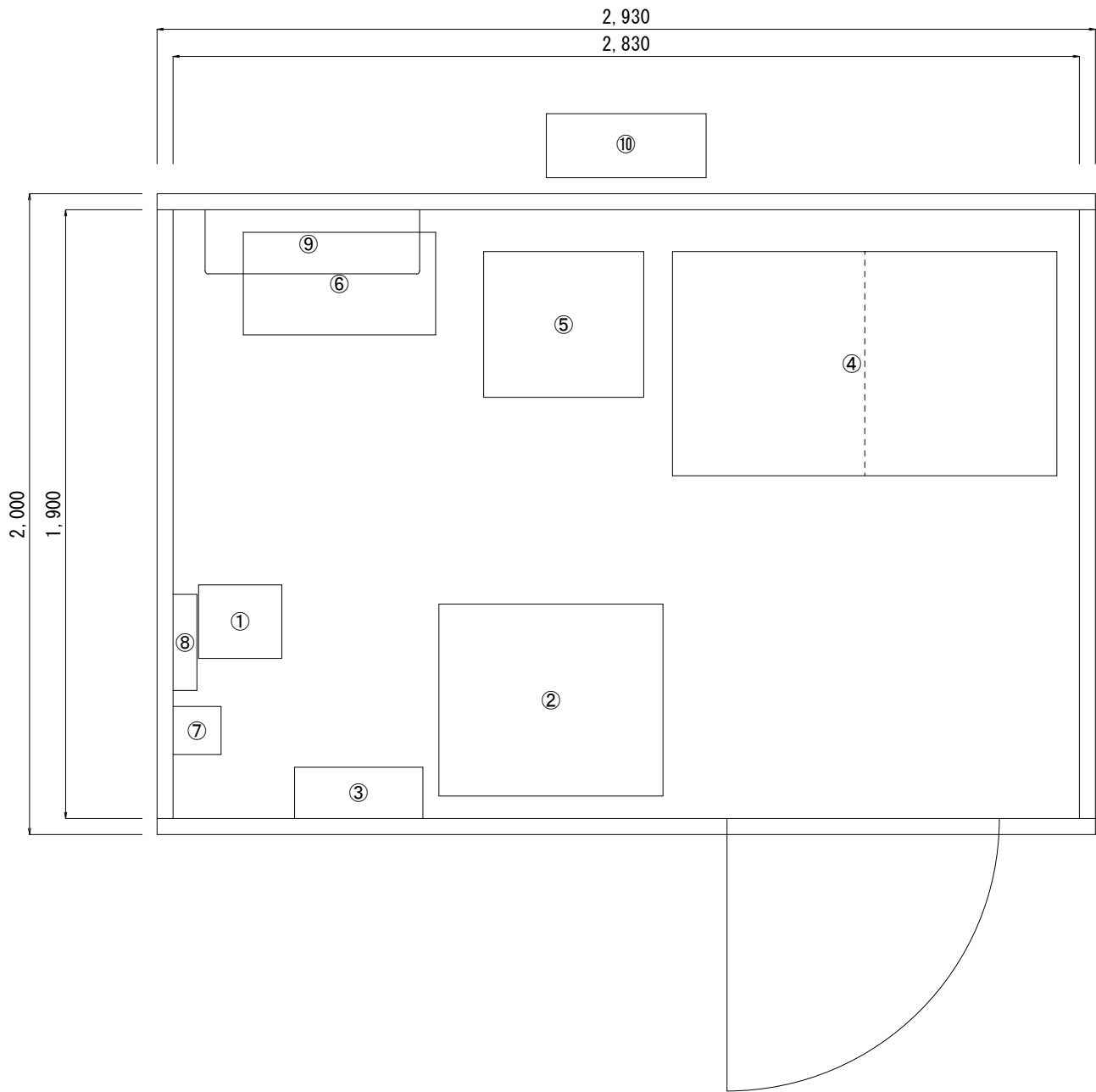
版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	S=1/50 (A3)	図面番号			
						図面名	那佐(仮称)基地局 平面図(現状)						

那佐基地局 立面図(現状)



版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	S=1/80 (A3)	図面番号			
						図面名	那佐(仮称)基地局 立面図(現状)						

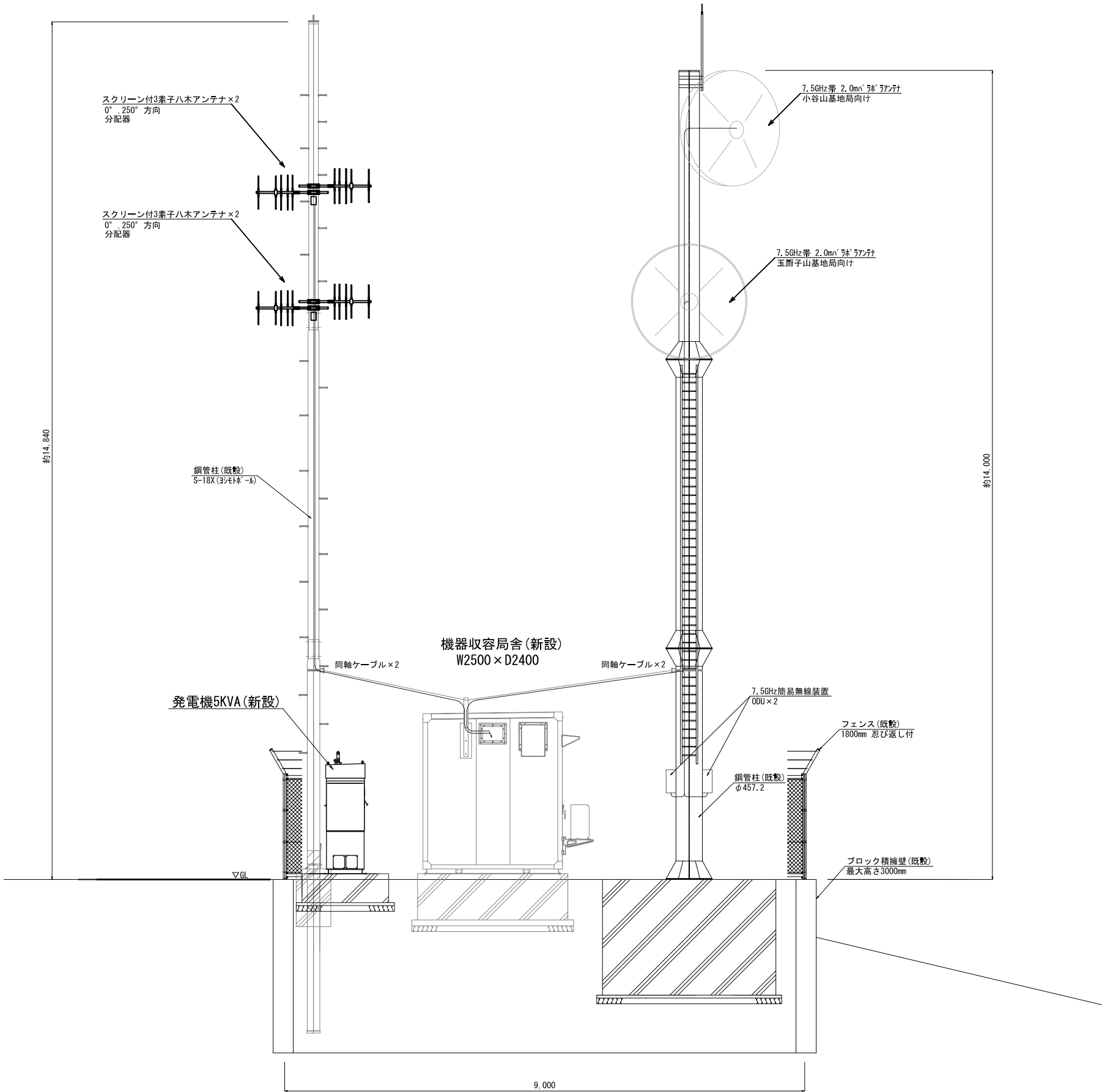
那佐基地局 機器配置図(現状)



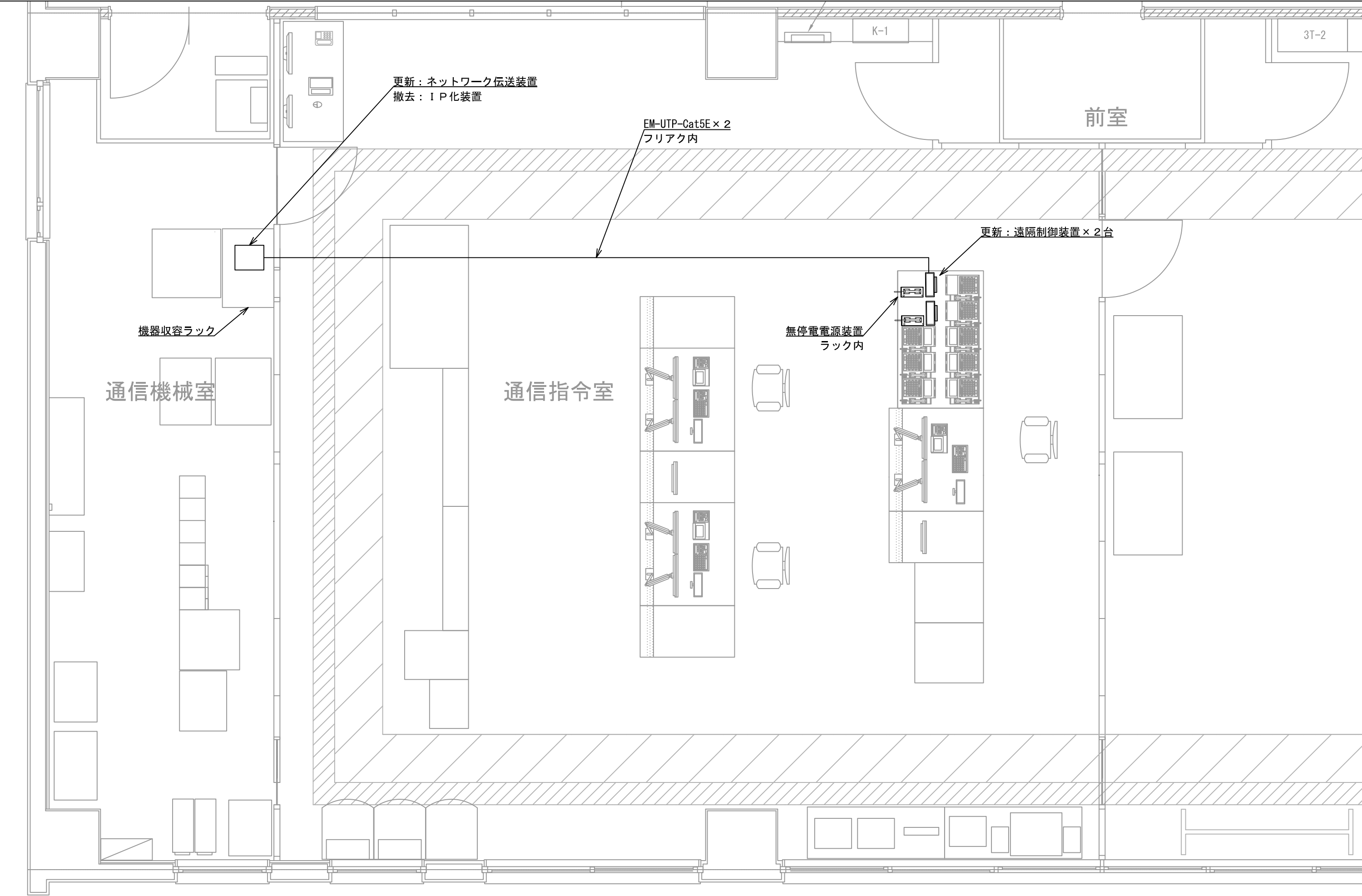
No	機器名称	数量	寸法	備考
①	260MHz基地局架(移動局)	1	W260×D230×H2100	既設
②	19インチラック	1	W600×D700×H1000	既設
	7.5GHz簡易無線装置 IDU	2		
	インタフェース変換器	1		
③	端子盤	1	W400×D160×H500	既設
④	直流電源装置	1	W1200×D700×H1950	既設
⑤	耐雷トランス	1	W500×D455×H800	既設
⑥	自動始動盤	1	W600×D320×H700	既設
⑦	オートリセットブレーカ	1	-	既設
⑧	分電盤	1	W300×D75×H250	既設
⑨	空調室内機	1	-	既設
⑩	空調室外機	1	-	既設

版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	S=1/20 (A3)	図面番号			
						図面名	那佐(仮称)基地局 機器配置図(現状)						

那佐基地局 立面図(新設)

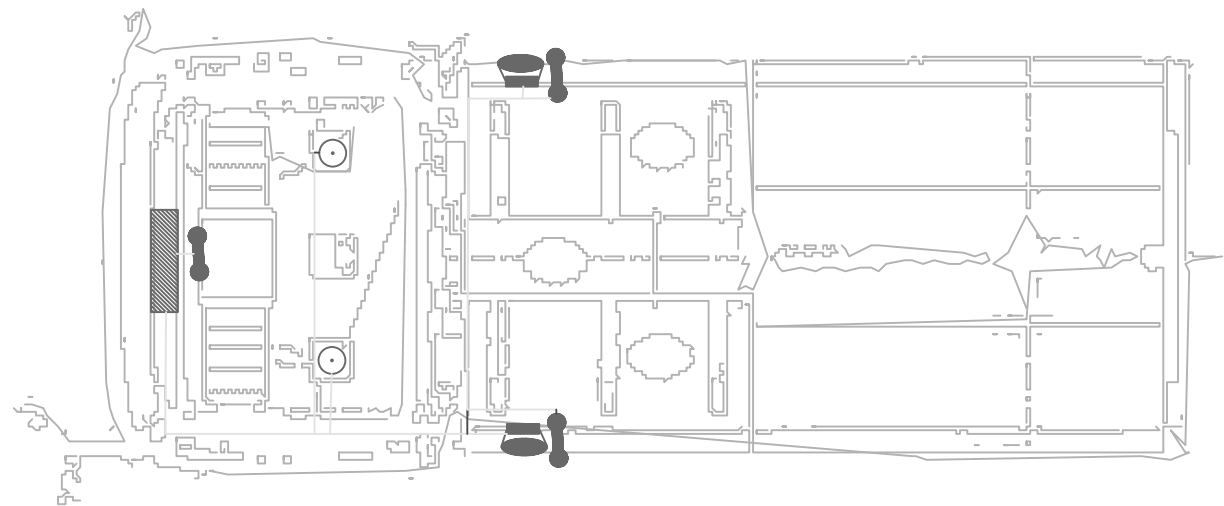
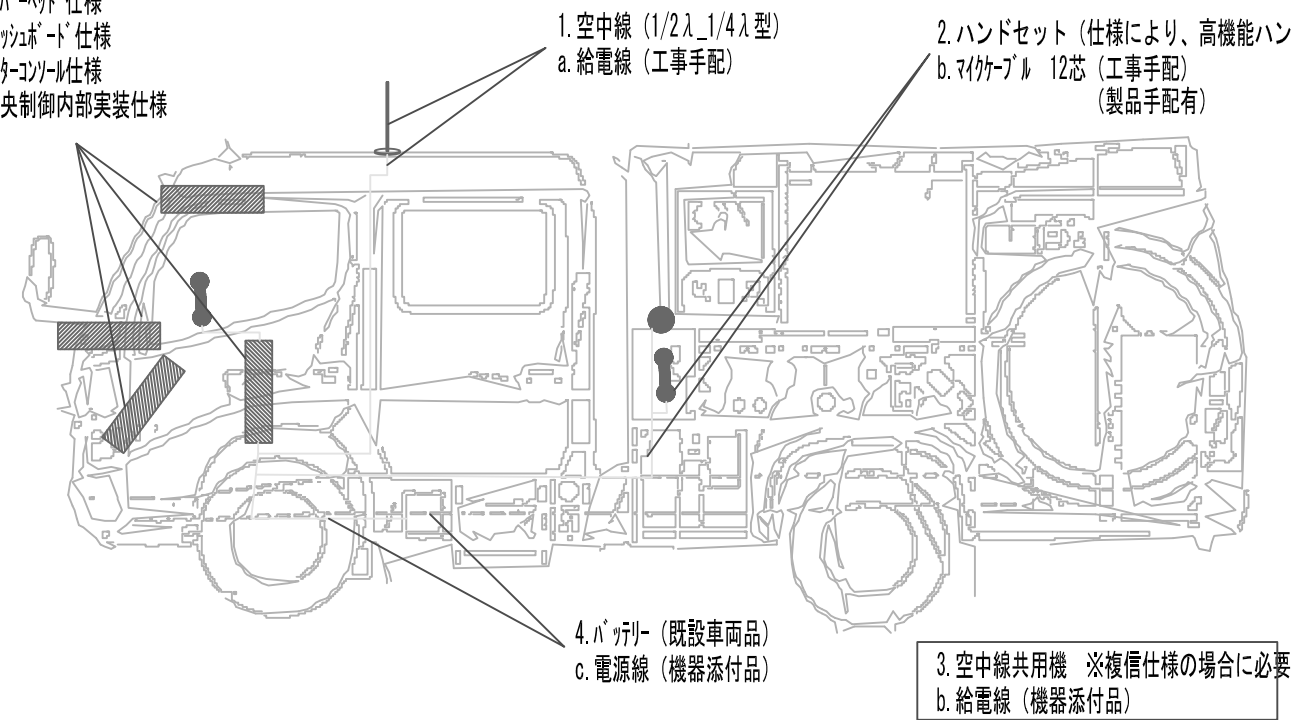


版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/80	図面番号			
						図面名	那佐前進基地局 空中線配置 立面図						

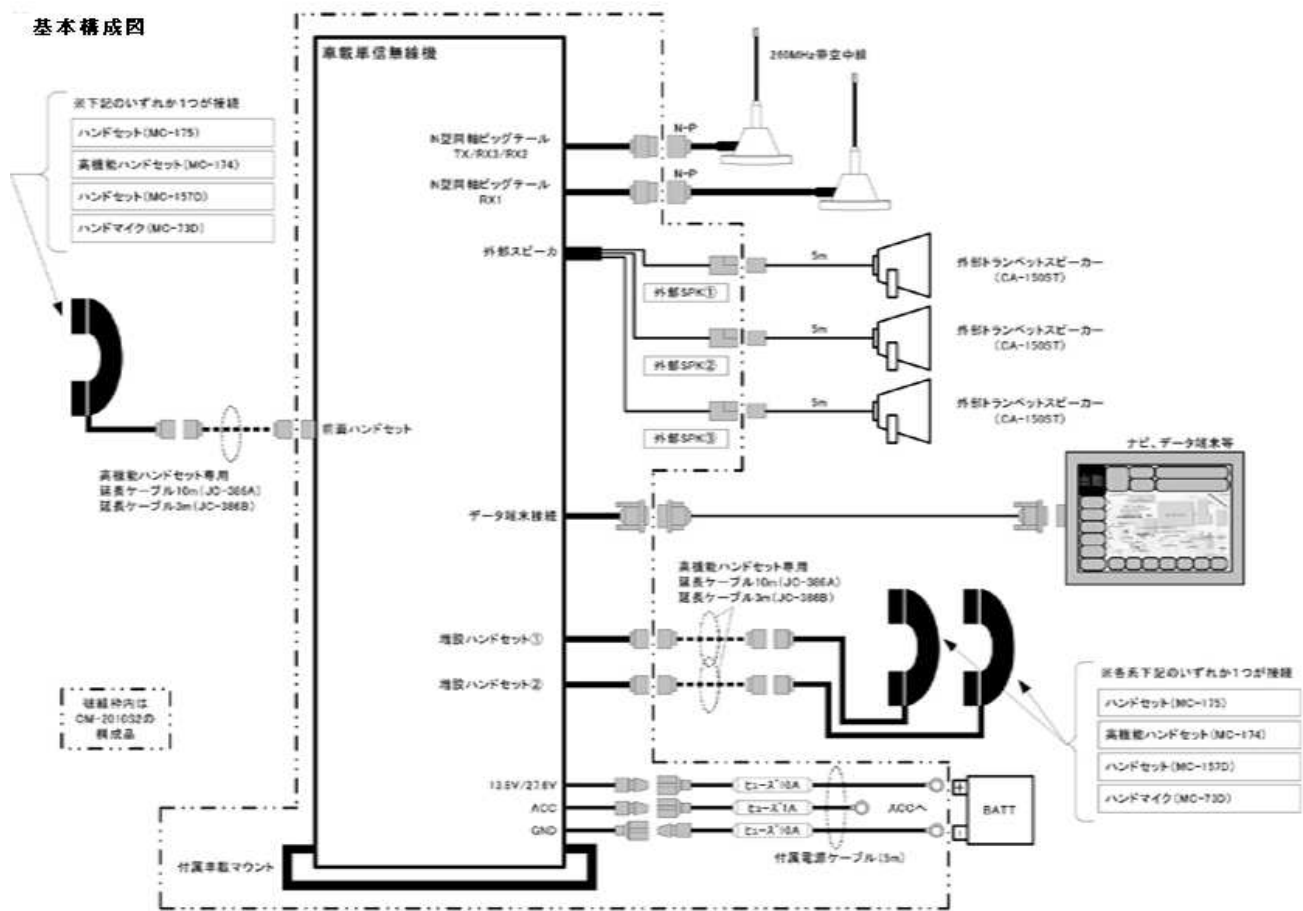


版	年月日	設計	調査	承認	変更内容	事業名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮尺	1/40	図面番号			
						図面名	阿南市消防本部 機器配置 平面図						

6. 消防救急デジタル無線装置
オーバーヘッド仕様
ダッシュボード仕様
センターコンソール仕様
中央制御内部実装仕様

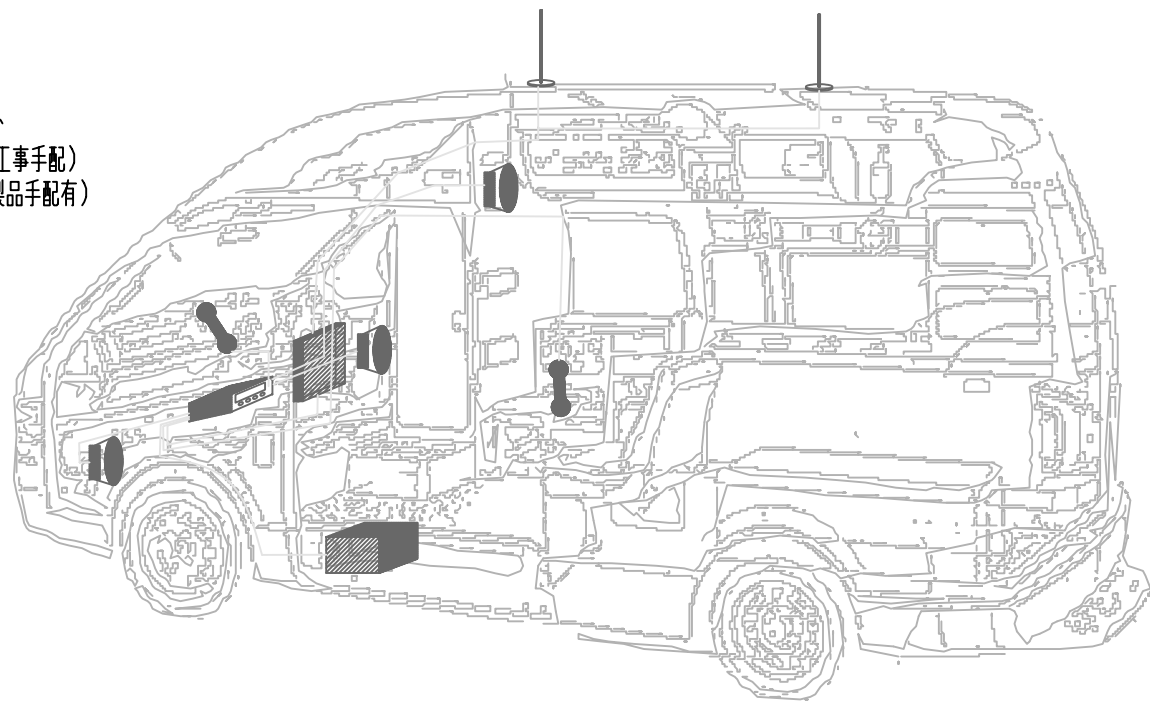
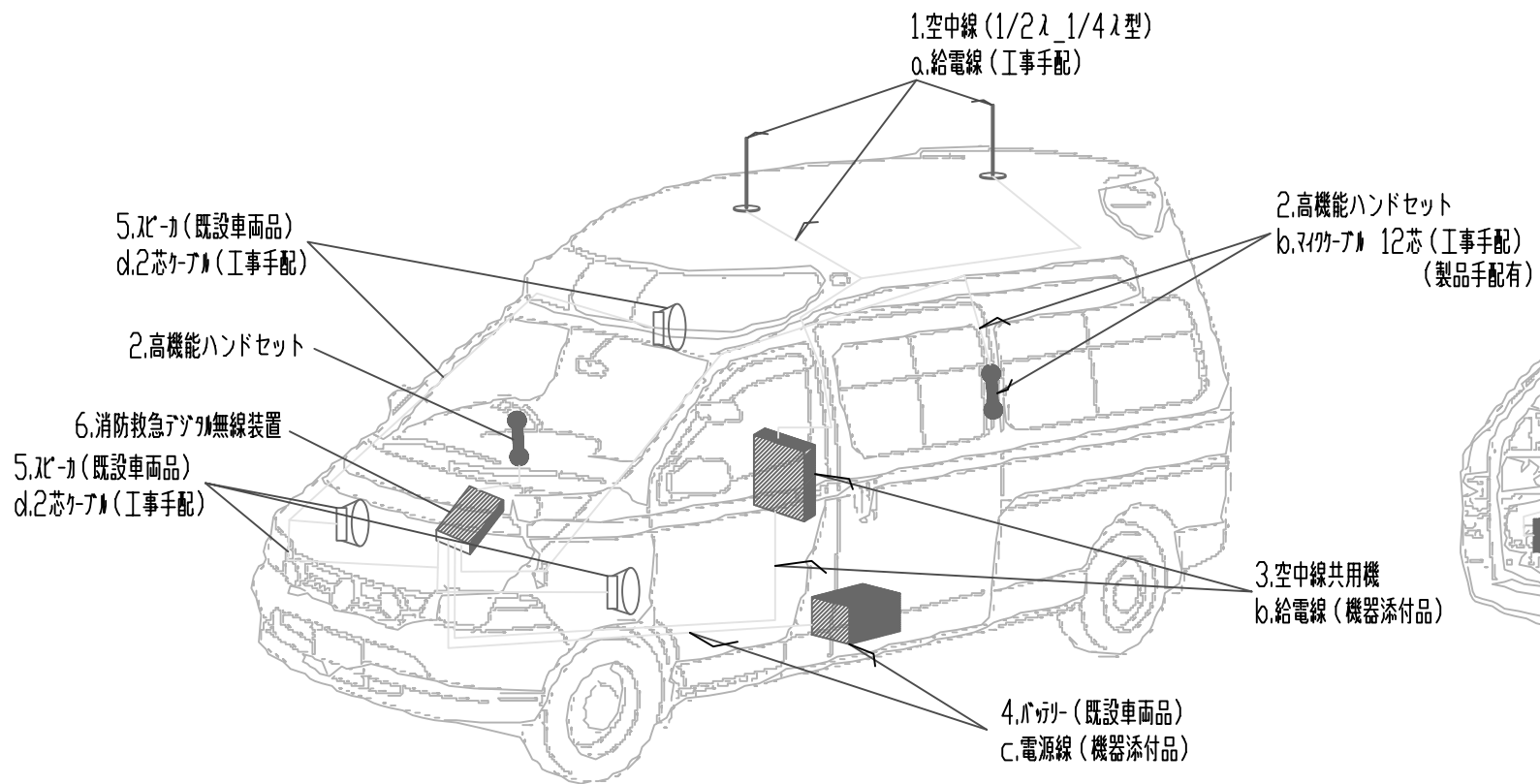


基本構成図

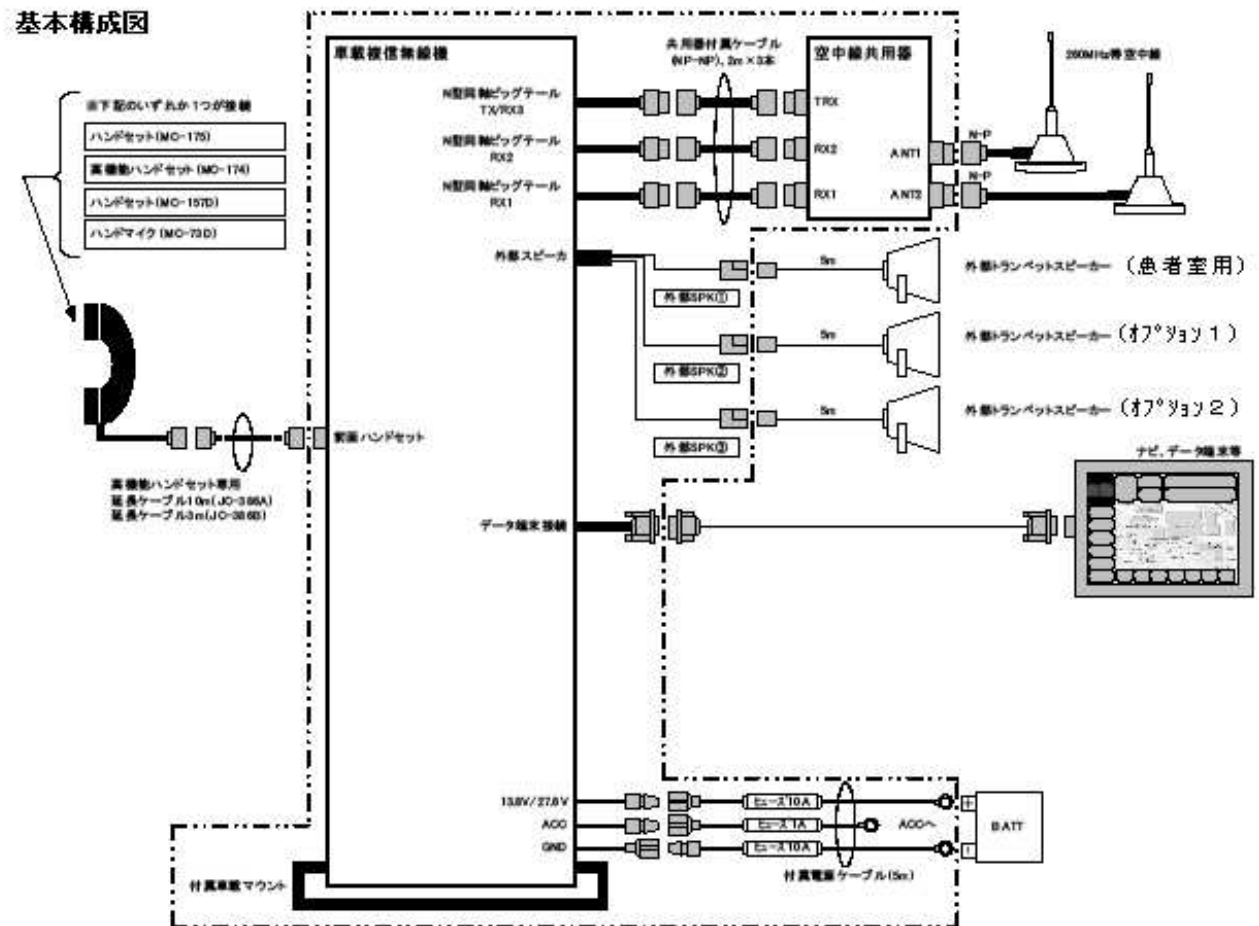


項番	名 称	員 数	備考他、仕様
1	空中線	2 式	1/2λ又は1/4λ 各離隔は1. 2m以上離す事
2	ハンドセット	3 式	仕様により、コール付き高性能ハンドセット（顧客仕様に基づく）
3	空中線共用機	* *	製品供給（複信仕様時に必要、単信は不要）
4	バッテリー	* *	既設車両装備品
5	スピーカー	* *	既設車両装備品/VCT-0. 75-2芯
6	消防救急デジタル無線装置	1 式	指定周波数/指定電力
a	給電線	* *	5D-2V/5D-2W 顧客仕様に基づく
b	マイクケーブル	* *	PVC絶縁多芯ケーブル（AWG28同等）仕上がり径7mm以下 12芯
c	電源線	* *	製品供給
d	スピーカーケーブル	* *	VCT-0. 75-2芯
その他留意事項			

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮 尺	-	図面番号			
						図 面 名	車載無線機施工図 消防ポンプ車 ※参考図						



基本構成図



項番	名 称	員 数	備考他、仕様
1	空中線	2 式	1/2λ又は1/4λ 各離隔は1.2m以上離す事
2	高性能ハンドセット	2 式	マイク付き高性能ハンドセット(顧客仕様に基づく)
3	空中線共用機	1 式	製品供給
4	バッテリー	＊ ＊	既設車両装備品
5	スピーカー	＊ ＊	既設車両装備品/VCT-0.75-2芯
6	消防救急デジタル無線装置	1 式	指定周波数/指定電力
a	給電線	＊ ＊	5D-2V/5D-2W 顧客仕様に基づく
b	マイクケーブル	＊ ＊	PVC絶縁多芯ケーブル(AWG28同等) 仕上がり径7mm以下 12芯
c	電源線	＊ ＊	製品供給
d	スピーカーケーブル	＊ ＊	VCT-0.75-2芯
その他留意事項			

版	年月日	設 計	調 査	承 認	変 更 内 容	事 業 名	海部消防組合消防本部 消防救急デジタル無線、指令システム設備更新実施設計業務	縮 尺	—	図面番号			
						図 面 名	車載無線機施工図 救急車 ※参考図						